



'89  
design  
year



## 目次

'89デザインイヤーフォーラム設立 .....	1
'89デザインイヤーフォーラム事業 .....	15
日本デザイン賞 .....	16
デザインワークショップ .....	20
青少年デザイン提案コンクール .....	26
'89デザインイヤー参加事業一覧 .....	33
'89デザインイヤーフォーラム事務局の活動 .....	41

# '89デザインイヤー

期間=1989年4月1日-1990年3月31日

主催='89デザインイヤーフォーラム

後援=通商産業省、建設省、運輸省、外務省、文化庁



# '89デザインイヤーフォーラム設立



# '89デザインイヤーフォーラム

## 設立総会

「'89デザインイヤー」は、デザインを通じて新しい時代における生活と産業、さらには文化のあり方を国民各分野で問い直そうとする運動です。この「'89デザインイヤー」の推進母体である「'89デザインイヤーフォーラム」の設立総会が、昭和63年6月1日、東京全日空ホテルで開催されました。

●「'89デザインイヤーフォーラム」設立総会は、倉田寛之通商産業省政務次官、畠山襄通商産業省貿易局長、長尾梅太郎通商産業省貿易局検査デザイン行政室長、フォーラムメンバー、同監事、同実行委員会委員出席のもとで開催されました。

設立総会の議事は、①'89デザインイヤーフォーラムメンバー紹介にひきつづき②'89デザインイヤーフォーラム規約が承認され、この規約に基づき、'89デザインイヤーフォーラムの会長及び議長には、石川六郎日本商工会議所会頭が就任されました。

続いて、田村元通商産業大臣の代理として臨席された倉田寛之通商産業省政務次官から大臣祝辞が代読された後、議事録署名人（中川鐵藏（財）生活用品振興センター理事長、小秋元隆輝（財）日本機械デザインセンター理事長）指名、副会長（長村貞一 輸出検査及びデザイン奨励審議会会長、（財）日本産業デザイン振興会会長）委嘱、監事（蔵原千秋 全国銀行協会連合会副会

長、宮本四郎 商工組合中央金庫理事長）委嘱がおこなわれた後、③デザインイヤー基本構想（案）、④昭和63年度事業計画、収支予算（案）が審議されました。続いて、石川会長から実行委員会委員の委嘱が行われ、実行委員長には井川博日本商工会議所専務理事が就任されました。

以下、議事内容の概要を記載します。

### '89デザインイヤー基本構想（案）

石川議長より、「'89デザインイヤー基本構想（案）」についてお諮りする旨及び事務局より説明させる旨を告げられた。

事務局（高藪昭 財団法人日本産業デザイン振興会常務理事）から、配布資料3「'89デザインイヤー基本構想（案）」により、大要次の通り説明があった。

この基本構想案は、昨年7月31日に財団法人日本産業デザイン振興会内に設置したデザインイヤー企画準備委員会（16名）において検討したものをまとめたもので、その内容は、①デザインイヤーの趣旨、②運動展開の骨格、③運動展

開のしくみ、④推進組織で構成されている。デザインは人間の創造力、構成力をもって生活、産業、環境に働きかけ、その改善を図る営みと要約できる。従って「デザイン」は我々の日常生活を支える基本的な思想であると同時に、生活を機軸として、技術、産業、地域社会、国際社会を結ぶ重要な絆としての役割を果たすことが期待されている。

デザインイヤー運動はこのようなデザインに対する期待に応え、デザインを通じて新しい時代における生活と産業、ひいては文化のあり方を国民各分野で問い直そうという運動である。

この運動は、デザインを通じて①国民生活の質的向上、②地域の活性化、③産業の高度化、④国際社会への貢献を主軸に展開するが、デザインイヤーに参加する各事業主体が、それぞれの立場から主体的に事業を実施することが期待され、これらの諸事業がデザインイヤー運動の中で相乗効果を高めることをねらいとしている。そのため、フォーラムは地方自治体、産業界、

## '89デザインイヤーフォーラム・メンバー（設立時）

（五十音順）

### 会長

石川六郎

日本商工会議所会頭

### 副会長

長村貞一

輸出検査及びデザイン奨励審議会会長  
（財）日本産業デザイン振興会会長

赤澤璋一

日本貿易振興会理事長

天谷直弘

国際経済交流財団会長

新井真一

（財）国際デザイン交流協会理事長

荒巻禎一

京都府知事

井川博

日本商工会議所専務理事

伊賀貞雪

愛媛県知事

池田芳藏

日本放送協会会長

石井威望

東京大学教授

石原俊

（社）経済同友会代表幹事

板垣清一郎

山形県知事

板垣武四

札幌市長

市原晃

日本百貨店協会会長

井上孝

東京大学名誉教授

井元啓太

（財）日本陶磁器意匠センター理事長

岩田治郎

伝統的工芸品産業振興協会会長

宇野勝

全国町村会会長（野州町長）

梅棹忠夫

国立民族学博物館館長

梅原 猛

国際日本文化研究センター所長

栄久庵憲司

インダストリアルデザイナー

圓城寺次郎

日本経済新聞社顧問

奥谷 禮子

（株）ザ・アール代表取締役社長

賀来龍三郎

キャノン（株）代表取締役社長

樫尾忠雄

（株）日本事務機械工業会会長

亀倉雄策

グラフィックデザイナー

河合三良

（財）国際開発センター会長

川原正人

日本放送協会顧問

岸 昌

大阪府知事

岸 薫夫

国際協力事業団副総裁

君 健男

新潟県知事

木村尚三郎

東京大学教授

清成忠男

法政大学教授

栗田幸雄

福井県知事

黒柳徹子

女優

小秋元隆輝

（財）日本機械デザインセンター理事長

香西 泰

（社）日本経済研究センター理事長

小菅 一郎

（社）国際家具産業振興会会長

五代利矢子

評論家

小林與三次

（社）日本新聞協会会長

小松左京

作家





デザイン界等に広く運動への参加を呼びかけるとともに、参加事業の登録及び広報を実施する。運動の展開は、先ほど申しあげた生活、地域、産業、国際の課題に対応したイベント、プロジェクト、メディアに関するさまざまな事業が期待される。この例示の中には、世界デザイン博覧会、世界デザイン会議、日本文化デザイン会議、国際デザインフェスティバル等のように既に実施が決まり、計画の進んでいる事業もある。そしてこれらの事業と運動の展開を通じ、1990年代の生活、産業、文化の再構築を目指したい。これが、基本構想の骨子である。

石川議長より、以上の'89デザインイヤー基本構想(案)の説明に対して、質問、意見等を諮ったところ、特に質問、意見等はなく、'89デザインイヤー基本構想(案)は原案通り異議なく承認された。

昭和63年度事業計画(案)および昭和63年度  
収支予算(案)  
(省略)

'89デザインイヤーフォーラム設立総会

## 田村 元 通商産業大臣祝辞

'89デザインイヤーフォーラムの発足に当たり、一言御挨拶申し上げます。

皆様も御承知のように、今日、デザインは潤いのある充実した国民生活を築く上で、さらに、技術、産業、地域社会、国際社会を結ぶ絆として、一層重要な役割を果たすことを期待されるまでになっております。また、このような中で我が国のデザインは、今やいくつかのデザインの分野で世界をリードしております。

しかし、一方で、消費者ニーズの多様化、高度情報化社会の到来、国際経済社会の相互依存の深化等、デザインをめぐる諸環境も大きく変わりつつあります。このような環境の変化を背景に、デザインが今後とも的確にその社会的期待にこたえていくためには、従来以上にデザイン関係者の積極的かつ能動的な活動が期待されるところであり、また、国民各分野におけるデザインマインドの一層の定着が必要と考えます。

かかる中、輸出検査及びデザイン奨励審議会から、去る3月31日に、「1990年代のデザイン政策」について、答申が行われました。

本答申においては、1990年代のデザイン政策の出発点として、1989年度を「デザインイヤー」とし、デザイナーのみならず、デザイン振興機関、地方自治体、経済団体、企業等のデザイン関係者がそれぞれの立場から1990年代のデザインを考える機会を設けることが提唱されております。

通商産業省といたしましても、本答申を受け、1989年度をデザインイヤーと位置付け、広くデザイン関係者に対しこの運動への参加と協力を呼びかけるとともに、この運動を強力に支援していくことを決定したところであります。その意味で、本日デザインイヤー運動の推進母体となる'89デザインイヤーフォーラムが発足いたしますことは、誠に有意義なことであるといえます。今後、本フォーラムを中心にデザインイヤー運動が積極的に展開されることを期待しております。

最後に、既に一年有余にわたり、この運動の準備を進められた関係者の皆様方の御努力に敬意を表するとともに、'89デザインイヤーが、我が国のデザイン活動の新たな飛躍をもたらすことを祈念いたしまして私のお祝いの言葉とさせていただきます。

今野由梨  
細郷道一  
斉藤滋与史  
三枝佐枝子  
堺屋太一  
坂倉芳明  
佐々木秀一  
佐治敬三  
白根禮吉  
末吉興一  
鈴木俊一  
鈴木礼治  
清家清  
関本忠弘  
高丘季昭  
高田勇  
瀧澤三郎  
竹下虎之助  
竹田弘太郎  
寺田千代乃  
豊田章一郎  
中沖豊  
中川順  
中川鐵藏

生活科学研究所長  
横浜市長  
静岡県知事  
商品科学研究所長  
財アジアカラブ理事長  
社東京ファッション協会副会長  
東京商工会議所副会頭  
大阪商工会議所会頭  
財電気通信科学財団理事長  
北九州市長  
全国知事会会長(東京都知事)  
愛知県知事  
建築家  
社ニュービジネス協議会会長  
日本チェーンストア協会会長  
長崎県知事  
財日本繊維意匠センター理事長  
広島県知事  
名古屋商工会議所会頭  
アート引越センター(株)代表取締役社長  
社日本自動車工業会会長  
富山県知事  
社日本民間放送連盟会長  
財生活用品振興センター理事長

中西陽一  
長洲一二  
中村時雄  
西尾武喜  
西尾正也  
沼田武  
畑和  
平松守彦  
福永美津子  
細川護熙  
堀江幸夫  
牧野昇  
松下正治  
三浦朱門  
三田勝茂  
三村庸平  
望月幸明  
森英恵  
盛田昭夫  
山崎正和  
山中鎮  
山本壮一郎  
横路孝弘  
吉村午良

石川県知事  
神奈川県知事  
全国市長会会長(松山市長)  
名古屋市長  
大阪市長  
千葉県知事  
埼玉県知事  
大分県知事  
国際基督教大学教授  
熊本県知事  
社日本軽工業品団体連合会会長  
社三菱総合研究所会長  
社関西経済連合会副会長  
作家  
社日本電子機械工業会会長  
社日本貿易会会長  
山梨県知事  
服飾デザイナー  
社経済団体連合会副会長  
大阪大学教授  
社松屋代表取締役社長  
宮城県知事  
北海道知事  
長野県知事





**実行委員会の委員、委員長の委嘱**

石川議長より、'89デザインイヤーフォーラムがデザインイヤー運動を推進するにあたり、規約により実行委員会を設けることになっていること、また委員及び委員長については、フォーラム会長が委嘱することになっている旨の説明のあと、石川議長より、フォーラムメンバーを含めた14名（P4参照）の方々に対して、実行委員としてご委嘱したい旨が述べられました承された。さらに、石川議長より実行委員会の委員長については日本商工会議所 井川博専務理事にご委嘱したい旨が述べられました承された。

石川議長より、以上をもって予定された議事は終了した旨が告げられ、その他について発言があればと付言された。

これに対して長村事務総長より、'89デザインイヤーのマーク、ロゴに関してフォーラムメンバーである亀倉雄策先生に作成をお願いしたこと、

今後デザインイヤーの広報に大いに活用して頂きたいとの紹介と説明がなされた。

この後、石川議長より、各地で1989年に企画されているデザイン関係事業イベントに関して、名古屋市、千葉県、石川県の事例について各出席者からご発言願いたいとの指名があり、夫々次の通り発言があった。

**●西尾武喜 名古屋市長発言要旨**

'89デザインイヤーフォーラムの設立と1989年をデザインイヤーとして設定されたことについて祝意とお礼を申し上げたい。

名古屋市においては、1989年に世界デザイン博覧会と世界デザイン会議を開催するための準備を進めており、時宜に適したものと大変心強く思っている。名古屋市としては、この2つのイベントを充実したものに仕上げ成功裡に進めるよう努力したいので、各界のご支援を頂きたいと願っている。

**●沼田武 千葉県知事発言要旨**

1989年のデザインイヤー運動の推進母体として'89デザインイヤーフォーラムが発足したことに祝意を申しあげたい。

デザインイヤーを国民的スケールで運動を進めていく1989年は千葉県にとっても大変な年になろうとしている。国の力添えと経済界の支援により、1989年10月に幕張メッセがオープンすることになり、最初のイベントとして「日本文化デザイン会議」が行われるが、同会議は第10回を迎えるので従来にも増して大規模な企画で実施するよう準備を進めている。更に東京モーターショーが幕張で来年10月下旬から11月上旬にかけて開催することが決定している。

千葉県でもデザインイヤー運動を契機としてデザインの視点にたつて私達の生活と産業のあり方をとらえ、県民の生活を高めていきたいので各界のご支援をお願いしたい。

**●中西陽一 石川県知事発言要旨**

石川県には九谷焼、輪島塗、加賀友禅といった伝統工芸がありますので、これらを中心に国際的視野に立った活動を展開していきたい。かねてから「国際デザイン交流展」を開催してきたが、1989年も引き続き同展の開催計画を進めているので引き続き各界のご支援をお願いしたい。

デザインイヤーの趣旨は大変結構であり大いに運動を進めて欲しい。他県も同様と思うが、石川県でも財団法人組織でデザインセンターを作っている。地域の活性化のためにも是非ともこれを発展させたいと思っている。

**'89デザインイヤーフォーラム実行委員会 (設立時)**

**委員長**

- 井川 博 日本商工会議所専務理事
- 委員長代理
- 豊口 協 (社)日本インダストリアルデザイナー協会理事長
- 天谷直弘 国際経済交流財団会長
- 新井真一 (財)国際デザイン交流協会理事長
- 大森重志 (社)日本パッケージデザイン協会理事長
- 金子俊二 (社)日本ジュウリーデザイナー協会会長
- 亀倉雄策 (社)日本グラフィックデザイナー協会会長
- 清成忠男 法政大学教授
- 澤田光英 (財)日本建築センター理事長
- 白根禮吉 (財)電気通信科学財団理事長
- 鶴海良一郎 (財)都市計画協会会長
- 長村貞一 輸出検査及びデザイン奨励審議会会長 (財)日本産業デザイン振興会会長
- 馬場忠寛 (社)日本クラフトデザイン協会理事長
- 平野拓夫 インダストリアルデザイナー
- 福永美津子 国際基督教大学教授
- 渡辺 優 (社)日本インテリアデザイナー協会理事長

**'89デザインイヤー協力団体・教育機関**

**団体**

- 石川県インダストリアルデザイン協会
- (社)石川県デザインセンター
- 協大阪デザインオフィスユニオン
- (財)大阪デザインセンター
- 神奈川県デザイン協会
- (財)機械振興協会
- (財)機械電子検査検定協会
- 協京都クラフトセンター
- 京都デザイン関連団体協議会
- (社)京都デザイン協会
- (財)クラフトセンタージャパン
- (社)軽金属協会
- 軽金属製品協会
- (社)経済団体連合会
- (財)工芸学会
- (財)工芸財団
- 神戸デザイナーズ協会
- (社)国際家具産業振興会
- 国際協力事業団
- (財)国際デザイン交流協会
- (社)国際モード振興協会
- 埼玉デザイン協議会
- (財)自転車産業振興協会
- (財)住宅産業情報サービス
- 商工組合中央金庫
- (社)新日本建築家協会
- (財)生活用品振興センター
- 製品安全協会
- 世界デザイン会議運営会
- (財)世界デザイン博覧会協会
- 全九州産業工芸連合
- 全国魔法瓶工業組合
- 財舟艇協会
- 全日本ベッド工業会
- (社)総合デザイナー協会
- 中小企業事業団
- 中部クリエイターズクラブ
- 中部デザイン協会
- 通信機械工業会
- デザインフォーラム浜松
- 電気事業連合会
- 伝統的工芸品産業振興協会
- (財)店舗システム協会
- 東京デザイナーズスペース
- (社)東京ファッション協会
- 東京文具工業連盟
- (社)日本インダストリアルデザイナー協会
- (社)日本インテリアデザイナー協会
- 日本化学繊維協会
- (社)日本家庭用ミシン工業会



以上の発言のあと、石川議長よりマーク、ロゴに関連して、亀倉雄策氏に対して発言が求められた。

#### ●亀倉雄策氏発言要旨

1973年のデザインイヤーの時にマークを制作したが、このたびのデザインイヤーについても、シンボルマーク作成の依頼を請け制作した。マークは5種類程作ったが三角、四角、丸のデザインの基本形を鮮明にしたもので、文字(ロゴ)を入れて躍動感を付加した。今後のイヤー広報に役立てて欲しい。

次いで、石川議長より元文化庁長官の三浦朱門氏に対して発言が求められた。

#### ●三浦朱門氏発言要旨

政府や商工会議所がバックアップしてこのようなデザイン振興の事業が催されることは大変意義深い。デザイナーの方々にとっては隔世の感があるものと思う。デザインとはその国の文化、あるいはデザイナーの教養の造形的表現である。それを生かせなければ、いくら立派な催があっても、デザインイヤー運動は立派な実を結ばない。

デザイナーの心を生かすようなかたちに、運動をもっていってもらいたい。

以上5氏の発言に対して、フォーラム全員拍手をもって発言の趣旨に賛同した。

最後に石川議長より、本日の総会の議事を終了した旨を告げ、設立総会の閉会を宣言した。

'89デザインイヤーフォーラム

## 会長 石川六郎 挨拶

'89デザインイヤーフォーラムの会長をお引受けするに当たり、一言御挨拶申し上げます。今日、デザインは、「心」を充足する快適で潤いのある生活が希求される中、21世紀の我が国を支える最も重要な知的創造活動の一つであります。

現在、我が国のデザインは世界をリードするレベルにまで向上しておりますが、ここに至るまでには、デザインに直接携ってこられた皆様はむろんのこと、多くの関係者の方々の御努力のたまものであり、敬意を表するものであります。

かえりみますれば、1973年にも、当時の日本商工会議所会頭の故永野重雄氏を会長といたしまして、「デザインイヤー運営会」を結成し、デザインイヤー運動を展開したことがございました。

当時は、まだ、我が国においては、「デザイン」という言葉すら一般的ではない状態であり、そのような中で、世界的な規模でのデザイン会議やグッドデザイン展、その他各種のデザイン関連事業を成功裡に実施されましたことは、当時の関係者の皆様の大変な御苦労の結果であろうと考える次第であります。

このような先人の方々の時代と比較すれば、今日の我が国のデザインの状況には隔世の感がございます。

今日、我が国が抱える消費構造の変化や産業社会の新潮流、また、世界をリードするオリジナリティーあふれたデザイン活動への期待を考えるならば、我が国のデザインは、従来にも増して、一層の努力が必要であります。

そのような中で、このたび、デザインの明日を拓く'89デザインイヤーフォーラムが充足しますことは、誠に時宜を得たものとする次第であります。

当フォーラムの会長として、使命を果たしたいと考えておりますが、デザインイヤーが実りのある運動として展開されていくには、フォーラムメンバーの皆様はもちろんのこと、広くデザイン関係者の方々による御支援、御協力が不可欠であり、切にお願いするところであります。

最後になりましたが、本フォーラム発足に当たり、御尽力されてこられました関係者の方々の御努力に敬意を表するとともに、本フォーラムの成功を祈念いたしまして、挨拶にかえさせていただきます。

(株)日本硝子製品工業会  
(株)日本玩具協会  
(株)日本機械工業連合会  
(株)日本機械デザインセンター  
日本機械輸出組合  
日本金属家具工業組合  
日本金属ハウスウェア工業組合  
(株)日本グラフィックデザイナー協会  
(株)日本クラフトデザイン協会  
日本軽工業製品輸出組合  
(株)日本軽工業品団体連合会  
(株)日本計量機器工業連合会  
日本化粧品工業連合会  
(株)日本建築学会  
日本広告技術協議会  
日本広告写真家協会  
(株)日本工作機械工業会  
日本サイン・デザイン協会  
(株)日本産業機械工業会  
(株)日本産業車両協会  
(株)日本色彩研究所  
(株)日本自転車工業会  
日本自転車振興会  
(株)日本自動車工業会  
(株)日本事務機械工業会  
日本写真機工業会  
(株)日本ジュウリーデザイナー協会  
(株)日本住宅設備システム協会  
(株)日本商環境設計家協会

日本商工会議所  
(株)日本消費者協会  
(株)日本図案家協会  
(株)日本繊維意匠センター  
日本タイポグラフィ協会  
日本チェーンストア協会  
(株)日本ディスプレイ業団体連合会  
日本ディスプレイ・デザイン協会  
(株)日本デザイナークラブ  
日本デザイン学会  
日本デザインコミッティー  
日本デザイン保護協会  
(株)日本鉄鋼連盟  
(株)日本電機工業会  
(株)日本電子機械工業会  
日本陶業連盟  
(株)日本陶磁器意匠センター  
日本陶磁器デザイナー連盟  
日本陶磁器輸出組合  
(株)日本時計協会  
(株)日本特許情報機構  
日本人間工学学会  
(株)日本パッケージデザイン協会  
日本百貨店協会  
日本文化デザイン会議  
(株)日本貿易会  
日本貿易振興会  
(株)日本包装技術協会  
(株)日本マーケティング協会

(株)日本民藝館  
(株)日本流行色協会  
(株)日本輸出玩具登録協会  
日本羊毛紡績会  
(株)発明協会  
(株)ベタラーピング  
北海道デザイン協議会

#### 教育機関

阿佐ヶ谷美術専門学校  
芦屋芸術学院専門学校  
アーバン・デザイン・カレッジ  
専門学校インテリアセンタースクール  
宇都宮デザイン電子専門学校  
大垣女子短期大学  
大阪芸術大学  
大阪写真専門学校  
大阪総合デザイン専門学校  
大阪デザイナー専門学校  
金沢デザイン専門学校  
関西女子美術短期大学  
北関東造形美術専門学校  
九州産業大学  
九州造形短期大学  
近畿大学九州工学部  
専門学校桑沢デザイン研究所  
神戸山手女子短期大学  
郡山女子短期大学部  
嵯峨美術短期大学

四国女子大学  
女子美術大学  
女子美術短期大学  
仁愛女子短期大学  
仙台デザイン専門学校  
創造社デザイン専門学校  
拓殖大学  
多摩美術大学  
戸板女子短期大学  
東海大学  
東京造形大学  
東京デザイナー学院  
東北工業大学  
東洋美術学校  
名古屋芸術大学  
名古屋造形芸術短期大学  
新潟デザイン専門学校  
専門学校日本デザイナー学院  
日本デザイン専門学校  
専門学校広島芸術学院  
北海道総合美術専門学校  
北海道造形デザイン専門学校  
北海道東海大学  
町田・デザイン専門学校  
武蔵野美術大学  
山形デザイン専門学校

(五十音順 設立時)

## '89デザインイヤーフォーラム

# 設立記念パーティー



●6月1日の'89デザインイヤーフォーラムの設立総会の後、東京全日空ホテル「鳳」の間において、フォーラム設立記念パーティーが開催されました。

パーティーでは、最初にフォーラム会長 石川六郎日本商工会議所会頭より、デザインイヤーの輪が大きく広がり、真に実りのある運動となることを念願する旨の挨拶がありました。

続いて田村元通商産業大臣から、デザインイヤー運動はまことに時宜を得たものであり、通商産業省としてもこの運動を強力に支援する旨の祝辞を賜りました。

その後、フォーラムメンバーである圓城寺次郎日本経済新聞社顧問の乾杯で祝宴が開かれました。パーティーには産業界、経済界、教育界、デザイン界、駐日外国公館の方々、報道関係者など約800名が参集し歓談の一夕を過しました。

### ○五代利矢子（評論家）

昔はデザインというと、ある一部の非常に限られた方々の問題と考えられてきました。ところが今日のデザインイヤーフォーラムの設立時のお話をうかがいますと、デザインはすべてのことにかかわってくるわけですね。ある意味で暮らしのデザインなどというように、ライフスタイルなどもデザインするという感じですね。

私が一番興味を持っているのは、これからの街づくり。電線の地中化といったハードの問題も含めた全体の街づくりを、住民の人たちがうまく参加してつくり上げていく。そういう時、デザインイヤーフォ

ーラムなどが理論的背景というか、そのバックになって、みんなに力を与えてくれると思います。

すべてのものにデザインがつながって来ますので、デザインイヤーは、やり方によってはすごく面白くなる。あまりスペシャリティにシフトしないで、暮らしとかいろいろなところから発言があって、それがひろがっていくといいと思います。

### ○西尾武喜（名古屋市長）

デザインとは、まさにお茶わんからスペースシャトルまでデザイン。また生活のデザイン、暮らしのデザイン。つまり人間の心を豊かにするのがデザインですから、こうした運動が日本国中に広がっていくことは、本当に楽しみなことですね。

ですから、そんなに難しく考えずに、毎日の生活がデザインのなかにどっぷりつかっている、という発想で、少しでもいいものを見つけていく、デザインマインドを高めていく、というのが、これからの日本に求められているのではないかと思います。

### ○白根禮吉（勲電気通信科学財団理事長）

やはり「ふくらみ」が必要だと思っています。生活の「ふくらみ」。

私は本来は通信技術の出身で、つまりコミュニケーションが専門です。人と人、人と物のコミュニケーション。ぼくは本当はデザインとは関係ないんですが、デザインとは、デザインを通して人と物のコミュニケーションを図るということでしょう。そういう意味では共通性がある。だからデザインイヤーの話があった時、やりましょうと。

これだけの人が参加して、お役所とか政治家なども

含めてみんなが参加するようになった。情報社会などということ、いまから20年以上前に言い出した一人なので、ものすごくうれしいですね。日本もやっとなんと、少し「ふくらみ」のついた時代に入った、という実感です。

### ○栄久庵憲司（インダストリアル・デザイナー）

全国的にデザインの質を高めようというデザインイヤーの運動は、昔で言うところの大政翼賛会的なところがあるかも知れません。しかし昔とは違って、勉強しようということでしょう。質を上げるということ。これを北は北海道から南は沖縄までやるということは、たいへんな知恵です。

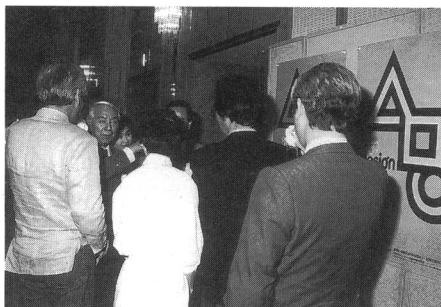
直感したのは、この運動を世界に早く知らせたほうがいいということ。アメリカとかソ連とかイギリスなどに、日本は、これだけやっているんだということをしらせなければいけない。残念ながら今日の会合には国際的なコレスポンデントがいない。だから早く世界につなげたほうがいい。

ぼくの実感では、今回のデザインイヤーは非常におっとりとした感じがします。ギクシャクではなくて、ぼく自身はずいぶんデザイン界にインボルブされてきましたけれど、よくぞこれだけの状態にきたな、と思いますね。

### ○豊口 協（東京造形大学学長）

1973年にデザインイヤーがありましたね。あの時は日本を世界に見てもらおうということでした。今度のデザインイヤーは、世界の人たちに自分達が何かできるか、ということでしょう。

かつては先進工業国、先進経済国に目が向いていま







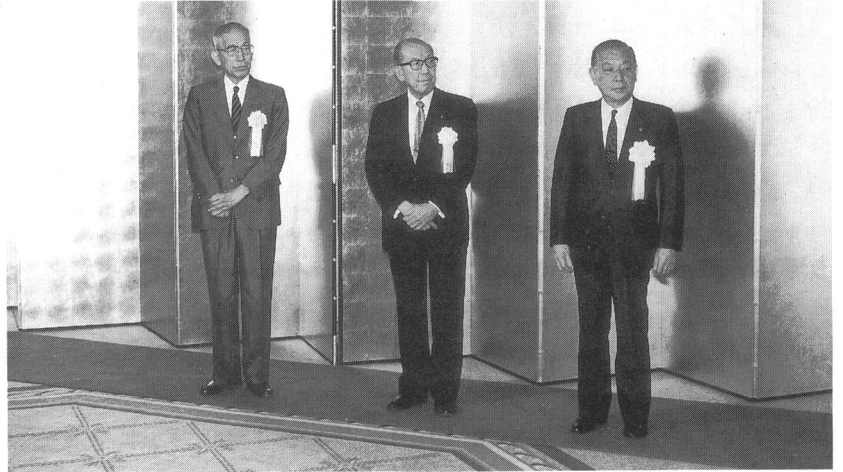
したが、これからは360度地球全部を見ていく。かつては10億の人に目をむけたものを四十数億の人に向けていく。地球が将来どうなるか、命あるもの同志がお互い助け合って生きていくことを、デザインをベースにして考えていかなければなりません。デザインイヤーフォーラムをベースにして、世界にどういメッセージを発信していくか。これはものすごく大きな課題だと思います。

○坂根 進 (アート・ディレクター)

一般の人にもっとデザインマインドをもってもらうのが、一番大切ではないかと思ひます。デザイナーというか、デザインのスペシャリストが多くなりすぎて、逆にデザインのゼネラリストが一人もいないでは情けない。海外は逆に、たとえばイギリスのサッチャー首相も、自分はデザインのゼネラリストだとはっきりおっしゃっているくらいです。デザインイヤーを機会に、デザインのゼネラリストといった方がたくさん出てくるようになったらいいと思ひますね。

○黒木靖夫 (ソニー株式会社取締役・クリエイティブ本部長)

いまのままで日本がいったら、必ずNIESに追い越される。製品だけ、つまり値段とフェューチャーだけから言ふと、必ず日本は追い越されてしまう。そのためにはデザインで付加価値を高めることが絶対に必要だと思ひます。だからデザインに一生懸命にならないと、いまのプレステージを保つことができないうらうというのが、私の率直な感想です。そのために、国民全体がデザインに対する興味を持



つことが一番大事な問題だと思ひます。何といつても、まだ我々の近代化はなされてない。実際このように背広を着てますが、本当に背広の着方を知っている人が日本に何人いるかと言へば、はなはださみしいと思ひますよ。自分はこういうネクタイをして、こういうくつ下をはいて、という意識。それがベーシックなデザインだと思ひます。そういう意識がまだまだ足りないから、デザインイヤーが大きなムーブメントになることが大事なんです。

○牧野 昇 (株三菱総合研究所会長)

物というは、ある程度になるとおなかいっぱい。住宅は満杯だけでも、付加価値は無限にある。ぼくが一言いいたいのは、日本のデザインに対して、みんなコンプレックスがあるということ。でも、パリで有名なファッションデザイナー10人のうち、4人が日本人。それからアメリカの特許なども、上位1、2、3位が日本の企業。日本は無形の価値はだめだ、有形の価値を売っているんだという感じから、ものすごく変わってきた。その無形の価値の一つがデザインです。日本的なデザインが非常に評価され始めた。

日本のデザインのアイデンティフィケーションは何かということを見極めるために、デザインイヤーという運動が必要になってきたという感じがします。

○吉川弘之 (東京大学工学部教授)

この会場にいらっしゃる方々がデザイナーの集団であるとすれば、デザイナーとは常に世の中の片隅にいたんです。

一つの社会の中で、デザイナーがアウトサイダーとして、一匹狼的に独立して仕事をしていくことは、デザインの本質としては良いことだと思ひます。しかしそれだけでは力になりません。機械工学という分野にいる私からみても、いままでの状況は非常に悪かったのではないかと想像します。それがこのように社会の表舞台に出て来た。

いま日本は技術が先行し過ぎて、文化が遅れているといひます。デザインはまさに技術と文化の接点ですから、このデザインに力を入れるということが、日本が世界的な意味で一流国になるための必要条件だと思ひます。

○山本寛斎 (ファッション・デザイナー)

たとえば、このマイクロフォンもデザインです。私たちが着ている洋服もデザイン。この絨毯もインテリアのデザインですね。私たちはデザインに囲まれている。それでいながら何となく距離感があると皆さんは思っらっしゃる。

私たちがいま快適かどうかということは、いかにいいデザインであるかということ、あるいは、自然とどれだけかわわっているかということ、その二極からとらえられると思ひます。

今後のデザインのあり方が、心の充足へと向うことも間違いないでしょう。このへんでデザインを再認識してみることも、もちろん文化を含めてですが、大きな貢献になるのではないかとと思ひます。



# '89デザイナー基本構想

1987年6月、当振興会が準備事務局となり、13の団体と、4人のメンバーからなるワーキンググループにより構成された'89デザイナー企画準備委員会が発足された。

この'89デザイナー基本構想の計画案は、同企画準備委員会での討議をもとにその骨子が形成され、1988年1月、4人のメンバーが新しくワーキンググループに参加し、内容を1つ1つ検討しながら作成されたものである。

## デザイナーの趣旨

1990年代を眼前にした今日、私達は時代の扉を開きつつあります。

私達の生活では、大量生産・大量消費を特徴とする産業経済の発展を背景として、「もの」の量的充足が進みました。今や、私達は、このような「もの」の充足の上に立って、「心」を充足する快適で潤いのある生活を希求しています。

他方、これを支える産業経済も、国際経済秩序の激変の中で、急速な構造変化にさらされています。

このような中で、従来にも増して「創造力」の重要性が高まっています。国際的な人の交流機会が増大する中で、我が国に期待されるのは、世界に誇れる「クリエイティブ（創造的）」な活動の展開ではないでしょうか。

このような時代の息吹きの中で生活と産業のイ

ンターフェースであるデザインの可能性が問われています。

「デザイン」とは、人間の創造力、構想力をもって生活、産業、環境に働きかけ、その改善を図る営みと要約できます。つまり、人間の幸せという大きな目的のもとに、創造力、構想力を駆使し、私達の周囲に働きかけ、様々な関係を調整する行為を総称して「デザイン」と呼んでいます。

従って「デザイン」は、私達の日常生活を支える基本的な思想であると同時に、生活を基軸として技術、産業、地域社会、国際社会を結ぶ重要な絆としての役割を果たすことが期待されているといえましょう。

しかし、このような期待に「デザイン」が応えていくためには、単に従来のデザインの延長線上で考えていくことでは不十分であり、新たな飛躍が求められます。

デザイナー運動は、このような認識を踏まえ、「デザイン」を通じて新しい時代における生活と産業、ひいては文化のあり方を、国民各分野で問い直そうとする運動です。

1990年代を準備する年である1989年こそ、このような運動展開にふさわしい年といえましょう。

## デザイナー運動展開の骨格

デザイナー運動は、「デザイン」を通じて私達の生活と産業と文化のあり方を国民各分野で問い直そうとする運動です。

デザイナーでは、

- ①デザインを通じて国民生活の質的向上を図る
- ②デザインを通じて地域活性化を図る
- ③デザインを通じて産業の高度化を図る
- ④デザインを通じて国際社会に貢献する活動を展開します。

## 輸出検査及びデザイン奨励審議会中間答申

### 「1990年代のデザイン政策」要旨

1988年3月31日、通商産業大臣の諮問機関である輸出検査及びデザイン奨励審議会（会長 長村貞一（財）日本産業デザイン振興会会長）は、「1990年代のデザイン政策」について、中間答申を行った。

同審議会は、田村通商産業大臣から、1987年9月28日「1990年代のデザイン・政策のあり方」についての諮問を受け、以来、デザイン政策小委員会での検討を含め、9回にわたる精力的な審議、検討を重ね、中間答申として取りまとめた。

答申は、大きく4章から構成されており、前半の第1章及び第2章において、今日のデザインを取り巻く創造環境の変容、デザイン活動の現状等についての考察を行い、後半の第3章及び第4章において、デザイン振興における課題、今後のデザイン政策のあり方についての提言が提案されている。特に、デザイン政策の新たな展開については、国民生活の充実、需要の創造及び産業経済の活性化、生活文化の創造並びに創造力の涵養の4つのデザ

インの意義を踏まえ、世界に誇れる日本の個性あるデザインの創造を支える政策の展開が必要であるとして、

- ①デザインインフラの整備……総合的なデザイン振興体制の整備、創造支援拠点の整備の支援、「デザインシティ」の育成、デザイン保全の推進
  - ②グランドデザインの推進
  - ③デザインを通じた国際交流の充実
- の各項目についての政策提言を行っている。

さらに、当面の課題として、

- ①'89デザイナーの提唱
- 1990年代のデザイン政策の出発点として、1989年度をデザイナーとし、デザイナーのみならず、デザイン振興機関、地方自治体、経済団体、企業等のデザイン関係者がそれぞれの立場から1990年代のデザインを考える機会を設けることを提唱。
- ②産業政策措置におけるデザインへの取り組みの強化を指摘している。

## 1. 流動化したデザイン活動

### (1)デザインを取り巻く創造環境の変容

- ①消費者意識の変化
    - ・受動的な「消費」から主体的な「生活」への移行。
    - ・デザインを新たな生活環境の提案と併せ供給することが期待される時代。
  - ②産業のソフト化の進展
    - ・産業における「ソフト」重視の傾向の高まりの中で、デザインの重要性の高まり。
    - ・「サービス産業化」の進展によるデザインチャンス増大。
  - ③長寿社会の出現及び女性進出
- 今後の社会を規定する2つの重要な要素がデザインへも大きく影響。
- ④地域活性化の要請
- 「多極分散型国土の形成」の観点から地域活性化の要請がかつてなく大きいが、このようなときであるが故に、地場産業の振興と地域づくりの中で、



① 国民生活の質的向上を図る活動

私達の生活は、数多くのモノやサービスであふれています。これらのモノやサービスを適切に選択し、豊かな生活に結びつけていくために、私達一人一人の生活に係るデザインに対する意識が不可欠な時代になってきました。デザイナーでは、私達一人一人のデザイン意識を深め、豊かな生活を築いていくことをめざすとともに、産業や地域に対しては、人々の要求に十分に応えうる、より創造性の高いモノやサービスを提供するよう問いかけます。

② 地域の活性化を図る活動

地域の活動化は、個性あふれる地域づくりの上に実現されます。地域には、地域に根ざした地域産業や伝統的な工芸が存在しますが、今後厳しさを増す環境の中で、その高度化を図るため、デザインという視点は不可欠です。また、地域住民の生活環境を改善していく上で、施設や商店街のデザインの改善が欠かせません。更には、地域開発計画にもより大きな視点でデザインが必要といえます。

③ 産業の高度化を図る活動

国際経済の大きな変容の中で、我が国産業は、従来に増して一層知識集約化をせまられます。デザイナー運動は、企業の経営戦略としてデザインを活用する活動を推進するとともに、中小企業に対してはデザインを活用しうる機会をより拡大する活動をめざします。

④ 国際社会に貢献する活動

1990年代の日本に求められるのは、世界の国々の歴史と文化を理解しつつ、世界に対して、日本として誇れる個性を問いかけることではないでしょうか。創造性の高いモノやサービスの提供が国際社会における我が国の役割であることを強くアピールすると同時に、発展途上国の開発を支援する活動の展開をめざします。

デザイナー運動を通じて、デザインの源となる創造力、構想力の涵養、デザインにおける人・組織・情報のネットワーク化が推進されますが、これを基礎として、1990年代におけるデザインのインフラストラクチャーの整備といった視点もデザイナー運動の中で考えていくことも必要です。

デザイナー運動展開のしくみ

デザイナー運動は、「デザイン」を通じて新しい時代における生活と産業と文化のあり方を、国民各分野で問い直そうという運動です。従って、運動に参加する各事業主体は、デザイナーの趣旨に賛同し、デザイナーの期間(1989年4月～1990年3月)中に、それぞれの立場から主体的に運動に参加し、事業を実施することが期待されます。

デザイナーという枠組みは、これらの諸事業の相乗効果を高めることに狙いがあります。

(1)デザイナーの推進母体

デザイナーの推進母体として、国民各分野から広く支持される組織「デザイナーフォーラム」を設置します。

デザイナーフォーラムは、生活、地域、産業、国際社会などの領域で「デザイン」を通じて取り組むべき課題を国民各分野へ提示します。これは別図の中に示されています。

デザイナーフォーラムは、地方自治体、報道機関、経済団体、デザイン振興機関、デザイナー団体、企業等各事業主体にデザイナー運動への参加を求めます。

(2)デザイナー運動への参加

各事業主体は、自らの主体的意思と企画をもってデザイナー運動に参加することを期待します。

参加事業は、デザイナー運動の趣旨に合致する事業であればデザインの分野及び事業の種類を問いません。

デザインに係る分野は、プロダクト(製品)、ファッション、クラフト、インテリア、グラフィック、パッケージから商空間設計、都市環境、地域開発等多面に亘っています。「デザイン」は、人の物質的、精神的な諸要求を十分に満足させる調和のある人工的環境を形づくることを意図する創造的活動と定義されます。このような概念でとらえられるものであれば、あらゆるデザインの分野を視野に入れたいと考えます。

デザインの視点が不可欠。

⑤ 技術革新の進展

- ・デザインとエンジニアリングの「融合化」の進展。
- ・技術革新によるデザイン開発の自由度の増大。
- ・デザイン活動におけるCAD導入の進展。

⑥ 国際分業の進展

生産部門の海外移転に対応するデザイン部門の海外展開の検討の必要性。

(2)デザイナー活動の現状

以上のように創造環境が変容する中で、「デザイン」活動は量、質ともかつてとは様相を一変。

① デザイン創造機会の増大

- ・デザイン需要は急成長……昭和57～60年のデザイン需要の伸び8.6%。
- ・地方におけるデザイン需要の拡大傾向……首都圏、中京圏及び近畿圏以外の地域の構成比 昭和54年13.5% 昭和60年18.6%。

② デザインに係る領域の拡大

- ・デザインに係る対象の拡大……「もの」から「環境・空間」へ。イベント、地域振興等におけるデザインの導入。
- ・視覚から五感へ。
- ・ランドデザインの重要性の増大。

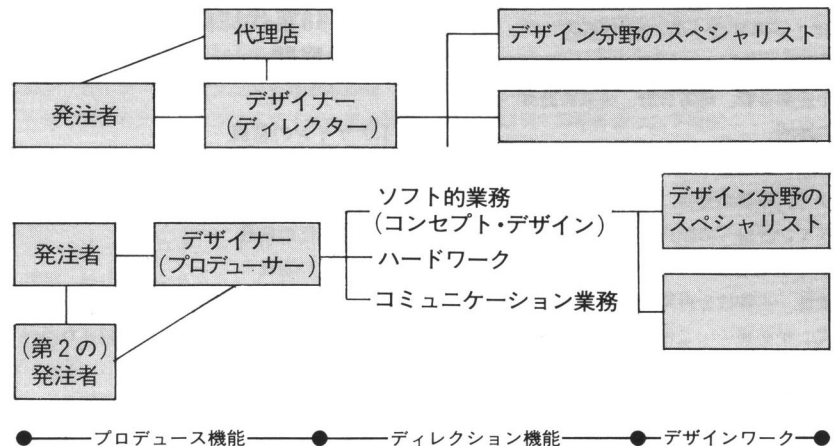
③ デザイン活動の分業化傾向の進展

■ デザイン業務の形態変化

デザイン業務(フリーランス・デザイナーと発注者の関係の場合)は、ものの生産に対応する形で進められてきた。

しかし、デザインの係わる領域が拡大するに及んで、フリーランス・デザイナーにプロデュース機能が求められるようになった。

〈現在みられる業務形態例〉



※「1990年代のデザイン政策」をもとに図解

また、事業の種類も、展示（博覧会、展示会等）、会議（セミナー、シンポジウム等）、競技会（コンペティション、コンクール等）、計画作成（地域づくり、街づくり等）、具体的な開発（製品開発、地域開発等）、広報等多様なものが考えられます。

「デザイン」の可能性を世に問い、更に実証していくためには、イベント（催事）とプロジェクト（実践活動）の効果的な複合が重要です。またメディアのもつ大きな力を忘れてはなりません。

後半には、デザインイヤー運動の中で展開されることが期待される参加事業のイメージの理解を深めるため、既に企画、準備が進んでいる事業、実施が確実な事業も含め、各課題毎に事業例を示してみました。勿論、参加事業は、後半記載の事業例に限られるものではありません。世界デザイン会議、世界デザイン博覧会等既に企画、準備が進んでいる事業については、デザインイヤーの趣旨に沿った事業展開を期待します。国際デザイン展、国際デザインアワード、日本文化デザイン会議、国際デザインコンペティション等の実施が確実視される事業は、デザインイヤーの趣旨に沿った企画を期待します。言うまでもなく、デザインイヤー運動は、このような既に実施が確実となっている事業で終わるものではありません。否、むしろ、本構想を契機に、「デザイン」の課題を考え、実践する参

加事業の輪がもっともっと広がる時、それは成功するでしょう。

デザインイヤーへの参加は、デザインイヤーフォーラムの登録の下に行われ、「'89デザインイヤー参加事業」の名称の他、デザインイヤーの「マーク」及び「ロゴ」の使用が認められます。デザインイヤー参加事業に対しては、全国的な立場から指導、ノウハウの提供、広報等による相乗効果の拡大を図ります。

## デザインイヤーの推進組織

(1)「'89デザインイヤー運動」の推進母体は、国民各分野によって広く支持される組織である必要があります。

このため、国民各分野（経済、社会、技術、文化、地域、デザイン等）のデザインマインド豊かな有識者からなるデザインイヤーフォーラムを組織し、英知を結集するとともに、デザインイヤー運動の推進母体とします。

デザインイヤーフォーラムは、次の活動を行います。

- ①'89デザインイヤーを主催します。
- ②'89デザインイヤー運動の中で行われる諸事業を総括します。
- ③「国民デザイン賞（仮）」「地域ワークショップ（仮）」等を直接主催します。
- ④'89デザインイヤー参加事業を登録します。

⑤デザインイヤーフォーラムのメンバーを中心に、独自の活動（デザインイヤー記念出版等）を展開し、デザインを通じて解決すべき様々な課題を提示、提案します。

⑥'89デザインイヤーの終了に際し、運動の総括的評価を行います。

(2)デザインイヤーフォーラムの下に、「'89デザインイヤー参加事業」の登録、広報等の事業を審議・決定する委員会を設置します。

(3)事務局は（財）日本産業デザインの振興会に置き、各事業主体が自主的に運営する事業活動に対し、デザインイヤーの趣旨に沿った調整と支援を行います。

## 期待される事業例

### 国民生活の質的向上を図る活動

#### ①「国民デザイン賞（仮）」

国民生活に多面的に係るデザインの姿を「国民デザイン賞」の設定によって浮彫りにすることにより、国民各層のデザインに対する理解を促進します。デザインイヤー宣言時に広く一般に提示し、デザインイヤーの諸活動を通じて対象となるデザインを収集し、デザインイヤーの推進母体である「デザインイヤーフォーラム」の名において、これを発表します。

#### ②「世界デザイン博覧会」

「ひと、夢、デザイナー都市が奏でるシンフォニー」をテーマに、国際化社会における我が国の果たすべき役割、今後の生活像などをデザインを通じてわかりやすく国民一般に示すことにより、国民各分野のデザインに対する理解を促進します。

主催：勲世界デザイン博覧会協会 会期：1989年7月15日～11月26日 開催都市：名古屋

・デザインに対する要求が高度化し、デザインの「コンセプト」の提案が重要性を高める中で、デザイン活動の専門化及び分業化が進展。

・このような中で、「もの」をデザインの角度から総合的に計画していく「プロデュース」機能の重要性が増大。

## 2. デザイン振興の課題

### (1)デザインの社会への一層の浸透

- ・デザインの生活充実効果の社会への一層の浸透。
- ・中小企業分野、地方分野、公共分野等へのデザインの浸透。
- ・デザイン学の体系化を指向するデザイン研究及びデザイン教育の充実。
- ・デザイン評論への期待。

### (2)デザインインフラの整備

- ・創造性、主体性を鼓舞する「先進的デザイン創作研究」が必要……この場合、産学共同研究方式も有益。
- ・次の3点からデザインの創造を支えるネットワークの構築が必要……デザイナー、企業及び地域を結ぶネットワーク、異分野ネットワーク、デザイナーの共同化。

・我が国企業の「知的所有権」を保護する上で、また、健全な国際貿易関係を維持していく上で、デザイン保全が重要。

### (3)デザインを通じた国際交流

- ・生活文化に係るデザインを通じた国際交流は、生活、習慣、価値観、嗜好等日本人の本当の姿を伝えるという意味で地についての国際交流と評価。
- ・デザイン交流のシステム化が必要。

## 3. 1990年代に向けたデザイン政策の展開

### (1)デザインの意義

- ・国民生活の充実
- ・需要の創造及び産業経済の活性化
- ・生活文化の創造
- ・創造力の涵養

### (2)1990年代に向けたデザイン政策

2の各課題に対応する政策が検討されるべきであるが、就中、次の視点が重要。

#### ①総合的なデザイン振興体制の充実

デザインの領域の拡大に対応するデザイン振興機関の体制整備が必要。特にコーディネイト・コンサルティング機能の強化が肝要。

### ②創造支援拠点整備の支援

地域において「デザインセンター」設置の動き。このようなデザインセンターは、デザイン関係者のコミュニケーションターミナルとして機能するとともに、デザイン研究、デザイン教育、国際交流等に貢献するものであり、支援が必要。

### ③「デザインシティ」の育成

地域を構成する産業、生活、文化、施設等のデザインについて多面的かつ総合的に改善を図る「デザインシティ」の育成が必要。

（視points例）

- ・地域の産業におけるデザイン導入。
- ・デザインの創作を刺激するような「文化財」の蒐集。

- ・伝統的な「工芸」の活性化等地域文化の高揚。
- ・公共的な施設や商店街等のデザインの改善。

### ④デザイン保全の推進

- ・デザインの創作者、供給者及び需要者のデザイン保全意識の高揚。
- ・「意匠法」、「不正競争防止法」等の制度の積極的活用及び今後とも広く問題の実態に応じた制度のあり方の検討が必要。

- ・GATTウルグアイ・ラウンドへの対応。

我が国の輸出品デザイン法をモデルとした制度の整備の提案。



### ③「国際デザイン展」

国内外の優れたデザインに関する展示を通じて、人々のデザインに対する理解と関心を深めるとともに、デザインに関する交流を推進します。

主催：財国際デザイン交流協会 開催都市：大阪

### ④「国際デザインアワード」

世界のあらゆるデザイン分野においてその発展向上に著しい貢献をした人々や団体などを表彰します。

主催：財国際デザイン交流協会 開催都市：大阪

### ⑤「日本文化デザイン会議」

21世紀の日本のあり方を多様な方面の有識者によるシンポジウムによって「文化デザイン」という視点から討議し、様々な提案を行います。

主催：日本文化デザイン会議

### ⑥「国際デザイン交流展」

各種のデザインコンペティションで受賞した国内外の優れたデザインの展示及び学生等によるデザイン提案により、中小企業へのデザインに対する理解及びデザインマインドの浸透を推進します。

主催：国際デザイン交流展 いしかわ開催委員会  
会期：1989年10月(予定) 開催都市：金沢

### ⑦「全国巡回デザイン展」

世界各国のグッドデザインを一堂に集め、全国を巡回展示することにより、国際社会を前提とした生活像(ライフスタイル)を考える場を提供します。

### ⑧「環境提案プロジェクト」

私的生活空間及び公的空間を対象に、デザインを通じて改善と創造を提案するプロジェクト。具体的には各地方自治体、各地商工会議所、青年会議所、商工会等に呼びかけ、各地域ごとにテーマを設定し、コンペティション等により改善、創造に取り組むプロジェクトを推進します。

### ⑨「青少年デザインコンクール」

青少年を対象に、デザインの重要性と生活への係りを具体的に認識してもらうために、デザイン提案を全国的に募集し、表彰します。

### ⑩「デザイン教育会議(仮)」

デザインコースが設置されている大学、短期大学、専修学校等の教育者、企業内デザインマネージャー

等に呼びかけ、1990年代のデザイン教育のあり方を考える会議を開催します。

### ⑪「産学協同プロジェクト」

企業、自治体、デザイン教育を行う教育機関に呼びかけ、一体となって特定の問題を実践的に解決することにより、新たな人材の育成を図るとともに、デザインに対する国民各分野の理解を促進します。

### ⑫「デザイン特集番組、記事等の提案」

テレビ、新聞、雑誌等のジャーナリズム、百貨店等流通関係に呼びかけ、デザインを通じて生活の質を向上させる活動(具体的な番組、記事、シンポジウム、展示会など)を展開します。

### 地域活性化を図る活動

#### ①「地域ワークショップ」

地域の自治体、商工会議所等に呼びかけ、デザインを通じて地域アイデンティティの確立、産業の活性化を図るプロジェクトを推進します。具体的には、各地域毎にテーマ(伝統的特産品のリ・デザイン、商店街の活性化、家具産地の国際化等)を設定し、研究、提案を行います。

#### ②「地域デザインセンターの設立支援」

地域社会と産業の発展に貢献するデザインセンターの設立を地方自治体等に呼びかけ、個性ある地域のデザインセンター設立を支援します。また、これらデザインセンター間のネットワーク化を推進します。

### 産業の高度化を図る活動

#### ①「近未来デザイン開発プロジェクト」

主要企業と、内外一流デザイナーの協力により、近未来の生活像をデザイン(商品提案)を通じて消費者に提示することにより、生活像(ライフスタイル)を描く手がかりを与え、企業の開発活動の一層の高度化を促進します。

#### ②「デザインマネジメント国際会議(仮)」

国際化社会を前提とした企業のアイデンティティ(個性)形成に向けて、デザインをどう多角的に活用すればよいかについて、主要企業経営者、デザインマネージャーを中心に検討します。デザインマネー

ジメントインスティテュート(米国ボストン)等との協力により、1989年2月～3月頃開催を予定します。

### ③「中小企業デザインマネジメント賞(仮)」

デザインを通じて企業の発展を図った中小企業を表彰することで、全国中小企業のデザインに対する意欲を高めます。評価は、グッドデザイン商品選定事業(Gマーク)を基盤として行います。

### ④「デザインイヤー協賛広告・商品」

デザインイヤー協賛広告・商品を各企業に呼びかけ、企業の経営姿勢を消費者に直接語りかける活動を推進することで、企業のデザインマインドを高めるとともに、消費者のデザインに対する理解をより一層深めます。

### ⑤「フリーランスデザイナーの共同化プロジェクト」

フリーランスデザイナー(デザイン事務所)のデザイン活動活性化をめざし、共同化(共同施設の設置等を含む)を推進します。

### 国際社会に貢献する活動

#### ①「世界デザイン会議」

「かたちの新風景—情報化時代のデザイナー—」をテーマに、世界中のデザイナー、デザイン関係者が一堂に結集し、来たるべき時代へ向けてデザインの果たすべき役割を多角的に検討します。

主催：世界デザイン会議運営会 会期：1989年10

月18日～10月23日 開催都市：名古屋

#### ②「国際デザインコンペティション」

各国のデザイナーの参加によるデザインコンペを通じて、国際化時代、高度情報化社会に対応したデザイン能力を高めるとともに、この結果を広く一般に提示することにより、デザインに対する国民各分野の理解を促進します。

主催：財国際デザイン交流協会 開催都市：大阪

#### ③「発展途上国デザイン会議(仮)」

発展途上国の生活と産業を発展させ、アイデンティティを形成するためのデザインの導入、方法論などについて、行政官、デザイン教育関係者、デザイナーが集まり、シンポジウムを開催します。同時に「発展途上国グッドデザイン展(仮)」を併催します。

### ⑤ グランドデザインの推進

・地域開発計画に際し、「グランドデザイン」の視点が特に重要。

### ⑥ デザインを通じた国際交流の充実。

・発展途上国に対するデザイン協力の充実。  
・国際的な人的交流の円滑化。

### ⑦ 当面の課題

A. '89デザインイヤーの提唱。

1990年代のデザイン政策の出発点として、「1989年度」を「デザインイヤー」とし、この期間において、デザイン関係者がそれぞれの立場から1990年代のデザインを考える機会を設けようとするもの。

B. 産業政策措置におけるデザインへの取り組みの強化

・デザイン業は、典型的な「内需型産業」であり、摩擦を生じにくい「国際協調型」の産業。  
・デザインは、中小企業が新規事業展開を図る上での重要な要素。  
・地域経済活性化のための産業立地政策において、産業高次機能としてのデザインへの取り組み。

### ●輸出検査及びデザイン奨励審議会

#### デザイン奨励部会

長村 貞一 財日本産業デザイン振興会会長  
曾田 雄亮 財日本クラフトデザイン協会理事  
新井 真一 財国際デザイン交流協会理事長  
石井 幹子 財石井幹子デザイン事務所代表取締役  
糸川 一誠 日本貿易振興会理事  
黒木 靖夫 ソニー(株)取締役クリエイティブ本部長  
小林 健夫 財日本産業デザイン振興会理事長  
小林 久雄 中小企業事業団理事  
佐々木秀一 東京商工会議所副会頭  
白石 勝彦 財インテリア産業研究所代表取締役  
田中 一光 財日本グラフィックデザイナー協会理事  
豊口 協 財日本インダストリアルデザイナー協会理事長  
中村 季恵 日本放送協会番組制作局  
チーフプロデューサー  
野口 瑠璃 財GKインダストリアルデザイン研究所  
常務取締役  
平野 拓夫 財平野デザイン設計代表取締役  
真鍋 博 イラストレーター  
三好 正也 財経済団体連合会事務総長専務理事  
森 英恵 財ハナエ・モリ代表取締役  
八尾 武郎 財日本パッケージデザイン協会理事  
山中 鑽 財松屋代表取締役社長

### ●デザイン政策小委員会

#### 審議会委員

曾田 雄亮 財日本クラフトデザイン協会理事  
黒木 靖夫 ソニー(株)取締役クリエイティブ本部長  
平野 拓夫 財平野デザイン設計代表取締役  
専門委員  
青葉 益輝 財日本グラフィックデザイナー協会  
理事  
島田 一郎 財フォルマ代表取締役  
鈴木 稔 財西洋環境開発常務取締役  
高藪 昭 財日本産業デザイン振興会常務理事  
手銭 正道 東海大学教養学部長  
福永美津子 国際基督教大学教授  
村上 正明 「についでがいん」編集長

# '89デザインイヤーへの参加ご案内

「'89デザインイヤー」運動の期間中に、地方自治体、各種団体、企業等が運動に参加し、主体性をもった事業等を実施、展開することを期待しています。

'89デザインイヤーフォーラムは、これらの事業を「'89デザインイヤー参加事業」として位置づけ、諸事業の相乗効果を高め、'89デザインイヤー運動の輪を大きく広げます。また、'89デザインイヤーのロゴ・シンボルマークを積極的に活用いただくことにより、'89デザインイヤー運動がより一層拡大、発展することを期待しています。

## '89デザインイヤー参加事業

### 1. 参加事業の対象

'89デザインイヤーの趣旨に沿って、デザインに対する国民各分野の理解を促進することを目的に、デザインイヤー期間中（1989年4月1日から1990年3月31日まで）に実施される事業を対象とします。

### 2. 参加事業の事業主体

地方自治体、経済団体、デザイン団体、産業振興機関、教育機関、報道機関、企業等。

### 3. 登録の方法

イ、各事業主体から'89デザインイヤーフォーラム事務局（財団法人日本産業デザイン振興会）へ「'89デザインイヤー参加事業」としての登録を申請していただきます。

ロ、'89デザインイヤーフォーラムは、「事業登録委員会」を設置し、各事業主体から提出された事業内容を検討します。

ハ、登録基準は、

- ①'89デザインイヤーの趣旨に合致し、かつ、
- ②デザインの普及、発展に寄与する事業とします。ただし、
- ③運営方法が公正でないと認められるもの
- ④その他、社会通念上不適当と認められるものについては、登録されません。

ニ、'89デザインイヤーフォーラムは登録事業に対し、「'89デザインイヤー参加事業登録証」を発行します。

ホ、参加事業として登録された事業は、'89デザインイヤーのロゴ・シンボルマークの使用とともに、「'89デザインイヤー参加事業」の名称を使うことができます。

### 4. 参加事業の広報

'89デザインイヤーフォーラムは、'89デザインイ

ヤー参加事業の全国的な広報活動を行うとともに、各々の参加事業の相乗効果を高め、デザインに対する国民各分野の理解を促進します。

'89デザインイヤー参加事業の事業主体は、'89デザインイヤーのロゴ・シンボルマーク等を積極的に使用し、'89デザインイヤー運動の普及に協力願います。

### 5. その他

イ、「デザインイヤー期間中に実施される事業」は

- ①デザインイヤー期間前に開始し、デザインイヤー期間中に終了する事業
  - ②デザインイヤー期間中に開始し、デザインイヤー期間後に終了する事業
  - ③デザインイヤー期間前に開始し、デザインイヤー期間後に終了する事業
- を含みます。

ロ、昭和63年度中に完了する事業については、ロゴ・シンボルマークを積極的に使用し、'89デザインイヤー運動の普及に協力願います。

## 参加事業の登録申請等の手続

### 1. 申請方法

「登録申請書」（別紙様式-1及び様式-2）に必要事項を記入し、事業企画書を添付して'89デザインイヤーフォーラム事務局（財団法人日本産業デザイン振興会）へ提出して下さい。

事業企画書の様式は任意としますが、①事業趣旨、②事業内容（たとえば展示会の場合、期日、場所、展示内容、展示対象者、予定入場者数など）、③運営組織、④収支予算を記載して下さい。

事業内容によっては、事業主体の経歴書等の追加資料を求める場合があります。

### 2. 審査

「事業登録委員会」における検討内容については、非公開とします。

### 3. 参加事業登録証の発行

参加事業として登録が認められた事業について、「参加事業登録証」を事業主体あて発行します。また'89デザインイヤーのロゴ・シンボルマークの取扱いについては、登録発行時に配布する「'89デザインイヤーロゴ・シンボルマーク使用案内」に従い、正しく使用して下さい。

### 4. 事業内容等の変更

登録後に、事業主体の追加、改組あるいは内容等に変更が生じた場合は、'89デザインイヤーフォーラム事務局へすみやかに変更手続きを行って下さい。また、登録後に様々な事情により、参加事業の実施が困難となった場合は、すみやかに文書によりご連絡下さい。

### 5. 登録の取り消し

登録された事業内容と実施される事業内容が著しく異なると判断された場合、その他社会通念上不適当と認められる場合は、「デザインイヤー参加事業」の登録を取り消します。

### 6. 結果の報告

「デザインイヤー参加事業」が終了した段階で、「参加事業終了報告」（様式-3）を提出して下さい。

### 7. その他

登録料は無料です。

## デザインイヤーロゴ・シンボルマークの使用

### 1. 使用対象

'89デザインイヤーの趣旨に賛同する、①事業、②商品（協賛商品）、および③広告（協賛広告）とします。

（'89デザインイヤー発足前（昭和63年度中）に完了する事業についても、ロゴ・シンボルマークの使用対象とします。）

### 2. 使用の方法

イ、企業または事業主体から使用対象の事業、商品、および広告について、'89デザインイヤーフォーラム事務局（財団法人日本産業デザイン振興会）へ、ロゴ・シンボルマークの使用申請をしていただきます。

「デザインイヤー参加事業」として登録された事業については、使用申請を行うことなく、ロゴ・シンボルマークの使用ができることとします。通商産業省選定グッドデザイン商品については、使用申請を行うことなく届出のみでロゴ・シンボルマークの使用ができることとします。

ロ、'89デザインイヤーフォーラムは、「事業登録委員会」を設置し、各事業主体等から提出された申請内容を検討します。

ハ、使用基準は、

- ①'89デザインイヤーの普及、拡大に寄与するものとします。ただし、
- ②社会通念上不適当と認められる場合は使用をお断りします。

ニ、'89デザインイヤーフォーラムは「'89デザインイヤーロゴ・シンボルマーク使用承諾書」を発行します。

## ロゴ・シンボルマーク使用の申請等の手続

### 1. 申請、届出方法

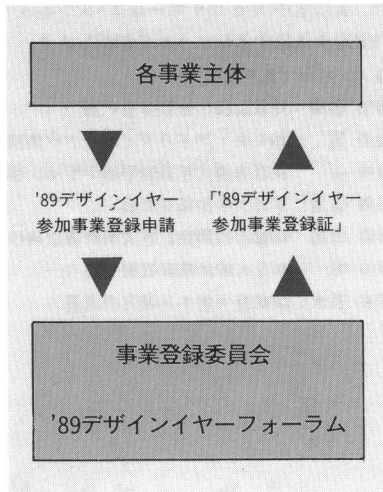
（イ）使用申請：使用申請書（様式-4）に商品、広告の場合は（様式-6）、事業の場合は（様式-2）を



■'89デザインイヤーへの参加

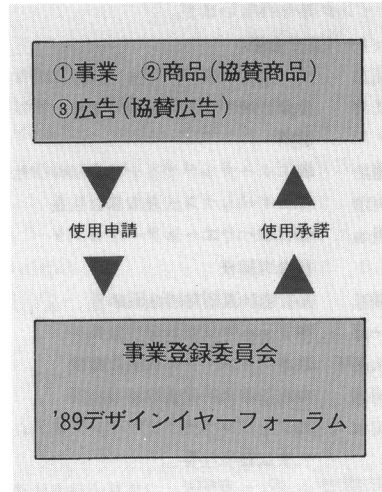
'89デザインイヤー参加事業

'89デザインイヤー運動の期間中、地方自治体、各種団体、企業等が運動に参加し、主体性をもった事業を実施、展開することを期待しています。



ロゴ・シンボルマークの使用

'89デザインイヤーの趣旨に賛同し、ロゴ・シンボルマークを積極的に活用いただくことにより、'89デザインイヤー運動がより一層拡大、発展することを期待しています。



参加事業として登録された事業は、'89デザインイヤーのロゴ・シンボルマークの使用とともに「'89デザインイヤー参加事業」の名称を使うことができます。

添付して下さい。

(ロ)使用届出：使用届出書(様式-5)に(様式-6)を添付して下さい。

協賛商品の場合は、カタログ等商品の内容が理解できるもの、広告の場合は、広告表現の概要が理解できるもの、また、事業の場合は、事業企画書を添付して下さい。

使用内容等によっては、企業の経歴等の追加資料を求める場合があります。

2. 検討

「事業登録委員会」における検討内容は非公開とします。

3. 使用承諾書の発行

「使用承諾書」を企業または事業主体あてに発行します。

また、ロゴ・シンボルマークの取扱いについては、承諾書発行時に配布する「'89デザインイヤーロゴ・シンボルマーク使用案内」に従い、正しく使用して下さい。

4. 使用内容の変更

使用承諾後、使用内容に変更が生じた場合は、'89デザインイヤーフォーラム事務局へすみやかに変更手続を行って下さい。

また使用承諾後、様々な事情により実施が困難となった場合は、すみやかに文書によりご連絡下さい。

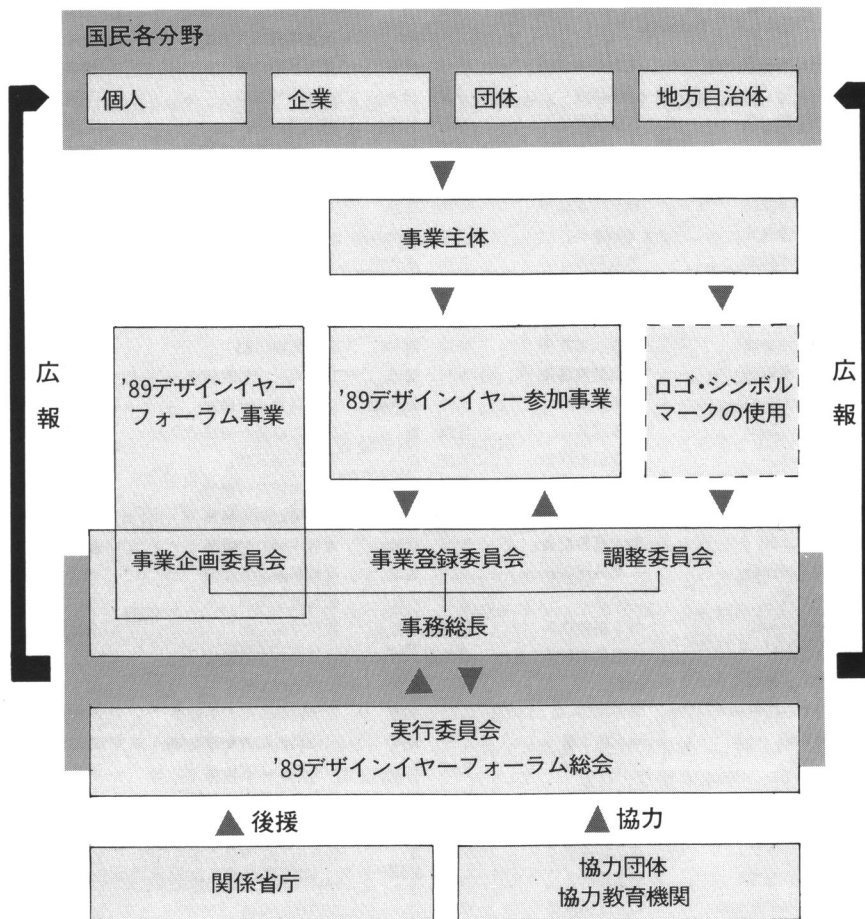
5. 使用承諾の取り消し等

ロゴ・シンボルマークの使用が「'89デザインイヤーロゴ・シンボルマーク使用案内」に照らし不適切と認められる場合は、是正をお願いし、または使用承諾を取り消すことがあります。

6. その他

ロゴ・シンボルマークの使用料は無料です。

■'89デザインイヤーの組織イメージ



# '89デザインイヤーフォーラム各委員会 (設立時)

## ■調整委員会

調整委員は、'89デザインイヤー広報活動の立案、実施、参加事業相互の調整、および地方自治体、各種団体等が企画事業を企画・検討する際のコンサルティング等を行ないます。

### ●メンバー (五十音順)

- 池亀 拓夫 (株)デザインステーション代表取締役  
大島 礼治 多摩美術大学美術学部デザイン学科講師  
奥田 憲治 (株)エターナルデザイン代表取締役社長  
金谷 光容 (株)エイベックス代表取締役社長  
河北 秀也 (株)日本ペリエールアートセンター代表取締役  
佐藤 暢紘 (財)計量計画研究所企画部長  
島田 一郎 (株)フォルマ代表取締役社長  
瀬島 久美子 (株)オフィス・プロ代表取締役  
高田 邦男 (株)高田事務所代表取締役社長  
谷口 正和 (株)ジャパンライフデザインシステムズ代表取締役社長  
長澤 忠徳 (有)長澤忠徳デザイン事務所代表取締役  
平野 哲行 (株)平野デザイン設計副社長

## ■事業登録委員会

事業登録委員会は、地方自治体、各種団体、企業等から申請のあった事業等の内容を検討し、「'89デザインイヤー参加事業」として登録するかどうか、また'89デザインイヤーロゴ・シンボルマークの使用を承諾するかどうかを判断します。

### ●メンバー (五十音順)

- 青葉 益輝 青葉益輝広告制作室代表  
佐野 寛 (株)モス・アドバタイジング代表取締役  
田中央 東京芸術大学芸術学部デザイン科講師  
手銭 正道 東海大学教養学部長  
南条 道昌 (株)都市計画設計研究所代表取締役  
西澤 健 (株)G K設計取締役副社長  
松本 哲夫 (株)剣持デザイン研究所所長

## ■国民デザイン賞企画委員会

- 泉 真也 デザインプロデューサー  
黒川雅之 建築家、インダストリアルデザイナー  
島田一郎 コミュニケーションデザイナー  
白根禮吉 電気通信科学財団理事長  
中村季恵 NHKチーフプロデューサー  
中村良夫 東京工業大学教授  
松葉一清 朝日新聞社アエラ編集部

## ■デザインワークショップ企画委員会

- 大西 隆 東京大学助教授  
小澤紀美子 東京学芸大学助教授  
喜多 俊之 インダストリアルデザイナー  
清成 忠男 法政大学教授  
今野 由梨 生活科学研究所所長  
長澤 忠徳 デザインコンサルタント  
長谷 昭 (株)電通総研取締役事業部長

## ■'89デザインイヤー推進委員

'89デザインイヤーフォーラムでは、デザインイヤー運動の全国的な展開を図るため、47都道府県23市のデザイン行政担当課長を中心に、70名の方を「'89デザインイヤー推進委員」に委嘱しました。フォーラム事務局では推進委員と連携をとりつつ同運動の広報、参加事業の掘り起し、事務局への情報提供等にご協力していただきます。

- 北海道商工労働観光部 工業振興課長 山口 博司  
小樽市経済部 商工課長 多賀 正人  
帯広市商工観光部 商工振興課長 柴田 信吾  
旭川市商工部 商工振興課長 松岡 滋  
札幌市経済局商工部 工業課長 岡田 日出男  
青森県商工労働部 観光物産課長 佐藤 正勝  
岩手県商工労働部 工業課長 西塔 雅彦  
宮城県商工労働部 商政課長 吉田 善兵衛  
秋田県商工労働部 工業振興課長 塩田 和人  
山形県商工労働開発部 商工課長 原田 克弘  
福島県商工労働部 経営指導課長 遠藤 剛  
茨城県商工労働部 工業振興課長 木村 宏忠  
栃木県商工労働部 工業課長 山崎 美代造  
群馬県商工労働部 商政課長 青柳 勇  
埼玉県商工部 工業振興課長 東條 秀一  
千葉県商工労働部 工業課長 河村 正人  
東京都労働経済局商工部 計画課長 市原 勝祐  
神奈川県商工部 商工総務室長 秋津 和雄  
新潟県商工労働部 工業振興課長 土田 義司  
長野県商工部 工業課長 中村 貞愛  
山梨県商工労働部 商工振興課長 伊良原 龍夫  
静岡県商工部 地場産業課長 露久保 透  
横浜市中小企業指導センター 所長 鈴木 幸生  
川崎市中小企業指導センター 指導課長 真田 大陸  
松本市商工部 商工部次長 金井 信次  
愛知県商工部 商業貿易課主幹 稲垣 淳三  
岐阜県商工労働部 商工課長 岩垣 儀一  
三重県商工労働部 工業振興課長 木場 勤  
富山県商工労働部 商工振興課長 松本 寛  
石川県商工労働部 商工課長 宮崎 修二  
名古屋市経済局商工部 観光貿易課長 青木 功

- 岐阜市経済部 経済部次長 岡田 信夫  
多治見市経済部 商工課長 今瀬 量義  
津市産業労働部 商工課長 田村 美雄  
富山市産業奨励館 館長 坂林 明雄  
高岡市商工労働部 中小企業課長 西 正勝  
金沢市経済部 商工観光課長 米田 正  
福井県商工労働部 工業開発課長 高佐 和弘  
滋賀県商工労働部 商工課長 亀川 勇喜夫  
京都府商工部 理事 南 恵美子  
大阪府商工部 ソフト産業振興課長 遠山 攻  
兵庫県商工部 工業課長 藤原 久嗣  
奈良県商工労働部 商工課長 元星 彦史  
和歌山県商工労働部 産地振興課長 吉田 勉  
京都市経済局商工部 伝統産業課長 西田 光博  
大阪市経済局中小企業部 参事 豊田 耀子  
神戸市経済局 経済政策課長 山本 律  
鳥取県商工労働部 通商観光課長 水根 富士雄  
鳥根県商工労働部 商工振興課長 仲山 尚一  
岡山県商工部 工業振興課長 出射 勝巳  
広島県商工労働部 商工振興課長 益永 聡  
山口県商工労働部 商業観光課長 末成 宏  
広島市経済局商工消費部 商工課長 黒田 武一郎  
福山市商工部 商工課長 水田 功  
徳島県商工労働部 商工振興課長 藤井 克明  
香川県経済労働部 企業振興課長 今谷 祥二  
愛媛県商工労働部 経営指導課長 三木 秀文  
高知県商工労働部 商工振興課長 小松 潔  
松山市産業部 商工課長 山本 明  
福岡県商工部 商工振興課長 榊島 義幸  
佐賀県商工労働部 商工振興課長 高橋 勝明  
長崎県経済部 商工課長 副島 宏行  
熊本県商工観光労働部 商政課長 森村 武邦  
大分県商工労働観光部 商工振興課長 工藤 真一郎  
宮崎県商工労働部 経営指導課長 熨斗 新八郎  
鹿児島県商工労働部 工業振興課長 藤田 健太郎  
福岡市経済農林水産局商工部 商工貿易課長 陶山 修身  
北九州市経済局企業振興部 企業振興課長 田代 健八郎  
沖縄県商工労働部観光文化局 工芸産業課長 翁長 自健  
那覇市経済部 商工課長 外間 政恒

**'89デザインイヤーフォーラム事業**  
**日本デザイン賞**  
**デザインワークショップ**  
**青少年デザイン提案コンクール**



## 『日本デザイン賞』結果発表

'89デザインイヤーフォーラムが主催する'89デザインイヤーのシンボルの事業「日本デザイン賞」の審査会が去る2月16日行なわれ、注目の「日本デザイン大賞」には「ファクシミリ」「沖縄自然冷房住宅『ドーチャンプル』」「本州四国連絡橋 児島・坂出ルート(瀬戸大橋)」「横浜市アーバンデザイン行政」に決定した。また「日本デザイン賞」には「ソニー『ウォークマン』」「JR東日本のデザインへの取り組み」など12件、「奨励賞」には「西友『無印良品』」「島根県吉田村『鉄の歴史村』」など23件が決定した。

生活、文化、産業のあらゆる場面で重要な要素となってきた「デザイン」の今日的意義を再認識し、生活シーンのすみずみにまで普及していくことを目的にした「'89デザインイヤー」運動。

この運動のシンボルの事業が「日本デザイン賞」です。

「日本デザイン賞」は、快適で潤いのある生活の実現を旨としてデザインされた特定の事物(モノ、コト)を顕彰することで、デザインの果たす役割の重要性を広くアピールするのが狙いです。ただし、単に最も優れたデザインを表彰しようという事業ではありません。日頃デザインという言葉で語られないものまで含め、デザインマインド豊かな事物を発掘し、その中から、「'89デザインイヤー」の目的であるデザインを通じての「国民生活の質的向上」、「地域の活性化」、「産業の高度化」、「国際社会への貢献」などを実現させたと判断される事物を顕彰する事業です。顕彰の対象となるのは、デザインイヤー期間中(平成元年4月1日～2年3月31日)に成果が継続して

いて、なおかつ今日的意義を十分持ちうるものです。推薦から調査を経て審査に至る経緯としては、まず、'89デザインイヤーフォーラムから委嘱された全国353名の「推薦委員」が対象となる事物を審査委員会に対して推薦しました。推薦された対象候補は443件に上り、この中から「調査委員会」(委員長:泉真也/環境デザイナー)が、「日本デザイン賞」の目的・意義に沿っているかについて、また必要に応じて現地調査などの調査・確認を行いました。

最終的には42件に絞りこみがなされ、平成2年2月16日に開催された「審査委員会」(委員長:天谷直弘/財国際経済交流財団会長)で、「日本デザイン大賞」「日本デザイン賞」「奨励賞」の各賞が以下のように決定しました。

この表彰の仕組みを通じて、デザインを積極的に活用することの意義を明らかにし、21世紀へ向けた新しい生活イメージを創出することが期待されます。受賞対象については次のとおり。

### 『日本デザイン賞』受賞対象

#### 「日本デザイン大賞」

ファクシミリ  
沖縄自然冷房住宅「ドーチャンプル」  
「本州四国連絡橋 児島・坂出ルート」(瀬戸大橋)  
横浜市のアーバンデザイン行政

#### 「日本デザイン賞」

ソニー「ウォークマン」  
ホンダ「スーパーカブ」  
「新幹線」  
任天堂「ファミリーコンピュータ」  
営団地下鉄のサインデザイン

#### 東京都清流復活事業

柳川市の河川浄化事業  
盛岡市の町づくりデザイン  
「世界デザイン博覧会」を核とする名古屋市のデザイン活動

日産自動車のデザインへの取り組み  
松下電器産業のデザインへの取り組み  
JR 東日本のデザインへの取り組み

#### 「奨励賞」

ぴあ「ぴあ」  
西友「無印良品」



プレゼンテーション会場



審査会場

## 『日本デザイン賞』概要

名称：『日本デザイン賞』

表彰主体：'89デザイナーフォーラム（会長：石川六郎／日本商工会議所会頭）

後援：通商産業省、建設省、運輸省、外務省、文化庁

表彰対象：快適で潤いのある生活の実現を旨とし、日本国内で実現された事物（モノ、コト）で、'89デザイナー期間中に成果が継続しており、かつ今日的意義を十分持ちうるかと判断されるもの。

審査基準：(1)デザインマインドをもって実践されている、(2)社会、環境、技術との調和が配慮されている、(3)快適で潤いのある国民生活の実現に寄与する、(4)その結果、わが国の経済、社会、文化の発展に貢献する——などの条件を満たしているもの。

推薦：全国の自治体、経済団体、デザイナー団体、教育機関、報道機関等の関係者および有識者等に「日本デザイン賞推薦委員」を委嘱し、推薦要領を配布。353名の推薦委員は、表彰対象となる事物を収集し審査委員会に対し推薦。推薦期間は、平成元年7月から9月30日。

調査・確認：推薦された443件に上る対象候補のうち、必要と考えられるものについて、調査・確認を行う「日本デザイン賞調査委員会」を設置、この委員会で「日本デザイン賞

審査委員会」に提出する情報を整備。

なお、調査委員会では推薦案件について、「日本デザイン賞」の目的、意義に照らしながら現地調査を実施しました。

〈日本デザイン賞調査委員会〉

委員長 泉 真也 環境デザイナー  
大西 隆 東京大学助教授  
小澤紀美子 東京学芸大学助教授  
島田 一郎 コミュニケーションプランナー  
松葉 一清 建築評論家

審査・発表：調査委員会で最終的に42件に絞りこまれ、報告された対象候補を、平成2年2月16日に開かれる「日本デザイン賞審査委員会」で審査、「日本デザイン大賞」「日本デザイン賞」「奨励賞」が決定し、発表します。

〈日本デザイン賞審査委員会〉

委員長 天谷 直弘 (財)国際経済交流財団会長  
副委員長 白根 禮吉 (財)電気通信科学財団理事長  
安藤 忠雄 建築家  
大宅 映子 ジャーナリスト  
黒川 雅之 建築家、プロダクトデザイナー  
C.W.ニコル 作家  
田中 一光 アートディレクター  
中村 良夫 東京工業大学教授  
浜野 安宏 総合プロデューサー  
松任谷 由実 シンガーソングライター  
吉川 弘之 東京大学教授、工学部長

アシックスのウォーキングシューズ

超軽量車椅子

鹿島建設「KIビル」

「親不知ピアパーク」

「国営昭和記念公園」

島根県吉田村「鉄の歴史村」

長野県小布施町の町並み修景事業

日本デザインコミッティーの活動

日本トイレ協会の活動

徳島市市制100周年記念事業「藍のニューヨークファッションプレゼンテーション」

キングジム「Gファイル」

林刃物のはさみ

「すくい易い食器」

「東京都葛西臨海水族園」

「釧路フィッシャーマンズワーフ MOO」

帯広市「グリーンパーク」

浜松駅周辺地区開発事業

愛知県足助町の町づくり

宮城県中新田町の町づくり

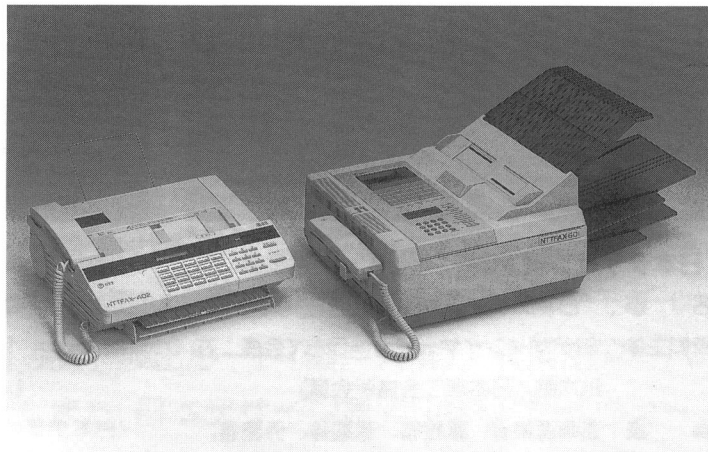
「ピースポスターキャンペーン」

「国際デザインコンペティション」

## 日本デザイン大賞

### ファクシミリ

日本で特に発達したコミュニケーションツールで、ほぼ日本のみで商品化されており、年間417万台生産、内369万台が輸出されている。このファクシミリは、時間差や距離差をなくした画期的なビジネスツールで、労働時間の短縮や業務の合理化等オフィス環境の改善に寄与するとともに、情報化、国際化するビジネスシーンの活性化に大きく貢献した。

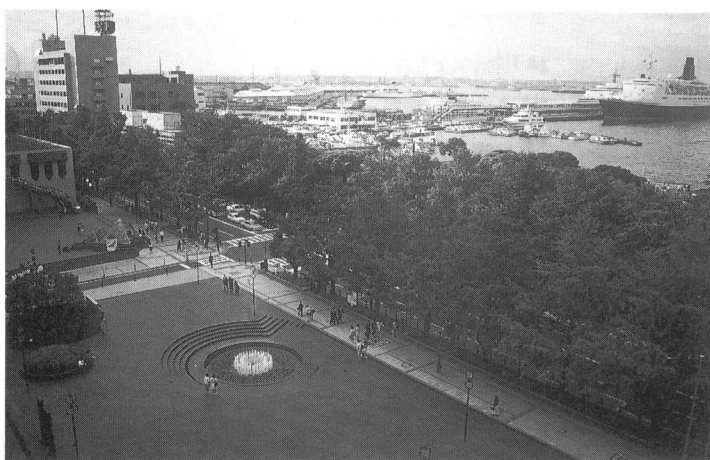


### 沖縄自然冷房住宅 「ドーム・チャンブル」

沖縄の自然との共生を図り、風土性、土着性を考慮した住宅。「風の道」による通風、アサギ型ルーバーや、花ブロックのスクリーンなどによる遮光、最上階の土による断熱など、高温多湿な気候に適応したプランからディテールにわたるデザインと、地元の材料と技術を駆使し、風景との調和を図ったデザインは高く評価された。

### 本州四国連絡橋 児島・坂出 ルート(瀬戸大橋)

これまで主に海上交通に依存せざるを得なかった本州と四国間に建設された海上長大橋。実用性と経済性のみを追求するだけでなく、橋梁形式、高架橋橋脚形状、色彩等により瀬戸内海の自然景観との調和を図った。観光資源として、地域経済の活性化にも大きく貢献している。



### 横浜市のアーバンデザイン行政

1971(昭和46)年から始まった横浜市の都市デザイン活動は、質の高い人間的な都市環境を築く手法として、自治体行政の実践活動の中でアーバンデザインに取り組み、様々の実績を重ねてきた。そして、都市リニューアルをトータルに捉え、「みなとみらい21(MM21)」へと発展させようとしている。この横浜市の活動は、デザインのコーディネーション機能を活用した都市行政と1つのモデルとして大きな影響を与えた。



# 日本デザイン賞

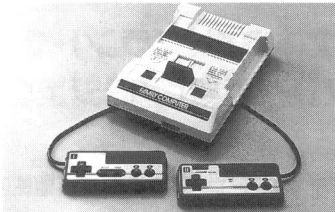
# 日本デザイン賞



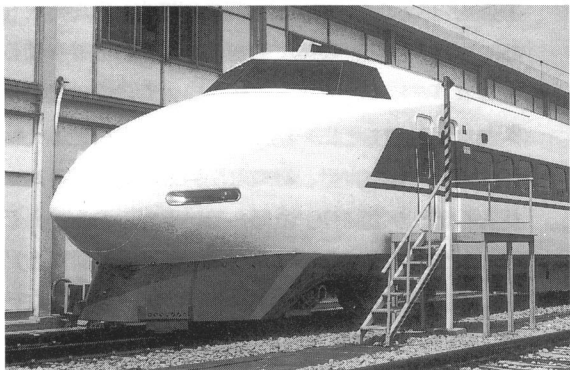
ソニー「ウォークマン」



ホンダ「スーパーカブ」



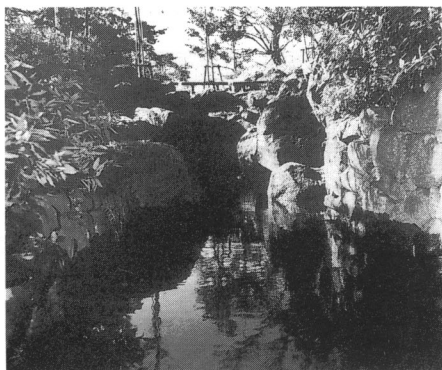
任天堂「ファミリーコンピュータ」



「新幹線」



都営地下鉄のサインデザイン



東京都清流復活事業



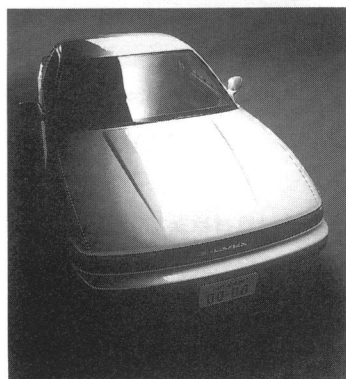
柳川市の河川浄化事業



「世界デザイン博」を核とする名古屋市のデザイン活動



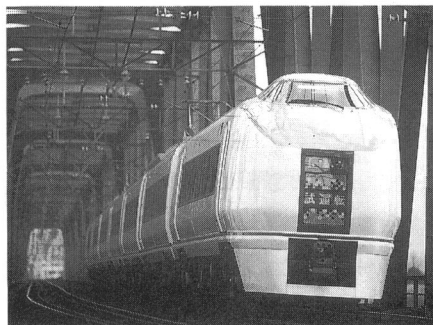
盛岡市の町づくりデザイン



日産自動車のデザインへの取り組み



松下電器産業のデザインへの取り組み



JR東日本のデザインへの取り組み

## 「デザインワークショップ」報告

全体構想(ランドデザイン)→全体計画(プラン)→事業計画(プログラム)→事業(プロジェクト)へと具現化していく出発点として……。

「デザインワークショップ」(地域別デザイン研究会)は、'89デザインイヤーフォーラムが、新たな地域づくりへ向けて、デザインが取り組むべき課題を地方自治体、各種団体等とともに研究する事業で、全国15地域において開催された。

この事業の全体テーマは「クリエイティブ・リストラチャリング」。

そこには、これらに共通する地域が直面しているさまざまな問題を「デザイン」という創造活動をもって再構築していこうという意味が込められており、各地域ごとにそれぞれ地域に密着したテーマ(別表参照)を掲げ、これを有識者、デザイナー、産業、地域住民等が、知恵を出し合うことで多角的に研究

していこうというワークショップ形式がポイントとなっている。

'89デザインイヤーでは、人間の創造力、構想力をもって生活、産業、環境に働きかけ、その改善を図る営みを「デザイン」として捉え、人間の幸せという大きな目的のもとに、創造力、構想力を駆使し、私達の周囲に働きかけ、様々な関係を調整する行為を総称して「デザイン」と呼んでいるが、つまり「デザインワークショップ」(地域別デザイン研究会)は、その広義の意味での「デザイン」を実験的に研究することにより、地域の戦略の全体像(ランドデザイン)を描こうとする試みでもあった。



個々のテーマの根底には、地域の個性や特色をどう生みだしていくかという大きな課題があるわけだが、15地域で取り組んだ当初のテーマを大まかに分析してみると、まず、地域のアイデンティづくりをめざし、

(A)地域のイメージ資産をうまく活用しようというもの：福井県、鳥取県、高知県、佐世保市

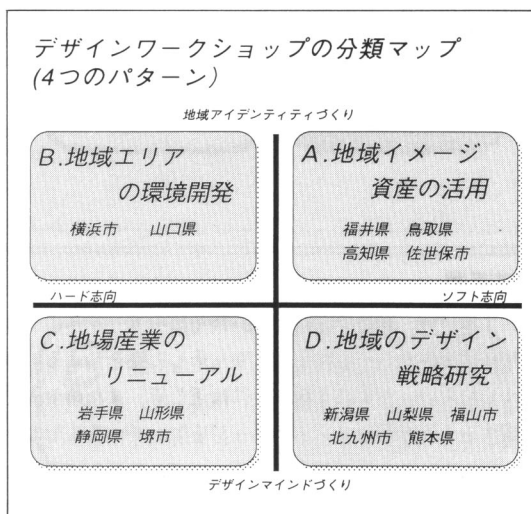
(B)地域エリアの環境レベルから追究しようというもの：横浜市、山口県

そして、デザインマインドづくりを基礎として、

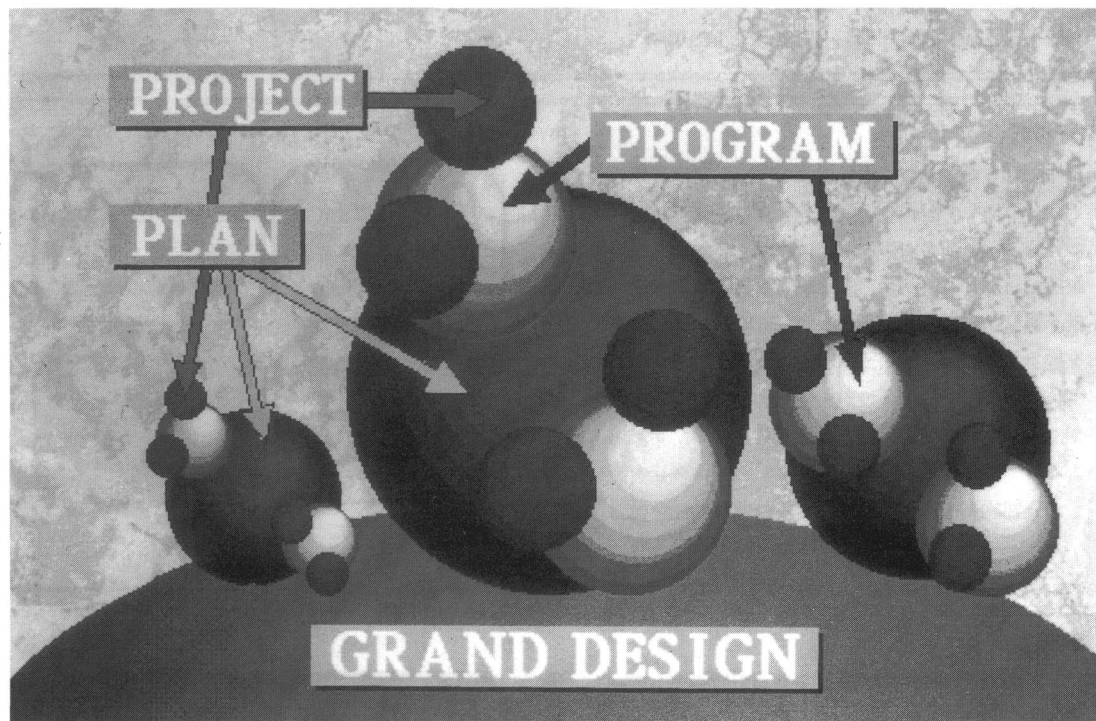
(C)地場産業のリニューアルを考えようというもの：岩手県、山形県、静岡県、堺市

(D)地域のデザイン戦略を多角的に研究、実践しようというもの：新潟県、山梨県、福山市、北九州市、熊本県

と言うように、4つのパターンに分類できるようだ。



しかし、ワークショップを進めていく過程で、問題領域の拡大はもちろんのこと、地域によってはテーマの方向転換にまで及んだケースもある。



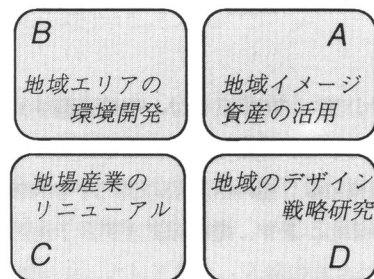
最近では、各地でさまざまなイベントが盛んであるが、グランドデザインが明確でなく、計画が形骸化したままで、一過性のイベントを繰り返してもあまり地域振興には寄与しないと考えられる。あくまで重要なことは、地域が自らグランドデザインの策定にかかわり、いかに地域住民の合意形成としてこれを拡げていくかということである、この事業の主眼もその点に置かれたといえよう。

「デザインワークショップ」(地域別デザイン研究

会)を機に、今後新たな地域戦略(リストラクチャリング)の実現へ向けて、「全体構想(グランドデザイン)→全体計画(プラン)→事業計画(プログラム)→事業(プロジェクト)」というように各地域のデザインが具体化されていくこと、さらにはそれぞれに蓄積された情報やノウハウがワークショップの地域間ネットワークとしての相乗効果を生み、将来的には地域づくりのモデルケースとしてリーダーシップ性を発揮することが期待される。

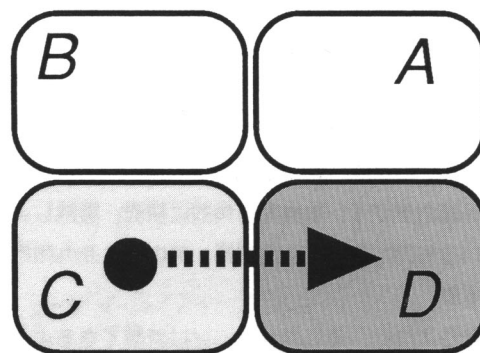


## 「デザインワークショップ」開催15地域概要



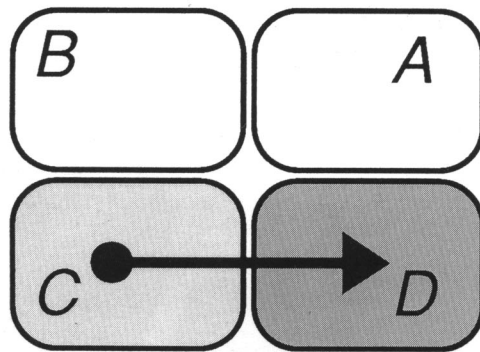
### 岩手県

岩手県には、鉄器や漆器などの特産品のセールスポイントや技術を生かして現代生活にマッチした物をつくるにはどうしたらいいかという発想力には乏しく、また県全体を代表するようなデザイン・イメージを欠いていることから、それらの伝統産業を見直すひとつの切り口としてWSのテーマを設定。しかし、取り組みの段階で、風景や都市空間も含めたふるさと全体をデザインとしてとらえようということになり、WSの基本姿勢を方向転換。まず「岩手らしさ」をテーマにシンポジウムを実施し、県内のデザイン振興体制整備へ向けて検討を重ねながら、人材ネットワークづくりを主眼に趣向を凝らしたイベントを展開。



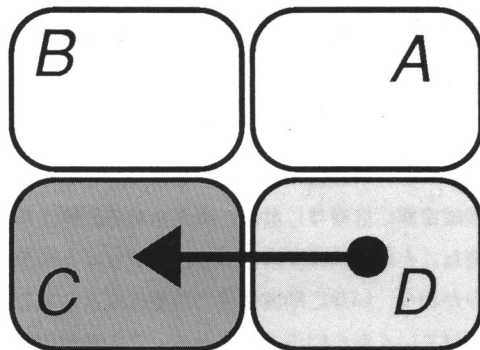
### 山形県

特定業種を選定し、その振興方策を地域全体の振興方策につなげていく1つの方法論としてWSに着手。今回は「山形鋳物」の産地を対象に、下請け型から企画開発型への脱皮を目指し、デザインや企画力のある企業の経営戦略事例を研究・分析。産地全体の知名度向上、イメージアップを図るために、日用工芸品、建築関係、機械鋳物というように個別化していた3つの組合をWSを機に一本化し、産地ぐるみでの組織力を強化。地域企業のデザイン導入戦略の参考とするため、プロモーション・プログラム等を作成し、長期的な視点で産地全体の今後の方向性を検討。



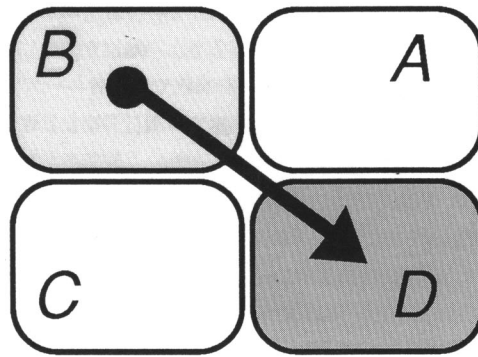
### 新潟県

ソフト面で県が主導的に各種の事業を展開する方向で「生活文化創造産業プロジェクト」をスタート。WSでは、新潟の基本資源である生産力・技術力を生かしつつ、企画提案力の強化を図るため、情報・人・ソフトを新潟と東京の間で循環させ、相互に補完し合いながら市場創造力を育成していくことを検討。『INTEGRAL DESIGNING SYSTEMS』(I,D,Sイデス)という事業戦略コンセプトのもとに、県内の生活関連産業(洋食器、繊維、ハウスウェア、作業工具、木工家具、食品など)を「デザイン」という視点で体系化し、新しい市場や商品の可能性の追求を通し、生活文化を創造する産業として再構築を図る。



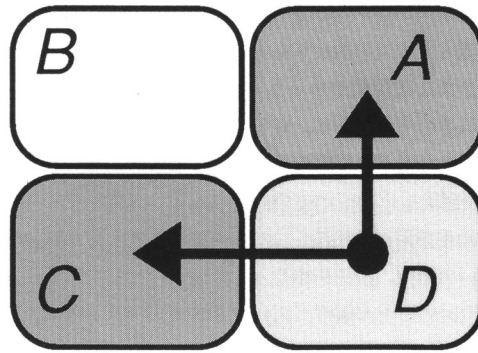
### 横浜市

港湾施設や倉庫が立ち並ぶ臨海部の運河沿いの地域をどのように変えたら魅力ある街になるか、新山下地区の再開発をテーマに、WS自体の手法の標準化と確率を目指し、独自のプログラムを大学教授、デザイナー、イベントプロデューサーなど17人が参画し研究・開発。横浜国大、多摩美大他、6大学45人の大学生によるチーム編成で、参加者が交流することから始めて、街を知る→構想を立てる→検証する→テーマを立てる→イメージを固める→デザインする→提案する—という手順により、ユニークなWS手法を多彩に実験し、ノウハウを蓄積。



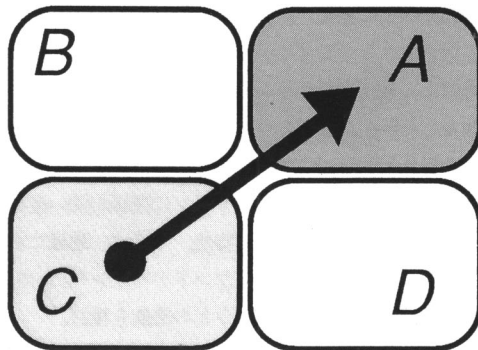
### 山梨県

県のデザイン振興に対する取り組みを検討・提言する、学識経験者、デザイナーなど8人で構成される「やまなし産業デザインクリエイティブ会議」を昨年1月に設置。WSでは、デザインを軸とした産業振興による地域づくりを進めるため、「デザイン活動のための環境づくり」「デザインソースの発見とデザイン環境のシステムづくり」「デザイン実践のためシステムづくり」という3つのコアグループを組織。山梨のデザイン活動の現状及び課題の把握、山梨のアイデンティティの調査・考案、ワインをキーワードとした商品提案など、地域のデザイン戦略を多角的に研究。



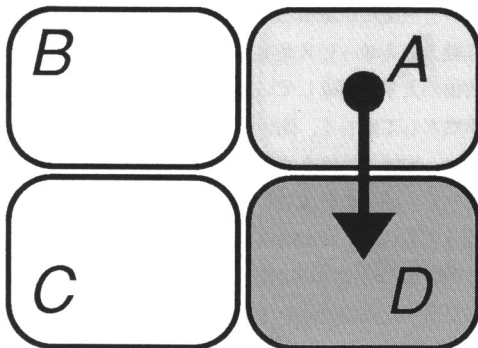
### 静岡県

静岡県には、暮らしに密着した地場産業が集積しているが、その新たな発展を図ることが大きな課題。同県のWSは、デザインセンター開設のプレイベントとして位置づけられ、まず県民から「静岡ライフのイメージづくり」をテーマにデザイン論文・イラストを公募し、静岡の環境を活かした個性ある暮らしの新たなイメージについて自由な発想の提案を募集。WSでは、作品の審査を行なうとともに、それら研究材料として静岡県の産業・文化アイデンティティの形成についてその基本的な方向性を検討。



### 福井県

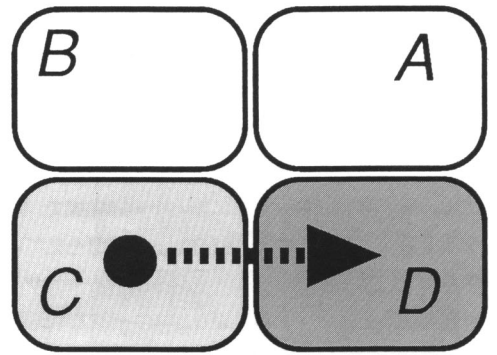
福井県のローカル・アイデンティティの確立を目指し県全体を巻き込んだムーブメントを実際に起こす手だてとして、『宝さがし運動』を展開。自分達の身近にある“宝”をさがして自分自身と故郷を見つめ直すことによって、地方社会への誇りと自信を蘇らせようという同キャンペーンの模様は、地元マスコミに再三取り上げられ、幅広く県民の理解と関心と呼ぶとともに、4,500件の“宝”を収集。WSでは、その情報群を分類・整理しデータベース化を開始するとともに、継続的にふくいの活性化を考え実行する“デザインコミュニティ”の組織化へ向けて基盤形成。



# DESIGN YEAR FORUM

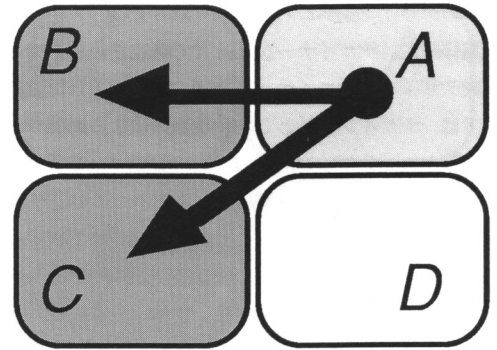
## 堺市

堺の包丁は、江戸・明治・大正を経て近年に至るまで、その切れ味と名声によって揺るぎない地位を確立していたが、昭和30年以降における技術革新や消費者ニーズの変化により業界の状況は一変。高級プロ用打刀物など専門用途中心の生産、手工業で生産効率が低い、卸業者主導の分業生産、販売力や商品企画力に欠ける、後継者難、業界の結束力がないなど、堺刃物業界は多くの問題点を抱える。WSでは、深刻化する全国シェアの長期低迷、イメージダウンに対し、業界の復活を賭けて「刃物の街・堺」の具体構想の策定について検討・提案。



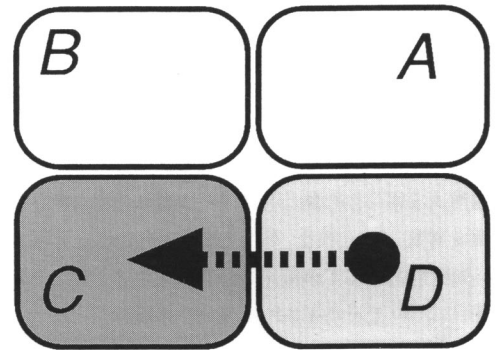
## 鳥取県

鳥取県のイメージを代表する「鳥取砂丘」は東西15キロ、南北2キロの広がりをもつ有力な観光資源であるが、さまざまな法規制がネックとなって30年後には消滅する危機にさらされている。WSでは、その環境保全の問題を出発点として「鳥取砂丘」の意義や価値の認識のもとに、草原化防止など砂丘の総合的管理対策、「劇場」としての砂丘の活用方策、砂丘のもつイメージを活用しての商品開発について研究。砂丘を中心とした地域のエリアのゾーニングのためのモデル製作、「砂丘ランドデザインセンター」や「サイエンスパーク構想」等を検討・提案。



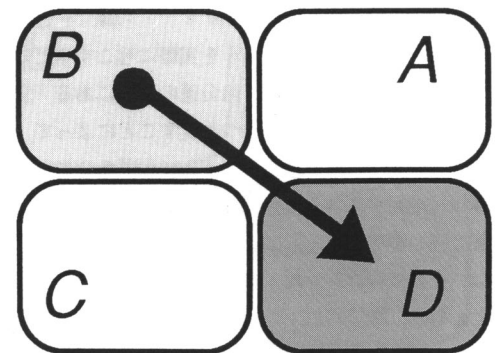
## 福山市

知識集約型の新しい産業コンプレックスの創出を目的として策定された『デザインコンビナート構想』を踏まえ、地方都市におけるデザイン振興体制の拠点形成やデザインを軸とした新産業開発のシステムづくりについて調査研究。同構想の対象は、広島、岡山にまたがる備後地域で、家具、木工、履物、繊維など、デザインに関係の深い産業がバランス良く集まっているのが特色。とくに、地域におけるデザインインフラとして「ランドデザイン・シンクタンク」の事業内容や地域支援体制などの機能を検討。



## 山口県

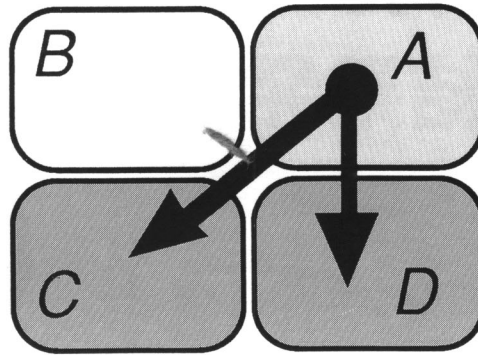
サービス機能が集積した中核都市がない山口県は、全体的に魅力あるサービス産業が育ちにくい地域事情にある。商店街の大半を形成している小規模小売業者の経営状況は、依然として厳しく、商店街の停滞・衰退傾向が続く。WSでは、地域の特性を活かした個性あふれる街づくりの一環として、商店街を地域のコミュニケーションの場として再構成するべく、新南陽市の政所地区をケーススタディとして商店街の活性化を提案。ハード、ソフト両面から総合的に見直すための計画を作成するとともに、一般的な商店街再構成のマニュアル化を検討。





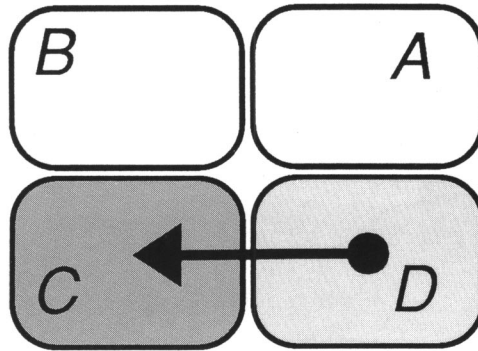
### 高知県

土佐の産物である「鰹」のイメージシンボルに捉えて、高知県産業デザイン振興協議会のメンバーを中心に多角的な調査・研究と企業の枠にとらわれないデザイン開発を実施。また、その研究過程のヴィジュアル化、マニュアル化を図るとともに、業態開発・商品開発・プロモーション開発・イベント開発が並行して相乗効果の現われやすい体制整備についても検討し、そのプロセス自体をキャンペーン化。成果発表会では、製造・流通業界をはじめ、一般住民へも新たなインパクトを与える「いき」をコンセプトした多彩なデザイン開発や、土佐湾沿いに立地を想定したアンテナショップ「くうかい」等を提案。



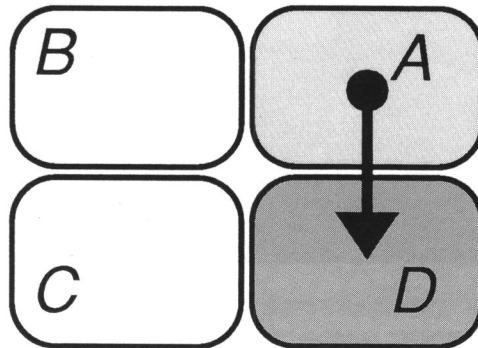
### 北九州市

新日鉄の発祥の地である北九州市の産業経済は、鉄鋼、化学、窯業等の素材型産業が主力で、近年その低迷が著しい。市内企業の多くは、新分野への進出等により経営の転換を図ろうという意欲はあるものの、不振状態にある。WSでは、企業のデザインに対する認識やデザインマインドの実態についてのアンケート調査にもとづき、経営の頭脳部分として「デザイン」を企業振興の視点から捉え、専門家や企業の代表を招いての研究会を実施。同市のマスタープラン「北九州ルネッサンス構想」と各社のデザインに対する取り組みを関連づけて評価するなど、市内企業の新製品・新規事業展開の手掛かりを探る。



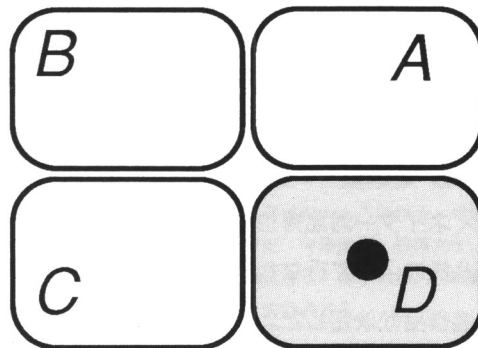
### 佐世保市

米軍と自衛隊の基地がある佐世保市は、高速交通網の整備計画やリゾート開発等大型プロジェクトのラッシュである。WSでは、これを期にデザイン思考を導入したインフラ整備を進め、かつての「軍港」としてのハードイメージから「マリンシティ」としてのソフトイメージへの転換を図るべく、主要プロジェクトの見直しを皮切りに衣・食・住の生活レベルのソフト面から「佐世保らしさ」について研究。「ハートフル・マリンライフ・シティさせぼ」というコンセプトのもとに、地域のアイデンティティづくりを考える上での具体的な提案を検討し、「デザインマインド宣言」を発表。



### 熊本県

文化をベースにした地域づくりを積極的に展開しながら文化の発信基地づくりを目指す熊本県に、「デザイン」を地域戦略としてどのように組み込んでいくか。単に施設や設備等のハード面での充実以前に、むしろ質の高い有効「情報」の交流や人的ネットワークをいかに確保するか、その中でどのような情報をどのように発信していくかというソフト面での研究が不可欠という現状認識から、WSでは交流拠点としてのデザインセンターの可能性や既存の関連組織の活性化案などについて検討。同県の規模や環境に見合った形でのネットワークシステムを理論的に研究・提案。



## 「青少年デザイン提案コンクール」 結果発表



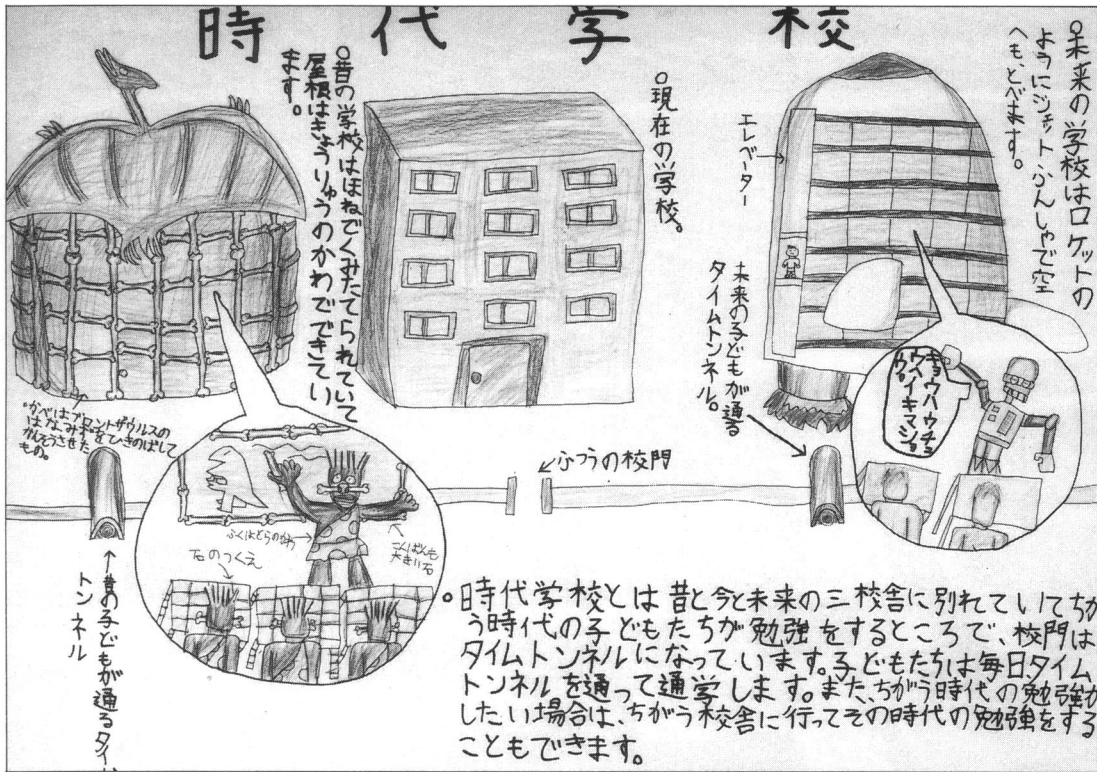
'89デザインイヤーフォーラムが、'89デザインイヤーの事前広報事業として毎日新聞社とともに運営してきた「青少年デザイン提案コンクール」の審査が、1989年1月28日に浅井慎平(写真家・エッセイスト)、イルカ(歌手)、喜多俊之(デザイナー)、五代利矢子(評論家)、福田繁雄(グラフィックデザイナー)、星野芳郎(技術評論家)、宮脇檀(建築家)と同コンクールのコーディネーター河北秀也(アートディレクター)の八氏によって行なわれ、以下の通り、入賞・入選作品が決定した。

応募作品は、小学生低学年の部613点、同高学年745点、中学生の部213点、高校生・一般の部181

点の計1,752点にのぼったが、このうち応募規定に沿わないもの、課題テーマからかけ離れたもの、提案性に欠けるものなどが一次審査でふるい落され、二次審査に残った計222点の中から、105点が入選し、その中で特に優秀な作品19点が'89デザインイヤー奨励賞に入賞、残る86点が毎日新聞社賞に決定した。

初めての試みとあって、出品者にもとまどいが見られたことは否めないが、既成概念を超えた力作も数多く、特に小学生の作品に斬新なデザイン提案が多く見られたようだ。

以下、評価を集めた奨励賞の一部と、審査講評を紹介する。



時代の学校とは昔と今と未来の三校舎に別れていてちがう時代の子もたちが勉強をするところで、校門はタイムトンネルになっています。子どもたちは毎日タイムトンネルを通過して通学します。またちがう時代の勉強がしたい場合は、ちがう校舎に行ってその時代の勉強をすることもできます。



- ①「つみきのように、自由に形の変えられる家」  
仲原小六年 豊永恵子
- ②「時代学校」  
萩原小五年 齊藤圭一
- ③「いろいろな楽しい村のある大きな町」  
神陵台小五年 柏木裕里江

'89デザインイヤー奨励賞

小学校・低学年の部

静岡市・西奈小二年、松永匡生●大阪市・波除小三年、藤田繁志●京都市・仁和小二年、作本マリカ●大阪府貝塚市・西小三年、岸田絵美●徳島県佐那河内村・佐那河内小三年、大平晶子

小学校・高学年の部

熊本県益城町・広安小四年、村上威●神戸市・神陸台小五年、柏木裕里江●千葉県茂原市・萩原小五年、齊藤圭一●福岡県柏屋町・仲原小六年、豊永恵子●横浜市・港南台第三小六年、佐渡紘将

中学生の部

愛知県一宮市・西成東部中三年、古田美德●東京都足立区・立扇中二年、佐藤香代子●奈良県大和郡山南市・郡山南中二年、本田武市●京都市・大原中二年、野口真理●八王子中一年、小関奈々子

高校生・一般の部

富山県高岡市・高岡工芸高二年、宮本隆●大阪府枚方市・京都高等工芸学校三年、藤本健司●大阪府吹田市・山田高二年、広瀬敦子●大阪府枚方市・京都高等工芸学校三年、藤下貴夫

毎日新聞社賞

小学校・低学年の部

浦木創、藤原賢一、小野明日香、光弘千春、平井明日香、西村佳代子、岩滝明子、木下歩、小林佳広、小島明香岩田芳文、柳沢真、宮本奈美、小林貴道、吉田知絵、峰尾有紀、齋藤悠、井上美紀、井上美紀、足立直将、葉山理

小学校・高学年の部

竹村梨香、白子和英、加藤聡、吉村基祐、森田修平、多田好美、野村達穂、河辺梨奈、日高真一、葉山梢、北村誠敏、平井沙弥、檜崎泉、中野洋介、石井二郎、野

口麻穂子、横浜市・南太田小西年二組一同、前田奈緒、光岡誠悟、成田幸代、西田明代、大関恵子、大槻洋士・見久、久保田秀樹、末長梢、矢島隆

中学生の部

飯島和美、藤井創、浅野哲也、小坂暢宏、井上桂子、桜井幹子、畠中宏幸、加藤ともみ、吉田和代、竹井恵子、鈴木孝人、田中雅代、村沢裕子、杉山喜章、田中伸也、梶田久貴、小川奈津子、高木理砂、渡辺森、山下志穂

高校生・一般の部

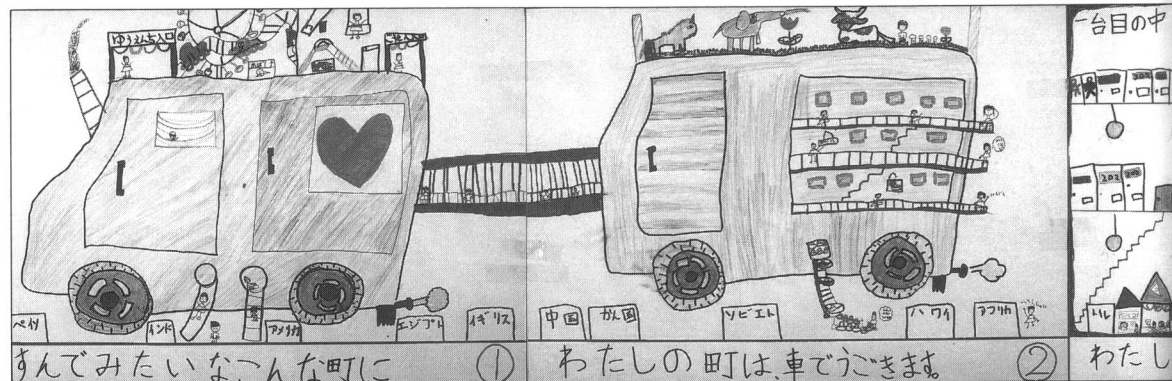
広瀬宏司、関彩子、高倉英俊、松田布美、毛利一彦、平井和人、八田牧子、杉原吉美、森本隆史、守尾徹志、松浦文子、来田和豊、鈴木典子、橋本悦子、川崎祐二、藤井智子、吉沢美砂子



# DESIGN YEAR FORUM



4



5

## 審査講評

大人の社会の欠点をハッと気づかせてくれるものが…

●浅井慎平氏

とても面白い企画だし、査していても楽しかった。ただ、子どもたちのの中に、ぼくらの社会を鏡のように反映している部分が見られたのは残念に思う。もう少し反抗的というか、大人の社会の欠点をハッと気づかせてくれるものが欲しかった。たとえば快適さや便利さを追求するアイデアよりも、ムダを楽しむ発想がもっと出てくればいい。その点で秀逸だったのは、村上君の「みらいの学校」かな。中学生では佐藤さ

んの悩みを解消する機械、また高校生では宮本君の避難用施設とか、藤本君の冬眠装置などが、社会の問題をしつかりと見据た作品として印象深かった。

自分の中からわいてくるものを大切に

●イルカさん

断トツに面白かったのは、小学校・高学年の部かな。低学年の場合、たくさん夢が詰まっているのに、それを十分表現しきれていなかったのは惜しいと思います。メカニックなものが多いのは想像してた通りだけど、人間が本来

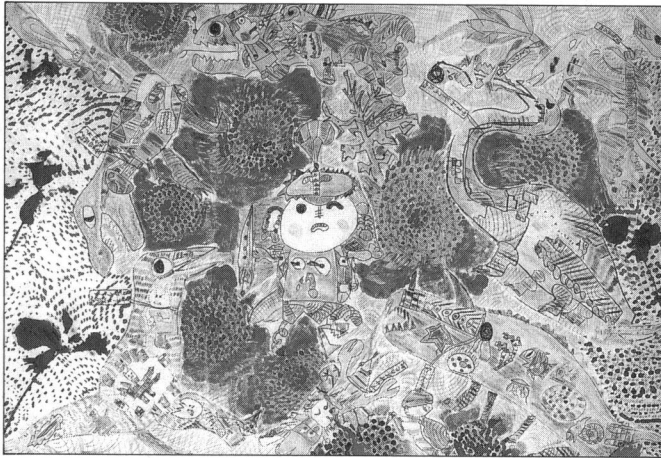
的に抱いている自然に対する気持ちか、じかに伝わってくる作品とめぐり会えたのは、とてもうれしいですね。松永君の花の作品に熱いハートを感じるし、村上君の「みらいの学校」も、世の中の動きにあえて逆行してる所がとても面白い。大人の作った例題をあてにせず、自分の中からわいてくるものを、大切にしてほしいと思います。

デザインを美術や工作とはちがう問題として…

●河北秀也氏

ハイテク社会を反映して、ロボットな

# 青少年デザイン 提案コンクール



⑥「せかい中に花のたねをはこぶ」  
「…きんじょのおじさんや、おばさん、しらないおとしよりも、ほくたちのしごとをかんしんしてみている。花のたねをまくことで、たのしみが大きくふくらんできます…」

西奈小二年 松永匡生

④

## ④「迷路の町」

「この迷路は1時間ごとにかたがかわります」

港南台第三小六年 佐渡絃将

## ⑤「車でごく町、どこでも行ける町」

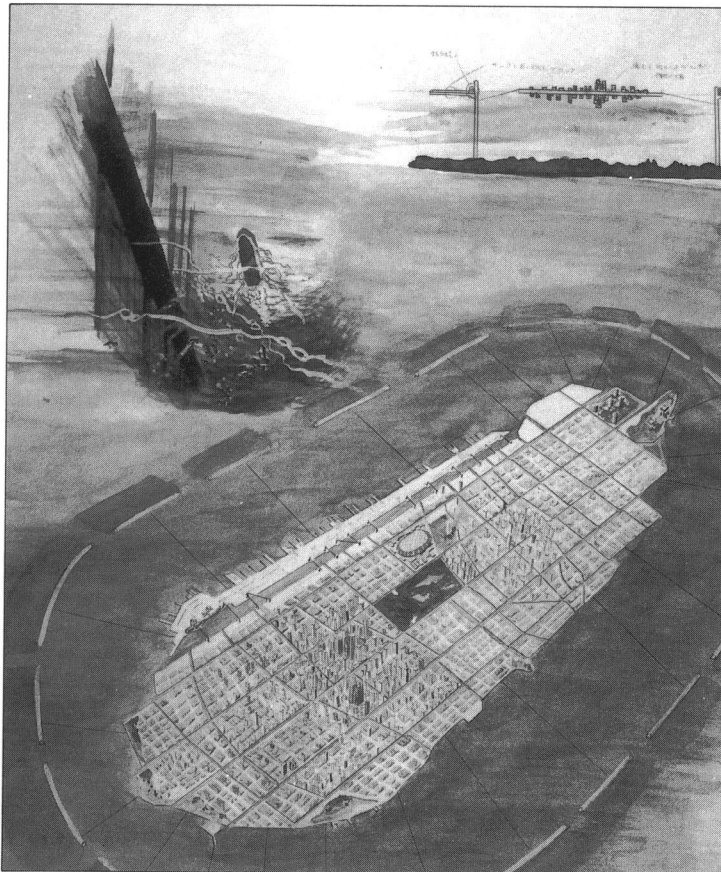
仁和小二年 作本マリカ

## ⑦「海に浮かんだ巨大都市」

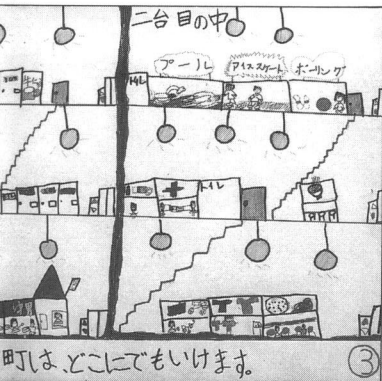
「海上に出ているビルが働く場、海中に沈んでいる建造物が住宅になっている」

京都高等工芸学校三年

藤下貴夫



⑦



町はどこにでもいけます。

ど未来志向の提案ばかりにならないかとの不安もあった。でもフタを開けてみると、自然に対する思いやりを訴えた作品も少なくなくて、ほっと救われた気分になった。印象深かったのは、学校をテーマにした村上君や、斉藤君の作品。彼らのユニークな発想は、そのまま現在の学校に対する批評として読めると思う。それと広瀬さんの農業問題に対する提言は、現状をしっかり踏まえた真剣な考え方に好感が持てた。デザインを美術や工作とはちがう問題として、子どもたちに認識してもらうためにも、ぜひ続けてやりたい企画だ。

## 教育の現場でもっと夢を持つという訓練が必要

### ●喜多俊之氏

年齢が上がるほど、勉強に追いまわられるのか、クリエートする精神が乏しくなっている。教育の現場で、もっと夢を持つという訓練が必要なのではないか。その点で、小学生がとても素直に、のびのびとした作品を作っていたという印象だ。たとえば藤田君の描いた、ジェットエンジンの付いた翼が空をんでいく絵などは、実に子どもらしいファンタジーをかきたてられた。また、豊永さんの積み木のように、自由

に形を変えられる家は、表現もなかなか秀逸。子どもたちに学校や町や生活に対する問題意識が芽ばえたとすれば大成の試みだったと思う。

## 独創的な部分をどんどん出して挑戦してほしい

### ●五代利矢子さん

全体の印象としては、やはり小学生の方が、のびのびとして魅力的な作品がそろっていたなと思います。中学生、高校生になるにつれ、いろんな既成概念にしばられて、ハッとさせられるものが乏しくなってきますね。その意味

# DESIGN YEAR FORUM



⑧



⑨

では村上君の「みらいの学校」には、とても感心させられました。世の中全体は便利なんだけど、学校だけは手足を使っていかないと教室に入れないという、このユニークな価値観とアイデアは大変すばらしい。同じように斉藤君の「時代学校」もただ未来を向くだけでなく、過去につなげちゃってる所に豊かな発想を感じます。これからも大人の手あかにまみれることなく独創的な部分をどんどん出して挑戦してほしいですね。

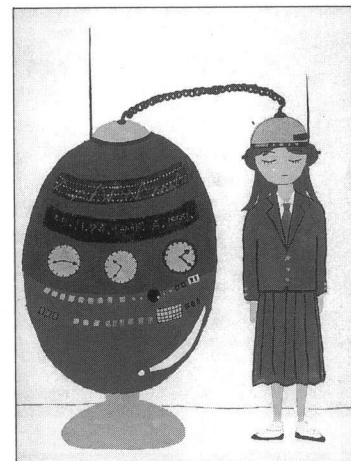
## 機能性だけを追求するデザインの時代はもう…

### ●福田繁雄氏

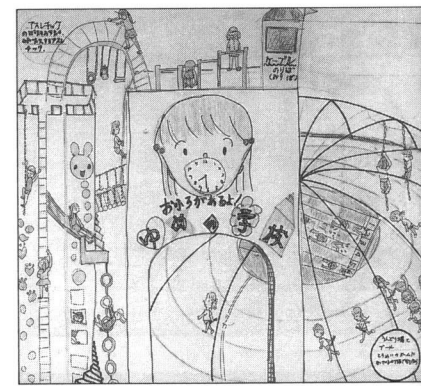
従来のコンクールとちがって、単にモノばかりでなく、町や環境テーマにした作品が出てきたのは、大きな収穫だと思う。それと効率性とか機能性だけを追求するデザインの時代が、もう終わろうとしていることが子供たちの作品の中にもチラチラ見えてきたのは、とても面白い。たとえば佐渡君の迷路でできた町は、自分の家にも容易に帰り着けない。現実には不便でしょうが



⑩



⑪



⑫

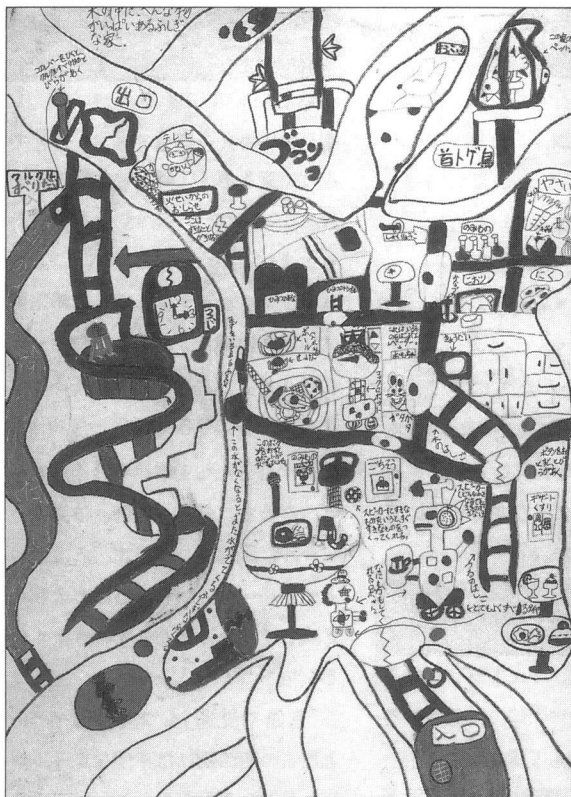
ないんだけど、逆にそのことを大いに楽しんでやろうという発想が根底にある。それと狭い国土の現状を考えた古田君の海の飛行場はその問題意識だけでなく、表現も確だった。

## 自然や人間、機械を協調させる発想があちこちに

### ●星野芳郎氏

私は技術系の人間ということもあって、どうしてもその方面に興味に向いた。時代を反映してテクノロジー—辺倒になるのかなと思っていたら、意外と自





⑩「みらいの学校」  
広安小四年 村上威  
⑪「ゆめのあそび」  
波除小三年 藤田繁志  
⑫「顔の家のある町」  
大原中二年 野口真理  
⑬「悩み打ち明け機」  
扇中二年 佐藤香代子

**地震又災害時  
避難用公園デザイン**

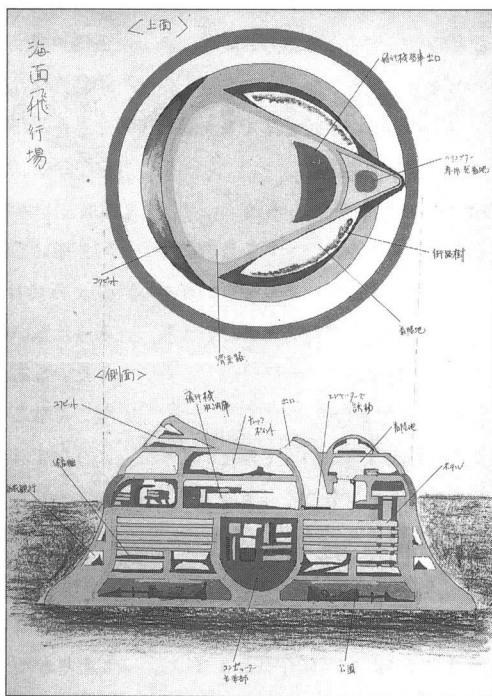
園内に作る物

噴水	ライト
長ベンチ	地下バテリ層
蒸水器	水道
時計台	防災壁
カラーアロク床	出店

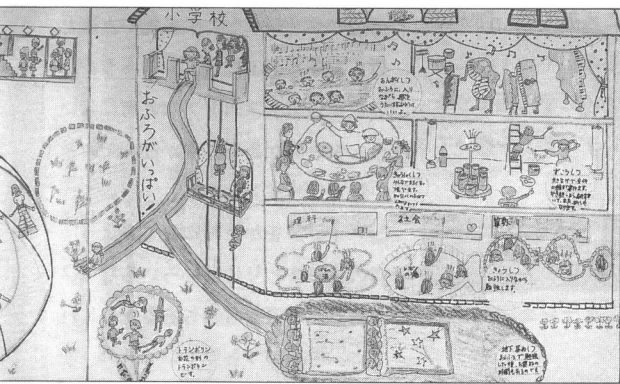
※50×50mの土地が最も適定します。

噴水 噴水は公園に来た人々の目を楽しませてくれる水は地震などで断水になった場合、園内の道の横に取り付けられている蒸水器にかけて飲料水に変えて、公園に来た人々に提供することが出来ます。

防災壁 防災壁は火災時に出る炎、火の粉、熱から避難してきた人々を守るものです。



⑭「おふろのある学校」  
西小学三年 岸田絵美  
⑮「木の中の家」  
佐那河内小三年 大平晶子  
⑯「避難用公園デザイン」  
高岡工芸高校二年 宮本隆  
⑰「海面飛行場」  
西成東部中三年 古田美徳



然や人間、機械を協調させる柔軟な発想があちこちにあつて感心させられた。ただ小学校・低学年ほど自然に対する感動が深く、年齢が上がるにつれて、それが失われがちになるのは、とても惜しい気がする。印象に残ったのは、松永君の描いた花の作品。発想、表現ともにすばらしいし、もっと高学年の人にも、こういう想像力が出来ればと思う。その点では、柏木さんの町のデザインは、豊かな構想力で地域の個性をしっかりと描き出して面白かった。

## デザイン表現はただ絵をうまく描くこととはちがう

### ●宮脇 檀氏

小学生を除けば、やや現実回避的傾向というか、現実を裏返しただけの常識的な発想が目につく。それにデザイン表現というのは、ただ絵をうまく描くこととはちがうことを、もっと知ってもらいたい。これは子どもたちというより、学校教育の在り方に問題があるのだろう。それでも感心させられた作品は少なくなかった。松永君の世界中に花を咲かせたという夢、藤田君の空

を飛ぶ子どもたちの喜々とした表情、そして豊永さんの積み木のように形を変える家などは、建築家として私ともねづね抱いている夢の一つで、子どもに先を越されたなと舌を巻いてしまった。

# 青少年デザイン 提案コンクール

## 小学生・低学年の部

- ①こんな学校がほしい  
教室のない学校ってあるのかな。きみたちがほしいと思う学校をつくってごらん。学校全体でもいいし、どこかひとつでもいいよ。
- ②こんな家に住みたいな  
きみが住んでみたいうちを自由に描いてみよう。思いきり楽しいうちにしてごらん。見たことのないうちでいいんだよ。
- ③楽しいあそび  
みんなでやれるあそび、二人でやる

- あそび、いろいろ考えてね。あそび場所やおもちゃもつくっちゃおう。
- ④住んでみたい町を  
今、きみたちが住んでいる町はどんな町かな。建物、道、公園……なんでもいいから、きみの住んでみたい町を描いてみよう。
  - ⑤きみのゆめをかたちに  
あったらいいこんなもの。作って見たらたのしいあんなもの。きみの夢に出てくるようなすばらしいアイデアを書いてね。

## 小学生・高学年の部

- ①きみたちの学校をつくってみよう  
教室のない学校ってあるのかな。きみたちが必ず行きたくなる学校をつくってごらん。学校全体でも一部だけでもきみの自由だ。
- ②自分のうちをつくろう  
きみが住んでみたいうちを自由に描いてみよう。思いきり楽しいうちにしてごらん。見たことのないうちでいいんだよ。
- ③楽しいあそびをつくろう  
きみたちが本当にやってみたいイベントや、あそびをつくってみよう。

- お祭り、運動会、キャンプ……いろいろあるね。ついでに、それをやる会場や場所も考えてほしい。
- ④住んでみたい町を考えよう  
今、きみたちが住んでいる町はどんな町かな。建物、道、公園……なんでもいいから、きみの住んでみたい町を描いてみよう。
  - ⑤きみのゆめをかたちに  
あったらいいこんなもの。作ってみたいあんなもの。やってみたいあんなこと。きみの夢に出てくるようなすばらしいアイデアを書いてね。

## 一般・高校生部

- ①まちのデザイン  
まちはそれ単独では存在しない。調和のとれた住みやすいまちとは何か。都会の良さといなかの良さ、都会に無いものといなかに無いもの、それぞれをうまく組み合わせて新しい都市といなかをつくってほしい。交通や通信の新しい技術が活用できるかもしれない。
- ②新しい交通システムのアイデア  
快適さとは何か、速くなければならぬか、何が便利か、乗り物は今のままでいいか。便利さと快適さを両立させる新しい交通システムを考えてほしい。

- ③新しいコミュニケーションのありかた  
新しいコミュニケーション手段の発達はめざましい。いま改めて人々との快適なコミュニケーションについて考えてほしい。一対一のもの、多数が対象のよいものなどいろいろありそうだ。ハイテクを使った新しいスタイルでもいい。まちの広場や家の中の場所でもいい。
- ④快適なくらしのためのモノ、システムのデザイン  
美しいもの、便利なもの、時と場合によって美しくない不便なものになる。場所や環境、全体のシステムと調和した快適なくらしのためのモノのかたちやモノのあり方を提案してほしい。

## 中学生の部

- ①新しい家をつくろう  
家全体でも、一部分でも君が住んでみたい家を考えてほしい。勉強部屋なんかいらぬ、こういう部屋があるべきだということでもいい。コンピューターやハイテクを使った未来型の提案も結構だ。しきたりやルールにあまりこだわらずに考えてみよう。
- ②きみたちの学校をつくってみよう  
生徒が自分たちで学校をつくったらどうなるか。教室、校庭、体育館、プール、図書室、職員室、ろうかやトイレ……いろいろあるけど全部考え直して、みんなが必ず行きたくなる学校をつくろう。
- ③「道路や交通」をつくり直そう  
君たちの町の道には不便なルールやかたちがあるかもしれない。道をつくり変えたら町がおもしろくなるかもしれない。道のかたち、駅のかたち、バス停のかたち。バスや電車の新しいかたちも考えてみよう。
- ④君たちの町をつくろう  
公園やグラウンドなどの広場や友達に行くお店、遊ぶ施設、レストラン、コンビニエンスストアなど町にはいろんなものがある。君が住んでみたい町をデザインしよう。
- ⑤アイデアをかたちにしてみよう  
君の身のまわりにはいろいろなモノがある。不便なものもあるかもしれない。君がいつも見ているもの、使っているもののデザインを考えてみよう。今、どこにもないけれど、あったらいいと思うものがあれば、それを君自身がデザインしてほしい。

# '89デザインイヤー参加事業一覧



# '89デザインイヤー参加事業一覧

'89デザインイヤーフォーラムは、その設立以来全国的に'89デザインイヤーへの参加を呼びかけてきましたが、デザインイヤーの趣旨は各分野の方々の大きな関心と呼び、様々の場面において「デザイン」が積極的に活用される全国的な運動体へと拡がってきました。

'89デザインイヤーではそれらの活動が「'89デザインイヤー参加事業」として展開され、その数は401件にのぼり、様々の分野の人々がデザインを通してモノゴトを考え、そして各々の意欲・イメージをリアライズしていく大きな機会になりました。そして相互間の交流により新たなネットワークが構築されつつあります。

- JIDAおもしろ展  
社日本インダストリアルデザイナー協会関西事業支部  
1989年3月27日～4月1日/大阪市  
06(262)5664
- デザインイヤー地域フォーラム  
世界デザイン会議運営会・社日本インダストリアルデザイナー協会/1989年4月1日/全国  
052(202)1100
- ウィリアム・モリス展  
株伊勢丹  
1989年3月2日～4月6日/東京都  
03(356)4005
- コミュニケーションTOKYO'89電話機絵文字(CES-D2)PR展示/通信機械工業会デザイン委員会  
1989年4月3日～6日  
03(231)3156
- '89ジャパンパッケージングコンペティション  
社日本印刷産業連合会  
1989年4月5日～7日/東京都  
03(805)1784
- 新潟グッドデザイン商品展  
新潟県産業デザイン振興会  
1989年3月16日～4月8日/新潟市  
025(244)9168
- TOYAMA NOW in 原宿 '89  
富山県  
1989年4月3日～9日/東京都  
0764(41)2100
- 第33回新作博多帯及び第40回新作博多人形展  
福岡市  
1989年4月3日～9日/東京都  
092(441)2070
- SDA IN KAKEGAWA「明日のサイン、掛川の町づくり」  
日本サイン・デザイン協会  
1989年4月13日/掛川市  
03(815)8537
- 朝日デザインフォーラム  
朝日新聞社  
1989年4月17日/東京都  
03(545)0131
- 鯖江市立インダストリアルデザイン講座1988年度生終了制作展/鯖江市  
1989年4月14日～19日/鯖江市  
0778(51)2200
- DESIGNER'S SATURDAY IN TOKYO '89  
インテリア産業海外法人日本協議会  
1989年4月20日～22日/東京都  
03(499)0541
- ARFLEX歴代モデル展  
株アルフレックス・ジャパン  
1989年4月20日～22日/東京都  
03(406)8755
- '89デザインイヤー記念フォーラム  
株利サ日本海ガス  
1989年4月22日/富山市  
0764(25)2525
- TRADE WIND '89  
社東京国際見本市協会  
1989年4月18日～23日/東京都  
03(531)3371
- 「たて組ヨコ組」セミナー  
株モリサワ  
1989年4月28日他/東京都他  
03(267)1231
- 南港ポートタウン東駅連絡歩道橋(仮称)架設事業  
大阪市  
1987年9月～1989年4月/大阪市  
06(572)5121
- 第12回東京国際グッドリビングショー  
社東京国際見本市協会  
1989年4月28日～5月3日/東京都  
03(531)3371
- KAGU Designer's Week in Osaka  
KAGU デザイナーズ ウィーク・イン 大阪実行委員会  
1989年4月29日～5月14日/大阪市  
06(361)1381
- 第86回九州山口陶磁展  
佐賀県  
1989年4月29日～5月14日/佐賀県  
0955(43)2101
- 日本デザイン学会第10回春季大会  
日本デザイン学会  
1989年5月20日/千葉市  
0472(51)1111
- '89オホーツク「木」のフェスティバル  
'89オホーツク「木」のフェスティバル実行委員会  
1989年5月19日～21日/北見市  
0157(31)2705
- うちわデザインコンクール  
香川県うちわ協同組合連合会・丸亀市  
1989年2月1日～5月21日/丸亀市  
0877(23)2111
- DESIGN, JUST NOW  
東京デザイナーズ・スペース  
1989年5月15日～22日/東京都  
03(587)2007
- 青蘭書品展  
学書院  
1989年5月22日～5月26日/東京都  
03(561)5050
- 「みちのく・クラフト新紀行」—青森・秋田・岩手・宮城県の現場から—/財熊本県伝統工芸館  
1989年5月23日～28日/熊本県  
096(324)4930
- パッケージデザイナーによる「'89自遊BOX展」  
社日本パッケージデザイン協会  
1989年4月～5月/東京都他  
03(815)3458
- アーティストティック・インプレッション4  
株アルス  
1989年5月27日～6月1日/東京都  
03(815)2561
- 第68・69回ビジネスショウ  
社日本経営協会  
1989年5月17日～20日、6月1日～3日/東京都他  
03(403)1331
- 1989年度JAGDA IN FUKUOKA  
社日本グラフィックデザイナー協会  
1989年5月20日～6月4日/福岡市  
03(404)2557
- dda ディスプレイデザイン年賞'89  
dda 日本ディスプレイデザイン協会  
1989年4月1日～6月5日/東京都  
03(543)5248
- 「現代デザインの水脈—ウルク造形大学」展  
武蔵野美術大学  
1989年5月26日～6月5日/東京都  
0423(41)5011
- デザインコンペティション'89ふくやま  
福山地方産業デザイン振興協会  
1989年6月9日/福山市  
0849(21)2345
- '89生活デザイン国際シンポジウム  
下関女子短期大学  
1989年6月7日～9日/下関市  
0832(23)0338
- '89おもちゃコンクール  
社日本玩具協会  
1989年5月15日～6月18日/東京都  
03(829)2513
- イタリアン・ネオ・モダン  
ふくやま美術館  
1989年5月20日～6月18日/福山市  
0849(32)2345
- 「デザイン教育事典」刊行  
株鳳山社  
1989年6月/東京都  
03(262)5308
- 第21回毎日・DAS学生デザイン賞  
社総合デザイナー協会  
1988年12月～1989年6月/大阪市  
06(341)5895
- 世界インダストリアルデザイン展  
読売新聞社・ドイツ建築博物館  
1989年6月23日～7月2日/東京都他  
03(242)1111
- ジュエリーデザインエキジビションヤマナシ  
ジュエリーデザインエキジビションヤマナシ実行委員会  
1989年6月22日～7月2日/甲府市  
0552(37)1111
- デザインセミナー「地域産業と地域デザイナーのかかわり」/三重県地場産デザイン振興会議  
1989年7月5日/三重県  
0592(34)4036
- '89屋外広告ビッグフェアー  
近畿屋外広告美術組合連合会  
1989年7月7日～9日/大阪市  
06(762)9357
- サッポロコレクション'89～'90  
ファッションタウン・さっぽろ推進協議会  
1989年7月10日～12日/札幌市  
011(231)1122
- ヒューマン・デザインング・フォーラム  
戸田建設株  
1989年7月12日/東京都  
03(535)1395
- なにわクラブ'89  
大阪府立産業デザイン研究センター・社大阪府技術協会  
1989年7月14日/大阪市  
06(281)0327

- なにわグラフ'89  
大阪府立産業デザイン研究センター・社大阪府技術協会  
1989年7月14日/大阪市  
06(281)0327
- WORLD LIGHT SHOW '89  
MESAGOジャパン株  
1989年7月13日~15日/東京都  
03(263)0887
- 巨匠たちの心と形 デンマーク150脚の椅子展  
シンコール株  
1989年7月12日~16日/名古屋市  
052(363)1441
- 福岡デザインセミナー  
福岡デザインセミナー実行委員会  
1989年7月19日/福岡市  
092(711)4373
- 第2回日本デザイン学会主催セミナー  
日本デザイン学会  
1989年7月20日/東京都  
0472(51)1111
- 第19回機械工業デザイン賞  
日刊工業新聞社  
1989年2月1日~7月20日/東京都  
03(222)7110
- ピギーズ体験フォーラム'89  
東京製革業産地振興協議会  
1989年7月20日/東京都  
03(212)5111
- 機械工業デザインシンポジウム・パネル展  
日刊工業新聞社  
1989年7月21日/東京都  
03(222)7113
- 国際デザイン・コンベンション'89岐阜  
財国際デザイン交流協会  
1989年7月21日/岐阜市  
06(346)2611
- 工業技術連絡会議製品化学連合部会第51回デザイン分科会/工業技術連絡会議製品科学連合部会デザイン分科会/1989年7月20日~21日/福山市  
0849(31)2400
- デザインセミナー  
岐阜県繊維デザイン協会  
1989年7月25日/岐阜市  
05838(8)3151
- THE POSTER—時代を見せる25人のポスターデザイン  
THE POSTER実行委員会  
1989年7月18日~25日/名古屋市他  
052(936)3459
- 天神バルカ(DESIGN SYMPOSIUM IN OSAKA)  
天神バルカ実行委員会  
1989年7月24日~25日/大阪市  
06(357)1058
- 平成元年度装身具デザイン講座  
山梨県工業技術センター  
1989年5月17日~7月27日/山梨県  
0552(33)0211
- 国際デザイン・コンベンション'89青森  
財国際デザイン交流協会  
1989年7月28日/青森市  
06(346)2611
- アジア学生交流クラフトワークショップ  
多摩美術大学立体デザイン科  
1989年7月25~29日/東京都  
0426(76)8611
- '89木の日のフェスティバル  
'89木の日のフェスティバル実行委員会  
1989年7月29日~30日/帯広市  
0155(25)7121
- 国際デザインコンペティション入賞作品展  
財国際デザイン交流協会  
1989年7月、8月/青森市、岐阜市  
06(346)2611
- '89アトリエ・ヌーボーコンパ展  
株西武百貨店  
1988年10月~1989年7月/東京都  
03(981)0111
- 富士Q-ARTデザインコンテスト  
富士写真フィルム株  
1988年10月1日~1989年7月31日/東京都  
03(406)2728
- 都市対抗野球新シンボルマーク募集  
毎日新聞社  
1989年4月1日~7月31日/東京都  
03(212)0193
- CONQUEROR CORPORATE STATIONERY DESIGN COMPETITION '89/株ヤマト  
1989年4月~7月/東京都  
03(297)4391
- デザインセミナー  
松本市  
1989年7月/松本市  
0263(34)3000
- ふくい・パルセロナファッションフェア'89  
ふくいファッションイベント実行委員会  
1989年7月/福井県  
0776(21)1111
- 第2回コイズミ国際学生照明デザインコンペ  
小泉産業株  
1988年11月10日~1989年7月31日/大阪市  
06(262)0863
- クラフト展'89島根  
クラフト展'89島根実行委員会  
1989年7月16日~25日、7月29日~31日/島根県  
0853(72)0538
- デザインセミナーイン金沢  
社金沢青年会議所  
1989年8月1日~4日/金沢市  
0762(32)3027
- 光のデザイン展  
名古屋市  
1989年8月3日~9日/名古屋市  
052(961)1111
- '89世界デザイン博覧会・建築デザイン競技  
社愛知建築士会  
1988年12月1日~1989年8月10日/名古屋市  
052(261)1451
- 建築デザイン「人と建築展—建築それは夢の創造」  
社愛知建築士会  
1989年7月29日~8月10日/名古屋市  
052(261)1451
- ビジョンPR「アジアは一つ…その平和のために」  
社愛知建築士会  
1989年7月29日~8月10日  
052(261)1451
- ヤアコフ・アガム展  
株伊勢丹  
1989年7月27日~8月22日/東京都  
03(356)4005
- デザインセミナー  
滋賀県繊維工業指導所  
1989年8月23日/滋賀県  
0748(42)0017
- '89オールジャパンギフトフェスティバル東京  
社全日本ギフト用品協会  
1989年8月22日~24日/東京都  
03(847)0691
- 第20回富士吉田市織物まつり  
第20回富士吉田市織物まつり実行委員会  
1989年8月26日~28日/富士吉田市  
0555(22)1111
- DESIGN PRESTAGE'89  
株ニュー・エス・デザイン  
1989年8月21日~30日/東京都  
03(473)6893
- 北海道デザイン交流フォーラム  
北海道デザイン交流フォーラム実行委員会  
1989年8月30日~31日/札幌市  
011(271)5584
- アフターファイブ・シューズのデザイン開発  
東都製靴工業協同組合  
1989年8月9日/東京都  
03(212)5111
- FUJITEKスタイルサミット  
FUJITEKスタイルサミット実行委員会  
1989年8月/富士吉田市  
0552(37)1111
- デザインセミナー「地場産業とデザイン」  
和歌山県  
1989年9月2日/和歌山県  
0734(32)4111
- JID九州支部インテリアデザイン展  
社日本インテリアデザイナー協会九州事業支部  
1989年5月1日~9月3日/福岡市  
0942(21)0992
- 第1回東京イラストレーターズ・ソサエティ展  
東京イラストレーターズ・ソサエティ  
1989年8月30日~9月4日/東京都  
03(498)5654
- 一時計デザイン展—SEIKO CREATIVE TIMEPIECES '89/株セイコー  
1989年6月9日~9月5日/東京都他  
03(563)2111
- Design Vision—デザイン学生へのメッセージ  
ソニー株  
1989年9月6日/東京都  
03(448)2438
- JAGDA DESIGN CONCERT '89  
JAGDA北海道  
1989年9月7日/北海道  
011(811)7650
- ファッションセミナー  
秋田県アパレル産業振興協議会  
1989年9月7日/秋田県  
0188(60)2244
- アメニティ・アンド・インテリアジェンス展  
松下電工株  
1989年9月11日~16日/東京都  
06(908)0102
- '89日本 DO IT YOURSELF ショウ  
社日本ドゥ・イット・ユアセルフ協会  
1989年9月15日~17日/東京都  
03(5687)4475
- ふるさと産業フェア  
長野県塩尻市  
1989年9月15日~17日/長野県  
0263(52)0280
- 世界ハイテクデザイン展  
富山インダストリアル・デザインセンター  
1989年9月8日~17日/富山市  
0764(33)6402
- 花のデザイン展  
名古屋市  
1989年4月26日~9月17日/名古屋市  
052(782)2111
- アートディレクターのプロデュースした「ADC広告大学」/ADC広告大学実行委員会  
1989年9月11日・18日/東京都  
03(988)8309
- 第5回公募ステンドグラス美術展  
ステンドグラス美術展運営委員会  
1989年9月16日~21日/名古屋市  
052(795)0033
- デザインツアー  
社日本インテリアデザイナー協会  
1989年9月15日~23日/東京・大阪他  
03(403)3649
- WA(和)FROM木と石と漆  
デザインハウスコーポレーション  
1989年9月21日~24日/東京都  
0543(35)6038
- 陶磁器デザインフォーラム・せと'89  
愛知県陶磁器工業協同組合  
1989年9月16日~24日/愛知県  
0561(82)4151
- 第36回日本デザイン学会秋季大会  
日本デザイン学会  
1989年9月23日~25日/千葉市  
03(441)1171
- 第3回日本海デザイン展  
日本海デザイン展実行委員会  
1989年9月22日~26日/山形県  
0235(23)2200
- フランス・コンテンポラリー・ワークス—VIAインテリア  
アートの世界/株西武百貨店 渋谷店  
1989年9月14日~26日  
03(462)3103
- 日本ディスプレイデザイン協会創立30周年記念デザイン  
シンポジウム(大阪)'89/日本ディスプレイデザイン協会  
1989年9月26日/大阪市  
06(351)0172
- JJDA25周年記念事業「ジュウリースクエア'89」  
社日本ジュウリーデザイナー協会  
1989年9月1日~27日/東京都  
03(664)0366
- '89新製品開発展示会  
東京都  
1989年9月25日~28日/東京都  
03(212)5111
- 全日本高校イラスト展  
学校法人美術学園北海道総合美術専門学校  
1989年7月~9月/北海道  
011(756)0777

- デザイン出前セミナー  
山形県  
1989年9月/山形県  
0236(30)2367
- いいまちウォッチング事業  
長井市  
1989年9月/長井市  
0238(84)2111
- 毎日ファッション大賞  
毎日新聞社  
1988年6月~1989年9月/東京都  
03(212)3281
- '21世紀の色彩展 生活と色  
株伊勢丹  
1989年9月/東京都  
03(356)4005
- 第26回陶磁器試験研究機関作品展  
財日本陶磁器意匠センター  
1989年7月~9月/名古屋市他  
052(935)7234
- FA関連機器デザイン・コンテスト  
名古屋国際見本市委員会  
1989年2月~9月/名古屋市  
052(735)2117
- 商品開発実習(商品企画演習)セミナー  
財大阪デザインセンター  
1989年9月/大阪市  
06(262)5661
- ふくやま優秀デザイン賞選定事業  
福山地方産業デザイン振興協会  
1989年6月~9月/福山市  
0849(21)2345
- 藍のニューヨークファッションプレゼンテーション  
藍と水と情熱の祭典実行委員会  
1988年7月~1989年9月/徳島市他  
0886(21)5314
- '89会員展  
九州クラフトデザイナー協会  
1989年9月/福岡市  
092(524)0631
- 札幌芸術の森クラフト全国公募展'89  
札幌芸術の森クラフト全国公募展'89実行委員会  
1989年7月16日~10月1日/札幌市  
011(592)5111
- 北の文化会議'89札幌  
北の文化会議実行委員会  
1989年10月3日/札幌市  
011(221)2111
- エスモード・パリ・コレクション  
株西武百貨店  
1989年9月21日~10月3日/東京都  
03(462)3103
- '89TGC展「ランドスケープ」  
東京グラフィックデザイナーズクラブ  
1989年9月28日~10月3日/東京都  
03(567)5888
- '89テキスタイルグランドフェアいちのみや  
全国織物競技大会  
1989年10月2日~4日/一宮市  
0586(73)9111
- パフォーマンス広場「市民と建築士のふれ合い広場」  
株愛知建築士会  
1989年10月4日/名古屋市  
052(261)1451
- 第7回NAAC展  
日本広告技術協議会  
1989年9月25日~10月7日/名古屋市  
03(543)5728
- 建築パース'89展  
日本アーキテクチュラル・レンダラーズ協会  
1989年8月23日~9月3日、9月18日~21日、10月3日  
~8日/東京都/03(470)5370
- 海南市地場産業デザイン展  
海南市地場産業展運営委員会  
1989年10月5日~8日/海南市  
0734(82)4111
- '89デザインイヤー デザインセミナー  
長野県デザイン協会  
1989年10月9日/長野県  
0262(32)0111
- '89日本クラフトフェア松本  
'89日本クラフトフェア松本実行委員会  
1989年10月6日~10日/松本市  
0263(32)5355
- 第24回長野県総合デザイン県展  
長野県他  
1989年10月7日~10日/松本市  
0262(32)0111
- バックージデザインコンペ・展示会  
長野県・長野県デザイン協会  
1989年10月7日~10日/松本市  
0262(32)0111
- 工芸都市高岡'89クラフトコンペ  
工芸都市高岡'89クラフトコンペ開催委員会  
1989年10月6日~10日/高岡市  
0766(23)5000
- '89日本クラフト展  
社日本クラフトデザイナー協会  
1989年9月6日~10日、10月5日~11日/東京都他  
03(370)1324
- 「スペース・コミュニケーション・レゾナンス・フォーラム in TOKYO」/日本ディスプレイデザイン協会  
1989年10月11日/東京都  
03(543)5248
- 滋賀県科学技術振興プラザ  
滋賀県・財滋賀県工業技術振興協会  
1989年10月12日~24日/滋賀県  
0775(58)1500
- 「新しい東北」デザインコンクール  
東北地場産品フェア'89実行委員会  
1989年10月20日~25日/仙台市  
022(211)2715
- ジャパン・クラフト・フェスティバル・イン盛岡  
ジャパン・クラフト・フェスティバル・イン盛岡実行委員  
会/1989年10月7日~15日/盛岡市  
0196(51)4111
- 新潟県高等学校デザイングランプリ'89  
新潟デザイン専門学校  
1989年10月8日~15日/新潟県  
025(245)3381
- デザインフェア'89ふくやま  
福山地方産業デザイン振興協会  
1989年10月13日~15日/福山市  
0849(21)2345
- 第3回福岡市都市景観賞  
福岡市  
1989年9月1日~10月15日/福岡市  
092(711)4396
- ICSIDインターデザインセミナー'89富山  
ICSIDインターデザインセミナー'89富山開催委員会  
1989年10月1日~16日/高岡市  
0764(31)4111
- FDCファッションイラスト大会  
財一宮地場産業ファッションデザインセンター  
1989年10月18日~22日/一宮市  
0586(46)1361
- 第3回くまもとデザインフェア'89  
熊本県  
1989年10月18日~22日/熊本県  
096(383)1111
- 技術と生活を結ぶデザイン展-日本電子機械工業会・デ  
ザイン委員会の活動/社日本電子機械工業会・デザイン  
委員会/1989年10月19日~23日/東京都  
03(211)2765
- 世界デザイン会議  
世界デザイン会議運営会  
1989年10月18日~23日/名古屋市  
052(202)1100
- 第28回京都デザインコンペ'89  
京都市  
1989年10月26日~29日/京都市  
075(222)3338
- やまぐち・デザインイヤー  
やまぐち・デザインイヤー実行委員会  
1989年10月27日~29日/山口県  
0839(23)1939
- DESIGN WAVE IN MIYAZAKI '89  
宮崎県・宮崎県綾町・九州電力株・九州クラフト  
デザイナー協会/1989年10月8日~29日/宮崎県  
0985(26)7101
- 毎日学生住宅デザインコンペティション  
毎日新聞社  
1989年5月1日~10月30日/東京都  
03(212)3328
- 三島町生活工芸品展  
福島県大沼郡三島町  
1989年10月/東京都  
0241(52)3201
- 日本文化デザイン会議'89幕張  
日本文化デザイン会議  
1989年10月/千葉県  
03(233)6347
- 第12回インターナショナル・プラチナデザイン・コンテ  
スト/プラチナ・ギルド・インターナショナル  
1989年1月~10月/東京都  
03(597)0251
- 御茶ノ水駅公開プロポーザル・デザイン・コンペティシ  
ョン/東日本旅客鉄道株  
1989年3月~10月/東京都  
03(240)9604
- IMAGINE TOKYO'89  
ホロネット株・VERBUM Inc.  
1989年4月1日~10月31日/東京都  
03(320)0985
- 第4回ハートオブリビング展  
株伊勢丹  
1989年10月/東京都  
03(356)4005
- 世界鉄道デザイン会議  
東日本旅客鉄道株  
1989年10月/東京都  
03(215)5091
- ニュービジネスバッグ展示発表  
東日本靴工業組合  
1989年10月/東京都  
03(862)3513
- 第1回国際デザイン・サ・フューチャー・コンペティショ  
ン/日本経済新聞社  
1989年10月1日~1989年10月31日/東京都  
03(252)8157
- デザインスクール実践講座  
松本市  
1989年5月~10月/松本市  
0263(34)3000
- デザイン名古屋ショーウィンドーコンペ'89  
デザイン名古屋ショーウィンドーコンペ'89実行委員会  
1989年9月16日~10月31日/名古屋  
052(961)1111
- 吉祥図案展  
社日本図案家協会  
1989年10月/京都市  
075(761)5381
- 大阪市ハウジングデザイン賞  
大阪市  
1989年6月~10月/大阪市  
06(208)9225
- サンヨーポスターデザイン大賞  
三洋電機株  
1989年6月~10月/大阪府  
06(994)3515
- デザインテクニカルセミナー  
財大阪デザインセンター  
1989年10月/大阪市  
06(262)5661
- アジア・デザイン・ウィーク大阪  
アジア・デザイン・ウィーク大阪実行委員会  
1989年10月/大阪市  
06(281)0327
- '89播州織ファッションショー  
播州織振興対策協議会  
1989年10月/兵庫県  
0795(22)3111
- ARFLEX DESIGN COMPETITION SECOND  
株アルフレックス・ジャパン  
1989年4月20日~11月1日/東京都  
03(406)8755
- ファッションウェブナゴヤ'89  
ナゴヤファッション協会  
1989年10月21日~11月3日/名古屋市  
052(204)6530
- SHARP DESIGN EXHIBITION  
シャープ株式会社総合デザイン本部  
1989年10月24日~11月5日/東京都  
06(621)1221
- 第2回国際デザイン交流展  
国際デザイン交流展開催委員会  
1989年11月2日~5日/石川県  
0762(67)0365
- 国際陶磁器フェスティバル美濃'89  
国際陶磁器フェスティバル美濃'89開催委員会  
1989年10月22日~11月5日/多治見市  
0572(22)1111



- 大阪の伝統・工芸展  
大阪府伝統工芸品月間推進協議会  
1989年11月2日～5日/大阪市  
06(941)0351
- 第3回くまもとデザインアワード  
熊本県  
1989年8月1日～11月5日/  
096(383)1111
- 第28回東京モーターショー  
社自動車工業振興会  
1989年10月26日～11月6日/千葉市  
03(211)8731
- シンポジウム「遷都とまちづくり」—ストップ・ザ・東京  
社日本建築士会連合会・社愛知建築士会  
1989年11月8日～9日/名古屋  
0587(23)2737
- 博報堂トップマネジメントシンポジウム「デザインと経営を考へる—戦略的デザインダイナミクス(SDD)」  
株博報堂/1989年11月10日/東京都  
03(233)6411
- じ・ざ・け ぱっけーじ展  
三重大学教育学部美術科デザイン専攻  
1989年11月6日～11日/三重県  
0592(34)4036
- 第3回すみだコレクション  
墨田区  
1989年11月12日/東京都  
03(626)3151
- 第18回三重県発明くふう展  
社発明協会三重県支部  
1989年11月10日～12日/三重県  
0592(34)4036
- デザインセミナー  
福岡県  
1989年11月14日/福岡県  
092(651)1111
- 国際アーバンインフラ・テック'89  
アーバンインフラ・テクノロジー推進会議  
1989年11月13日～19日/千葉市  
03(664)3603
- 国際テキスタイルコンペティション'89京都  
国際テキスタイルフェア開催委員会  
1988年12月～1989年11月19日/京都府  
075(432)6131
- 「方丈有理」デザイン展  
「方丈有理」デザイン展実行委員会  
1989年10月18日～11月21日/京都市  
075(211)2277
- '89東京国際家具見本市  
社国際家具産業振興会  
1989年11月22日～26日/東京都  
03(436)2691
- 汎太平洋デザイン会議  
社日本グラフィックデザイナー協会  
1989年11月23日～26日/東京都  
03(404)2557
- "YATAI"デザインコンペティション  
ユニークグループ  
1988年11月30日～1989年11月26日/名古屋市  
052(585)3191
- デザインアイ'89  
デザインアイ'89委員会  
1988年12月～1989年11月26日/名古屋市  
052(231)8131
- 名古屋国際ビエンナーレ—アーテック'89  
名古屋国際ビエンナーレ開催協議会  
1989年7月7日～11月26日/名古屋市  
052(221)0754
- 出合いのビレッジ「ユニークテーブル」  
社愛知建築士会  
1989年7月15日～11月26日/名古屋市  
052(261)1451
- 世界デザイン博覧会  
財世界デザイン博覧会協会  
1989年7月15日～11月26日/名古屋市  
052(202)0100
- 世界公衆ごみ箱展  
名古屋市  
1989年7月15日～11月26日/名古屋市  
052(961)1111
- サウンドスケープデザインアドベンチャー  
名古屋市  
1989年7月15日～11月26日/名古屋市  
052(961)1111
- 都市デザインセミナー  
都市デザインセミナー運営会議  
1989年9月29日～11月26日/名古屋市  
052(263)4636
- 第4回国際デザイン・コンペティション  
財国際デザイン交流協会  
1988年12月～1989年11月26日/大阪市  
06(346)2611
- 第4回国際デザイン・アワード  
財国際デザイン交流協会  
1989年4月～11月26日/大阪市  
06(346)2611
- 国際デザイン展'89  
財国際デザイン交流協会  
1989年11月1日～26日/大阪市  
06(346)2611
- '89デザインイヤー鳥取  
デザインイヤー鳥取実行委員会  
1989年11月22日～27日/鳥取県  
0857(26)7221
- 第2回「良い玩具展覧会」  
遊びと玩具研究会、東ドイツ文化センター  
1989年11月16日～28日/東京都  
03(205)1435
- '89 おかやまデザイン・フォーラム  
岡山県  
1989年11月28日/岡山市  
0962(24)2111
- 佐賀国際産業デザインセミナー  
佐賀県国際デザインセミナー実行委員会  
1989年11月28日～29日/佐賀市  
0952(24)6258
- デザインスクーリング  
やまがたデザイン実行委員会  
1989年10月～11月/山形県  
0236(30)2367
- とちぎデザイン大賞  
栃木県  
1989年6月～11月/栃木県  
0286(23)3198
- KISSNAM'89「水」ポスター展  
社日本グラフィックデザイナー協会  
1989年8月～11月/千葉市  
0473(88)2880
- ライティング・グラフィティ'89「光のアート展」  
松下電工株  
1989年3月～11月/東京都他  
06(908)1131
- 第4回BL国際デザインコンペティション  
財ベターリビング  
1989年1月～11月/東京都  
03(586)4901
- 現代宝飾デザイン展  
毎日新聞社  
1989年1月～11月/東京都  
03(212)3322
- 平成元年度自転車デザイン大賞  
財自転車産業振興協会  
1989年4月～11月/東京都  
03(583)5163
- オフィスライフデザイン'89  
株イトーキ  
1989年4月～11月/東京都  
03(566)5322
- 新世代による「住環境」展  
株伊勢丹  
1989年11月/東京都  
03(356)4005
- 東京レザーファッション・フェア'90ビギーズスペシャル/東京都  
1989年11月/東京都  
03(212)5111
- 第8回富士吉田市産地総合織物展  
富士吉田市  
1989年11月/東京都  
0555(22)1111
- KAI世界はさみデザインコンペティションNAGOYA  
'89/KAI世界はさみデザインコンペティション開催委員会/1988年10月～1989年11月/名古屋市  
0575(28)4755
- デザイン街づくり大曾根  
大曾根商店街振興組合  
1989年4月～11月/名古屋市  
052(981)5557
- 京都デザインパイロット対策事業  
京都府  
1989年11月/京都府  
075(441)8428
- デザイン週間"89圖案博"  
社日本図案家協会  
1989年11月/京都市  
075(761)5381
- '89御堂筋ショーウィンドーコンクール  
大阪21世紀計画楽しく歩こう御堂筋委員会  
1989年10月～11月/大阪市  
06(942)2007
- 大阪中小企業デザイン振興会議  
財大阪デザインセンター  
1989年11月/大阪市  
06(262)5661
- '89伊丹クラフト大賞展  
伊丹市  
1989年11月1日～30日/伊丹市  
0727(84)8047
- ながさきデザインコンペ  
長崎県・長崎県デザイン振興会議  
1989年11月/長崎県  
0958(24)1111
- '89かごしまデザインフェア  
'89かごしまデザインフェア実行委員会  
1989年11月28日～30日/鹿児島市  
0992(26)8111
- 「アメニティーをこえたインテリア」展示事業  
社日本インテリアデザイナー協会  
1989年9月14日～12月5日/大阪府  
03(403)3649
- とちぎデザインフェア  
栃木県  
1989年12月8日～10日/宇都宮市  
0286(23)3198
- 夢とふれあい…豊かさへの創造 車いすデザインコンペ  
車いすデザインコンペ委員会  
1989年8月10日～12月10日/名古屋市  
052(835)3811
- 第23回SDA賞  
日本サイン・デザイン協会  
1989年3月20日～12月11日/東京都  
03(818)8537
- 江戸の余韻「櫛・かんざしにみる美・デザイン」展  
財多摩市文化振興財団  
1989年11月10日～12月12日/東京都  
0423(75)1414
- 欧州における次世代トランスポーター・デザイン  
の動向調査と日欧デザイナー交流事業/株テクノロジー  
トランスファー研究所/1989年1月10日～12月30  
日/東京都/03(585)6451
- パソコン通信によるデザインフォーラム—家具&インテリア/家具&インテリアPC・VAN SIG  
1989年3月1日～12月31日/全国  
09443(3)1421
- まちづくりデザイン会議フォローアップ事業  
長井市  
1989年9月～12月/長井市  
0238(84)2111
- '90ニットファッションショー  
山形県ニット工業組合  
1989年12月/山形県  
0236(45)4611
- 「インダストリアルデザインフォーラムイン山形」シンポ  
ジウム/やまがたデザイン実行委員会  
1989年12月/山形県  
0236(30)2362
- ソニー国際学生コンペティション  
ソニー株  
1989年1月～12月/東京都  
03(448)2438
- ヤマハA.S.T. オーディオシステム国際デザインコンペ  
ティション/ヤマハ株  
1989年4月～12月/東京都  
03(544)7456
- ソーラーカーデザインGP89  
社日本インダストリアルデザイナー協会  
1989年1月～12月/名古屋市  
052(722)2207
- Nashopライティングコンテスト'89  
松下電工株  
1989年9月1日～12月31日/大阪府  
06(908)1131

- '89御堂筋光のフェスティバル  
大阪21世紀計画楽しく歩こう御堂筋委員会  
1989年11月～12月/大阪市  
06(942)2007
- ならグッドデザイン展  
財奈良県広域地場産業振興センター  
1990年1月9日～12日/大和高田市  
0745(22)2727
- 第14回全国伝統的工芸品展  
伝統的工芸品産業振興協会  
1990年1月12日～17日/東京都  
03(403)1621
- いばらぎデザインウィーク開催事業  
茨城県  
1990年1月17日～21日/水戸市  
0292(21)8111
- 展示会・小冊子発行  
株東芝デザインセンター  
1990年1月19日～24日/東京都  
03(457)4031
- 地域デザイン振興事業  
帯広デザインイヤー実行委員会  
1990年1月/帯広市  
0155(24)4111
- 「ニューオフィス デザイン フォーラム」オカムラ  
株岡村製作所  
1989年9月～1990年1月/東京都  
03(593)5610
- デザインイヤーフェスティバル イン カナガワ  
神奈川県  
1990年1月27日～2月1日/横浜市  
045(312)1121
- 第1回OACデザインマネジメント・セミナー  
社日本広告制作協会  
1990年2月2日～3日/東京都  
03(586)3658
- デザインウエイブ イン オオイタ  
大分県  
1990年2月22日～27日/大分県  
0975(36)1111
- 北の生活産業デザインコンペティション  
北の生活産業デザインコンペティション実行委員会  
1990年2月/札幌市  
011(231)4111
- 山形デザイン提案展  
山形県  
1990年2月/山形市  
0236(30)2367
- 創作の保全に関する研修会  
社日本ジュウリーデザイナー協会  
1989年3月9日～1990年2月/東京都  
03(664)0366
- JAFC A色彩情報セミナー  
社日本流行色協会  
1989年7月～1990年2月/東京都  
03(263)1694
- フローラル&グリーンフェア'90  
協同組合全国花材流通協会  
1990年2月/大阪市  
03(476)2788
- 第33回東京都伝統工芸品展一江戸開400年記念展  
東京都・社東京都経済活動推進協会  
1990年2月/東京都  
03(212)5111
- きものデザイングランプリ im・age大賞  
フジテレビジョン きものデザイングランプリ実行委員会  
1990年2月/東京都  
03(353)5154
- 第1回Mt. Fujiファッションデザイン・コンテスト  
第1回Mt. Fujiファッションデザイン・コンテスト実行委員会  
1989年6月2日～1990年2月/山梨県  
0555(22)1111
- FDC海外提携婦人テキスタイルトレンド説明会他  
財一宮地場産業ファッションデザインセンター  
1989年9月、1990年2月/一宮市  
0586(46)1361
- 日図展  
社日本図案家協会  
1989年8月10日、1990年2月/京都市他  
075(761)5381
- 第4回毎日・DAS高校生デザイン賞コンクール  
毎日新聞社、社総合デザイナー協会  
1989年9月～1990年2月/大阪府  
06(341)5895
- 第30回世界のグッドデザイン展  
大阪府立産業デザイン研究センター・日本貿易振興会大阪本部/1990年2月/大阪市  
06(281)0327
- デザインフェアOsaka'90  
財大阪デザインセンター  
1990年2月/大阪市  
06(262)5661
- 第28回九州クラフトデザイン展  
九州クラフトデザイナー協会  
1990年2月/福岡市  
092(524)0631
- 東京レザーフェア  
東京皮革関連資材総合見本市協会  
1989年9月21日～22日、1990年3月15日～16日/東京都  
03(212)5111
- '90旭川ファッションコンテスト  
旭川アパレルファッション連絡協議会  
1990年2月17日/旭川市  
0166(22)8411
- 第1回デザイン展「暮らし、デシャ春る!!」  
三重県デザイン協会  
1990年3月23日～25日/三重県  
0592(25)1691
- GIDコンペ'90  
富士プラント、アルコ株  
1989年8月1日～1990年3月30日/東京都  
03(299)3150
- '89グッドデザイン巡回展  
財日本産業デザイン振興会  
1989年10月～1990年3月/全国  
03(435)5633
- 旭川市デザイン振興基金の創設  
旭川市  
1989年4月～1990年3月31日/旭川市  
0166(25)7030
- 「インダストリアルデザインフォーラム イン 山形」デザインコンペティション/やまがたデザイン実行委員会  
1989年4月～1990年3月/山形県  
0236(30)2362
- 第2回全国「身近な素材を活かしたものづくり提案」  
一日々の暮らしのデザイン/福島県大沼郡三島町  
1989年6月～1990年3月/福島県  
0241(52)3201
- 商工会イメージづくり事業  
栃木県商工会連合会  
1989年4月1日～1990年3月31日/栃木県  
0286(37)3731
- 日本ロマンチック街道における地域環境デザイン  
日本ロマンチック街道協会  
1989年8月～1990年3月31日/群馬県  
0279(88)3642
- 「幸せの手」シンボルマーク募集事業  
幸手市商工会青年部  
1988年5月15日～1990年3月31日/幸手市  
0480(43)3830
- デザインフォーラムDAIKO  
大光電機株  
1989年3月～1990年3月/東京都他  
06(972)2951
- JAFC A色彩講座  
社日本流行色協会  
1989年6月～1990年3月/東京都他  
03(263)1694
- '89デザインイヤー松屋  
株松屋  
1988年11月1日～1990年3月31日/東京都  
03(567)1211
- 第6回CSデザイン賞  
株中川ケミカル  
1989年12月1日～1990年3月31日/東京都  
03(668)8141
- 毎日デザイン賞  
毎日新聞社  
1989年1月1日～1990年3月31日/東京都  
03(212)3322
- 毎日広告デザイン賞  
毎日新聞社  
1989年1月1日～1990年3月31日/東京都  
03(212)3322
- 母と子のセーター・絵と作品コンクール  
毎日新聞社  
1989年4月～1990年3月/東京都  
03(212)0321
- 東京国際ファッションセンター(仮称)の建設  
墨田区  
1989年4月1日～1990年3月31日/東京都  
03(626)3151
- 地下鉄12号線の駅舎等のデザイン化  
東京都  
1989年4月1日～1990年3月31日/東京都  
03(216)1411
- 東京・都市空間のデザイナー地下道の修景  
東京都  
1989年4月1日～1990年3月31日/東京都  
03(212)5111
- 人々の感性に訴える環境に関する調査  
東京都  
1989年4月1日～1990年3月31日/東京都  
03(212)5111
- 東京・都市空間のデザイナー著名橋の整備  
東京都  
1989年4月1日～1990年3月31日/東京都  
03(212)5111
- 商店街環境整備事業  
東京都  
1989年4月1日～1990年3月31日/東京都  
03(212)5111
- 都施設デザイン事業  
東京都  
1989年4月1日～1990年3月31日/東京都  
03(212)5111
- 千川上水清流復活事業  
東京都  
1989年4月1日～1990年3月31日/東京都  
03(214)7411
- バス・地下鉄等の情報案内サービスの充実  
東京都  
1989年4月1日～1990年3月31日/東京都  
03(216)1411
- デザインガイド(仮称)の作成  
墨田区  
1989年4月1日～1990年3月31日/東京都  
03(626)3151
- CI普及指導助成  
墨田区  
1989年4月1日～1990年3月31日/東京都  
03(626)3151
- 両国駅擁壁修景工事  
墨田区  
1989年4月1日～1990年3月31日/東京都  
03(626)3151
- 都市景観づくり基本構想の作成  
墨田区  
1989年4月1日～1990年3月31日/東京都  
03(626)3151
- 東京都経営資源高度化対策事業  
東京都酒造組合  
1989年5月1日～1990年3月31日/東京都  
0425(24)3033
- JAL デザイン・レビュー  
日本航空関連事業総本部第3事業開発部  
1989年9月～1990年3月/東京都  
03(284)2767
- 新製品企画開発事業  
東京都  
1989年9月1日～1990年3月31日/東京都  
03(212)5111
- '90写真用品&映像ショー  
日本写真用品工業会  
1990年2月～3月/東京都他  
03(294)2866
- 全日本学生児童発明くふう展  
毎日新聞社  
1990年3月/東京都  
03(212)3322
- DESIGN・DESIGNING  
財日本産業デザイン振興会・日本工業新聞社  
1990年3月/東京都  
03(292)3561
- やまなし産業デザインクリエイティブ会議  
山梨県  
1989年4月1日～1990年3月31日/山梨県  
0552(37)1111
- 山梨県海外デザイン研修事業  
海外デザイン研修実行委員会  
1989年4月1日～1990年3月31日/山梨県  
0552(37)1111

- インダストリアル・デザインフォーラム'89  
長野県デザイン協会  
1989年6月23日～1990年3月/長野県  
0262(32)0111
- 新潟県デザインイヤー記念事業  
新潟県  
1989年4月～1990年3月/新潟県  
025(285)5511
- 富山県コンパス計画  
富山県  
1989年4月1日～1990年3月31日/富山県  
0764(41)2100
- 国際デザインポリス推進事業  
財石川県デザインセンター  
1989年4月1日～1990年3月31日/石川県  
0762(67)0365
- デザイン・リレー石川  
財石川県デザインセンター  
1989年4月1日～1990年3月31日/石川県  
0762(67)0365
- デザイン推奨事業  
財石川県デザインセンター  
1989年4月1日～1990年3月31日/石川県  
0762(67)0365
- 海外デザイン振興機関友好交流促進事業  
財石川県デザインセンター  
1989年4月1日～1990年3月31日/石川県  
0762(67)0365
- '89ジャパンデザインコンペティション石川  
'89ジャパンデザインコンペティション石川開催委員会  
1989年4月～1990年3月/石川県  
0762(67)0365
- ファッション化推進事業  
福井県  
1989年4月1日～1990年3月31日/福井県  
0776(21)1111
- 福井県特産品デザイン協会事業  
福井県特産品デザイン協会  
1990年度/福井県  
0776(21)1111
- 地場産業デザイン技術高度化促進事業  
静岡県商工部地場産業課  
1989年4月1日～1990年3月31日/静岡県  
0542(21)2812
- 愛知県デザインセンター特別展  
愛知県・デザイン関係団体  
1989年4月1日～1990年3月31日/名古屋市  
052(231)6351
- 愛知県産業デザイン講座  
愛知県  
1989年4月1日～1990年3月31日/名古屋市  
052(231)6351
- アートヒル三好ヶ丘'89彫刻フェスタ  
住宅・都市整備公団中部支社、愛知県西加茂郡三好町  
1989年6月29日～1990年3月31日/愛知県  
052(264)4831
- FDCテキスタイルトレンド展  
財一宮地場産業ファッションデザインセンター  
1989年10月、1990年3月/一宮市  
0586(46)1361
- 京都市新商品化研究開発事業  
京都市新商品化研究開発懇話会  
1988年4月1日～1990年3月31日/京都市他  
075(222)3338
- 京都ベストデザイン商品コンクール  
京都府  
1990年3月/京都府  
075(441)8428
- 大阪ビジネスパーク計画  
大阪ビジネスパーク開発協議会  
1989年4月1日～1990年3月31日/大阪市  
06(946)1048
- アジア・太平洋トレードセンター計画  
アジア・太平洋トレードセンター構想推進委員会  
1989年4月1日～1990年3月31日/大阪市  
06(232)0931
- 天保山ハーバービレッジプロジェクト  
大阪ウォーターフロント開発株  
1989年4月1日～1990年3月31日/大阪市  
06(574)8771
- 大阪市南中学校跡地開発プロジェクト・土地信託事業  
大和銀行南中学校跡地開発プロジェクト準備室  
1989年4月1日～1990年3月31日/大阪市  
06(271)1221
- 大阪市港区弁天町駅前開発・土地信託事業  
大和銀行弁天町プロジェクト推進室  
1989年4月1日～1990年3月31日/大阪市  
06(271)1221
- 半世紀ぶりに一新される地下鉄御堂筋線  
大阪市  
1989年4月1日～1990年3月31日/大阪市  
06(582)1101
- 北港連絡橋架設事業  
大阪市  
1989年4月1日～1990年3月31日/大阪市  
06(572)5121
- 菅原城北大橋架設事業  
大阪市  
1989年4月1日～1990年3月31日/大阪市  
06(208)9484
- トラベル大阪21計画  
大阪市  
1989年4月1日～1990年3月31日/大阪市  
06(208)8966
- デザイナーレ'89大阪の活力とデザイン  
大阪デザイン団体連合  
1989年4月1日～1990年3月31日/大阪市  
06(262)5664
- 咲くやこの花館(大温室「花の万博」パビリオン)  
大阪市  
1989年4月1日～1990年3月31日/大阪市  
06(912)0650
- リニアカー(地下鉄鶴見緑地線)の建設  
大阪市  
1989年4月1日～1990年3月31日/大阪市  
06(582)1101
- ライトアップ計画大阪  
大阪市  
1989年4月1日～1990年3月31日/大阪市  
06(208)7887
- 「魅力都市大阪」キャンペーン市税納期周知ポスター作成事業/大阪市  
1989年4月1日～1990年3月31日/大阪市  
06(208)7741
- グッドデザイン商品の選定・展示事業  
財大阪デザインセンター  
1989年4月～1990年3月/大阪市  
06(262)5661
- 大阪デザインコンサルティング・システム  
財大阪デザインセンター  
1989年4月～1990年3月/大阪市  
06(262)5661
- デザインコンペ大阪'89  
大阪産業デザインコンテスト運営委員会  
1989年4月～1990年3月/大阪市  
06(262)5661
- デザインマネージメントセミナー  
財大阪デザインセンター  
1990年3月/大阪市  
06(262)5661
- 高度デザインニングシステムによる製品開発に関する研究  
奈良県工業試験場  
1989年4月～1990年3月/奈良県  
0742(33)0817
- '89デザインイヤー in 大川  
大川市  
1989年4月1日～1990年3月31日/大川市  
09448(7)2101
- 第15回九州家づくり大学  
トーホーコーエイ株  
1989年4月1日～1990年3月31日/北九州市  
093(881)3955
- ファッションブル・ナガサキ'89  
ファッションブル・ナガサキ実行委員会  
1989年4月～1990年3月/長崎市  
0958(24)1111
- 「郷の匠」くまもと型木造住宅推進事業  
熊本県・郷の匠推進委員会・くまもと県産林振興会  
1989年4月1日～1990年3月31日/熊本県  
096(383)1111
- 第1回国際ジュニアデザインコンペティション  
財美術文化協会・財日本産業デザイン振興会  
1989年4月1日～1990年4月2日/東京都  
03(252)3041
- 第38回'89朝日広告賞  
朝日新聞社  
1989年5月～1990年4月/東京都  
03(545)0131
- IBMデザインフォーラム  
日本アイ・ビー・エム株  
1989年6月16日～1990年4月30日/東京都  
03(586)1111
- 第32回陶磁器デザインコンペティション  
財日本陶磁器意匠センター  
1989年3月～1990年4月/名古屋市  
052(935)7234
- The TRIAD Design Project  
Harvard University・Design Management Institute  
1987年4月～1990年4月/U.S.A他  
03(435)5633
- 第74回二科展  
二科展  
1989年9月～1990年6月/全国  
03(260)3063
- SANYO POW WOW TIME  
三洋電機株  
1989年7月～1990年6月/東京都  
06(901)1111
- 国際家具デザインフェア旭川'90  
国際家具デザインフェア旭川'90開催委員会  
1989年5月～1990年7月/旭川市  
0166(26)8528
- 全国公設機関巡回デザイン展  
全国繊維工業技術協会デザイン部会  
1989年9月～1990年9月/全国  
0426(42)7175
- 情報文化フォーラム「都市とデザインと情報ネットワーク」/日本電信電話株  
1989年9月～1990年9月/東京都  
03(509)5031
- ARTMOBILE展  
社日本インダストリアルデザイナー協会中部事業支部  
1988年11月～1990年10月/名古屋市  
052(722)2207
- 近未来デザイン開発の手法研究  
工業デザイン研究会  
1988年11月1日～1990年12月31日/東京都  
03(582)6221
- 都民と都庁のコミュニケーションシステムの開発  
東京都  
1988年～1990年/東京都  
03(212)5111
- 新都庁舎のサイン計画  
東京都  
1988年～1990年/東京都  
03(212)5111
- 「コクヨ・ニューオフィス文化創造」戦略  
コクヨ株  
1989年1月12日～1991年2月/東京都  
03(450)5735
- 経営理念の改善促進事業  
東京都港区  
1988年4月1日～1990年3月31日/東京都  
03(578)2111
- 多摩ニュータウンサイン・環境整備  
東京都  
1987年～1995年/東京都  
03(212)5111
- 「やまなみ五湖ネットワーク」サイン計画推進事業  
神奈川県  
1989年10月18日～1990年3月31日  
045(201)1111
- NOMURA CREATIVE WORK展  
株乃村工藝社  
1990年1月18日～23日  
03(455)1171
- 「公共の色彩を考える」広島シンポジウム  
公共の色彩を考える会 広島シンポジウム実行委員会・中国新聞社/1989年11月18日  
03(403)8421
- '89デザインシンポジウム「産・官・学 協同研究を考える」/神戸芸術工科大学  
1989年11月18日  
078(794)2112
- セッション「日本の正月をテーマに日本型VMDを研究する」/日本ビジュアルマーチャンダイジング協会  
1989年10月28日  
03(476)1410
- デザイン展みえ  
三重県  
1990年3月24日～26日  
0592(24)2452



- 関東甲信越静ブロック授産施設商品開発研修会  
社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会施設部会授産分科会／1989年11月16日～18日  
045(311)1421
- 「君は明日のデザイナー」展  
神奈川県デザイン団体連絡協議会  
1990年3月27日～31日  
045(312)1121
- '90環境メディアdesign4大賞展  
日本環境メディアデザイン運営協議会  
1990年3月5日～15日  
03(354)4020
- みやぎ'89デザインイヤーフェスティバル  
宮城県  
1989年12月1日～6日  
022(211)2715
- 知的所有権シンポジウム  
朝日新聞社  
1989年12月13日  
03(545)0131
- 女性とデザインマインドを育てる  
'89デザインイヤー記念シンポジウム実施委員会  
1989年11月30日  
0966(43)3827
- ハイテク・パフォーマンス「リニアエクスプレス」  
社日本インダストリアルデザイナー協会関西事業支部  
1990年2月7日  
06(262)5664
- 米の器シリーズ展 主張するめしわん  
財クラフト・センター・ジャパン  
1989年2月25日～5月27日  
03(272)7211
- 第3回地方デザイン交流会議  
'89デザインイヤー推進福山委員会  
1990年3月22日～23日  
0849(21)2345
- SDA IN 四国「サイン・コミュニケーションビッグセミナー」／日本サイン・デザイン協会  
1990年1月26日  
03(818)8537
- 徳島県デザインセミナー「産業振興においてデザインの果たす役割」／徳島県・徳島県工業祭実行委員会  
1989年10月13日  
0886(21)2317
- 国際デザインシンポジウム広島'89  
国際デザインシンポジウム広島'89実行委員会  
1989年10月14日  
082(236)2244
- ウイルクハーン・デザイン・フォーラム東京  
ウイルクハーン・デザイン・フォーラム東京実行委員会  
1989年10月30日～11月2日  
03(578)8121
- 地域デザイン会議'90東京  
(財)日本産業デザイン振興会  
1990年3月20日／東京都  
03(435)5633
- 川崎市産業デザイン振興研究会の設立支援  
川崎市  
1989年11月～／川崎市  
044(200)2334
- 川崎市産業デザイン振興基礎調査  
川崎市  
1989年10月～1990年3月／川崎市  
044(200)2334
- 川崎市デザイン会議の開催  
川崎市  
1990年2月22日／川崎市  
044(200)2334
- 社会進化とデザイン＝デザイン本位型社会の到来  
(社)日本インダストリアルデザイナー協会  
1990年3月17日／東京都  
03(433)6391
- 第三回コイズミ国際学生デザインコンペ  
小泉産業(株)  
1989年11月10日～1990年8月20日／大阪市  
06(262)0863
- 第2回JIDAおもしろ展  
(社)日本インダストリアルデザイナー協会関西事業支部  
1990年3月21～31日／大阪市  
06(262)0863
- 中小企業デザインセミナー  
秋田県  
1990年3月6日／秋田県  
0188(60)2244
- 秋田のグッドデザイン商品展  
秋田県、(財)秋田テクノポリス開発機構、秋田県伝統的工芸品産業協議会／1990年2月3～5日／秋田県  
0188(60)2244
- みなと経済シンポジウム1990「デザインの港・横浜の可能性」／みなと経済振興協議会  
1990年2月28日／横浜市  
045(671)2566
- 地域デザイン活性化事業 デザインセミナー  
宮城県  
1990年2月20日／宮城県  
022(211)2715
- 和装特別講演会「激動期を乗り切った女の生き方ときもの寸描」／東京織物卸商業組合  
1989年12月18日／東京都  
03(663)2104
- 東西染織同人展  
染織同人会  
1990年1月8～9日／東京都  
03(669)0702
- 第36回東京硝子製品大見本市  
東京硝子製品協同組合  
1990年1月11～13日／東京都  
03(591)2708
- '90新春合同大見本市  
協同組合東京文具紙製品卸センター  
1990年1月25日～26日／東京都  
03(861)5111
- '90東家流新年研修懇談会  
東京家庭用品流通協同組合  
1990年1月29日／東京都  
03(663)3101
- 第20回東京チルドレンズファッションフェア  
東京チルドレンズ・ファッション協会  
1990年2月6～8日／東京都  
03(865)1196
- THE TOKYO SPORTS SHOW '90 / Feb  
東京スポーツ用品卸商協同組合  
1990年2月7～8日／東京都  
03(866)7079
- 東京家庭用品フェア  
東京家庭用品卸協同組合  
1990年2月8～9日／東京都  
03(851)1770
- 第46回東京医療衛生用品フェア  
東京医療用品卸商協同組合  
1990年2月20～21日／東京都  
03(241)2578
- 靴×セミナー 第7回「企画・営業に役立つ実践講座」  
東京靴メーカー協会  
1990年3月2日／東京都  
03(876)0066
- '90オールジャパンギフトフェスティバル大阪  
(社)全日本ギフト用品協会  
1990年3月8～10日／大阪市  
03(847)0691
- SABAEデザインセミナー  
鯖江市  
1990年3月30日／鯖江市  
0778(51)2200
- 東京手描き 着物の名家意匠展  
東京都染織卸商業協同組合  
1990年1月11日～12日／東京都  
03(369)6640
- デザイン講習会  
(社)東京文具工業連盟  
1990年3月19日／東京都  
03(864)4391
- さっぽろプロダクトデザイン展'90  
さっぽろプロダクトデザイン展'90実行委員会  
1990年3月21～25日／札幌市  
011(231)1122
- 第10回京都デザイン会議  
京都デザイン関連団体協議会  
1990年3月24～25日／京都市  
075(541)0239
- デザイン研修会  
東京都染織卸商業協同組合  
1990年2月14日／東京都  
03(369)6640
- デザイン講習会  
東京都工芸染色協同組合  
1990年3月2日／東京都  
03(953)8843

## **'89デザインイヤーフォーラム事務局の活動**

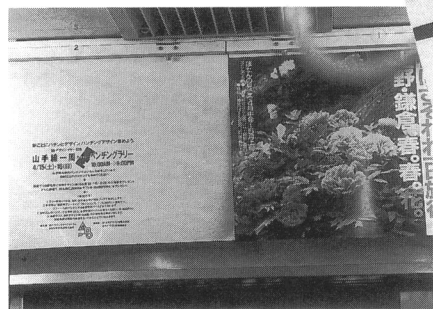
'89デザインイヤー記念

## 山手線一周 デザインパンチングラリー

'89デザインイヤーフォーラムは、4月のデザインイヤー・スタートを記念して同広報事業として、JR東日本と共に「山手線一周デザインパンチングラリー」(協賛：財世界デザイン博覧会協会 世界デザイン会議運営会)'89年を4月15・16日の両日行いました。各駅ごとに、各々違う山手線29駅の改札パンチを10種類以上集めると「世界デザイン博覧会」の入場券が抽選で、1,000名に当たるという企画。当日は、29駅の改札口付近に特設ブースを設け、パンチングラリー用の参加シートにコンパニオンが、パンチを入れました。

各駅のパンチのデザインの違いで、発券駅の確認等の業務、運用システムを形成する一つのグランドデザインが、日頃余り気付かない身近なところに存在していることを一般の方々に知っていただくのがこのラリーの意図ですが、企画のユニークさが興味を引いたのか、4歳の幼児から85歳のお年寄りまで、約60,000人の方々に参加いただき大盛況でした。

▼ラリー参加シート(現寸)





山手線一周  
デザインパンチングラリー



駅ごとにパンチとデザイン。パンチングデザイン集めよう。

10:00AM → 6:00PM

# 山手線一周 デザインパンチングラリー

4/15(土)・16(日)

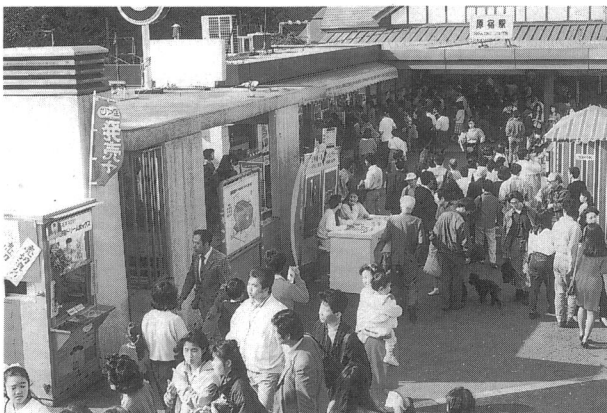
山手線各駅のパンチングはいろんな形をしています。  
10駅以上のパンチングを集めてください。

山手線各駅のパンチングのスタンプにお渡しください。  
集面に必要事項をご記入の上、4/15・16日、各駅特設ブースにお持ちください。

※協賛：(株)世界デザイン博覧会協会  
世界デザイン会議運営委員会

＜参加方法＞  
1 ラリー参加シートは、当日、山手線各駅の特設ブース(設置場所は裏面をご覧ください)でお渡しします。乗車券は「都区内フリーキップ」(おとな720円、こども360円)が便利です。  
2 シートへのパンチングは各駅特設ブースでおこないください。(15・16日のみ)以上のパンチングが集まったら、各駅特設ブースへお持ちください。  
3 抽選のうえ、世界デザイン博(名古屋)の入場券等を郵送いたします。  
4 当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

主催：(株)デザインイヤーフォーラム  
東日本旅客鉄道株式会社



# DESIGN YEAR FORUM

'89デザインイヤー プレキャンペーン

## 「私の好きなデザイン」募集

'89デザインイヤーフォーラム事務局では、'89年1月から3月末にかけて、デザインイヤー告知を目的に、プレキャンペーン「私の好きなデザイン」募集を行いました。この募集は、広報目的と共に、一般の人々が「デザイン」をどのように捉えているのかを調査する事業として、非常に興味深い募集となりましたが、「デザイン」に対する関心の高まりからか、多数の方々から各人が考える様々の「デザイン」が集まりました。

全体的には、事務局が予想していた通り、身近な工業製品や工芸品はもちろん、サイン、インテリア、建築物等のデザインが多く集まりましたが、中には祭りや仕組み（システム）等のデザインも含まれ、写真の裏のコメントに「集合」のデザイン」という表現が見られるなど、デザインの概念が以外に広い視点から捉えられていることがわかりました。



## '89デザインイヤー記念シンポジウム

'89デザインイヤーフォーラムは、1990年2月15～16日、有楽町・朝日ホールにおいて、「'89デザインイヤー記念シンポジウム」を開催しました。

同シンポジウムは、'89デザインイヤーで実施された様々の事業（フォーラム事業、参加事業）を総括し、'80年代にデザインが歩んできた過程と、現在デザインをとりまく社会背景を振り返りながら、'89デザインイヤーの目的・意義を再確認するとともに、これをふまえ、'90年代におけるデザイン活動の展望と提言を行うものです。

2日間の内容は、フォーラム副会長 長村貞一（財）日本

産業デザイン振興会会長、通商産業省 内藤正久貿易局長の挨拶に始まり、第1日／第1部：'89デザインイヤー運動の全体報告、第2部：'89デザインイヤー参加事業紹介、第3部：デザインワークショップ紹介 第2日／第4部：パネルディスカッション「'90年代の日本のグランドデザイン」、第5部：日本デザイン賞候補プレゼンテーションおよび審査、第6部：「日本デザイン賞」発表・講評で構成され、最後に終了の挨拶としてフォーラム副会長 長村貞一により「'90年代におけるデザイン活動の展望と提言」が発表されました。



### '89デザインイヤー記者説明会開催

'89デザインイヤーフォーラムは、デザインイヤー・スタートに先掛けて、'89年3月20日、日比谷・プレスセンターホールに於て、新聞、雑誌、TV等各メディアの記者の方々を対象に、「'89デザインイヤー記者説明会・日本デザイン賞制定発表会」を開催しました。

同発表会は、来賓として通商産業省貿易局長熊野英昭、主催者として'89デザインイヤーフォーラム副会長長村貞一の両氏挨拶に始まり、デザインイヤーの概要説明が、'89デザインイヤー特別顧問泉真也氏により、日本デザイン賞の説明が、日本デザイン賞企画委員会委員長白根禮吉氏によって行われました。また、説明の合間には3面マルチスライドによるイメージスライド上映も行われ、会場には、およそ150人近い報道人が詰めかけ、デザインイヤーに対する関心の高さを示していました。

### '89デザインイヤー記念ポスター展開催

'89デザインイヤーフォーラムは、'89デザインイヤー・スタートを記念して、全国4カ所（東京一通商産業省、名古屋一愛知県デザインセンター、大阪一キリンプラザ大阪、金沢一財石川県地場産業振興センター）に於て、デザインイヤー記念ポスター展を開催しました。

ポスターの数は約60点で、これまでに登録された主な'89デザインイヤー参加事業のポスター及びデザインイヤー告知ポスターを展示しました。また同時に、世界デザイン会議運営会と社団法人日本インダストリアルデザイナー協会及び、中部デザイン団体協議会の主催で、記念フォーラムが同じく、4カ所で開催されました。

### 新聞・雑誌広告掲載

フォーラム事務局は、デザインイヤーを全国的に広報することを目的に新聞・雑誌広告を掲載しました。

#### ①新聞広告掲載

まずフォーラム設立時(1988年6月1日)には、毎日、日経新聞(朝刊全国15段)に広告を掲載しデザインイヤー告知を図り、スタート時(1989年4

月1日)には、朝日新聞(朝刊全国15段)に広告を掲載し、フォーラム事業、参加事業を紹介しました。

また、1989年4月下旬から5月上旬にかけて、朝日(4/3)、毎日(5/4)、読売(4/30)、東京(4/27)の各紙に5段広告(朝刊東京単)を掲載し、各々1ページのデザイン特集記事を作成していただきました。

1990年3月21日にも、同年2月に開催された記念シンポジウムと日本デザイン賞の結果を報告する広告を、日経新聞(朝刊全国30段)に掲載し、4ページのデザインイヤー特集記事を作成していただきました。

1990年3月31日のデザインイヤー終了時には、'89デザインイヤーフォーラムによる提言文を掲載した終了告知広告を日経新聞(朝刊全国15段)に掲載しました。

#### ②雑誌広告

主に経済界関係者に対するデザインイヤー告知を目的に「週間ダイヤモンド」(1989. 2. 20発売)に4ページの記事広告を掲載しました。

またフォーラム事業である「デザインワークショップ」の事例紹介を目的に「週刊読売」に4週連続で記事広告を掲載しました。

これらの他にも、プレキャンペーン告知広告等を新聞・雑誌に掲載し、媒体を通じた効果的な広報に務めました。

### 告知ポスター作成

フォーラム事務局は、デザインイヤー告知を目的にポスターを作成しました。フォーラム設立時には、亀倉雄策氏デザインによるオフィシャル告知ポスターを作成し、デザインイヤースタート時には田中一光氏デザインによるオフィシャルイメージポスターを作成しました。この他にも参加事業告知ポスター、パンフレットやキャンペーン用ポスターを作成し、デザインイヤーの広報を積極的に推進しました。

### 見本市用広報ブース設置

フォーラム事務局は、デザインイヤーの概要を説明した広報用ブースを見本市に設置しました。実施見本市は次のとおり。

TRADE WIND'89(第18回東京

国際見本市)：1989年4月18～23日  
第12回東京国際グッドリビングショー：1989年4月28日～5月3日

第68回ビジネスショー：1989年5月17～20日

'89東京おもちゃショー：1989年6月15～18日

'89オールジャパンギフトフェスティバル東京：1989年8月22～24日

'89日本DO IT YOURSELF ショウ：1989年9月15～17日

### 広報用懸垂幕

フォーラム事務局は、株松屋のご協力によりデザインイヤー広報用懸垂幕を、1989年4月1日より同銀座店で、また6月1日より同浅草店で実施しました。この懸垂幕は、1989年9月の松屋デザインウィークの期間まで実施しました。



## '89デザインイヤー報告書

1990年3月30日

'89デザインイヤーフォーラム事務局・財団法人日本産業デザイン振興会

〒105東京都港区浜松町2-4-1世界貿易センタービル別館4F

Tel. 03-435-5626 Fax.03-432-7346